

翻刻 桑原家本 『出雲風土記抄』

大日方 克 己
(島根大学法文学部)

出雲風土記抄(以下風土記抄)は、松江藩神門郡奉行の岸崎佐久次時照が天和三年(一六八三)に著した出雲国風土記(以下、風土記)の初での注釈書である。本稿は、島根大学附属図書館所蔵桑原文庫本(桑原家本)の翻刻である。

桑原家本は、国文学研究資料館データベース古典コレクション「兼永本古事記・出雲国風土記抄」(岩波書店、二〇〇三年)として全文が紹介されている。CD・ROMに、その影印と、テキストデータ化された原文と書下し文が収録されたものである。しかし、データベースとして利用するという性格上、訓点が翻刻されていないなど、基礎的データ面で必ずしも十分とはいえない点があり、また現在品切で重版未定となっていることもあって誰もが簡単に利用できる状態にあるとは必ずしもいえない。本稿は、訓点を含めてそのまま翻刻し、広く研究の資に供しようとするものである。

風土記抄の成立過程は、桑原家本に附された天和三年五月付岸崎時照自序、同年陽月付杵築松林寺宏雄の序と同年臘月初日付の宏雄跋か

らある程度うかがえる。それによると、岸崎時照が宏雄のもとに原稿を持ち込み、それを宏雄が添削した。宏雄の甥、杵築大社北島国造家の伝之丞がそれをみて、強く欲したので与えたという。そしてそれを祖本として桑原家本など諸写本が書写され流布していったと考えられる。

桑原家本は「出雲風土記抄」の表題をもち、袋綴四冊である。第一冊は、岸崎時照の自序四丁、杵築松林寺の宏雄の序一丁、本文三九丁(意字郡)、第二冊は本文三九丁(島根郡二七丁・秋鹿郡一二丁)、第三冊は本文五二丁(楯縫郡九丁・出雲郡二四丁・神門郡一八丁)、第四冊は本文六二丁(飯石郡一四丁・仁多郡一二丁・大原郡一六丁・通道以下一〇丁)、宏雄跋一丁、という構成になっている。「島根大学図書印」「桑原文庫」の朱印のほかは印、奥書ともない。

島根大学附属図書館には、桑原洋次郎から寄贈された諸資料が桑原文庫として所蔵されているが、そのなかに表題「出雲風土記抄(鈔)」をもつものが二点ある。一つが今回翻刻する四冊本で、もう一つは文

政十一年（一八二八）望月重熙書写の二冊である（以下望月本）。望月本は「出雲風土記抄」の表題で、利巻が楯縫郡・出雲郡・神門郡、貞巻が飯石郡・仁多郡・大原郡となつていたので、本来四冊本だったもののうち前半二冊を欠佚したものと推測される。望月本と桑原家本と比較すると、記述位置が異なるなど相異点が少ない。

そのほか、桑原文庫にはこれらとは別に表題が剥落した出雲風土記抄が一点二冊ある。これは巻頭最初の注文に「俗解抄曰」とあることから、「出雲風土記俗解抄（抄）」が表題だったと推測される。出雲風土記抄諸本を調査した加藤義成によると、桑原家本とは内容の大きく異なる「出雲風土記俗解抄」の表題ないし内題をもつ諸本の一つになる。このような多様な諸本間の比較、関係の分析は、風土記の受容と研究の歴史的な性格を考える上でも重要な今後の課題である。

多様な諸本のなかで、桑原家本は以下に述べるような点から基本となるべき風土記抄のテキストの一つである。

近年、新発見され島根県立古代出雲歴史博物館に所蔵された出雲風土記抄（以下出雲歴博本）は、桑原家本と同じ自序、宏雄の序・跋とともに「此本伝之丞豊忠」の奥書を持ち、夥しい修正の跡があることから、岸崎時照の原本に宏雄が添削し、北島伝之丞に与えた本そのものである可能性が高い。

出雲歴博本は、字句を胡粉で塗抹したうえに訂正を書き込んでいる部分が多いが、桑原家本はその訂正をほぼそのままたとえば上書き修正の結果生じた欠字部分も空白としている。出雲歴博本で見せ消しになっている部分を、桑原家本では傍点を附して示す一など、その形態をほぼ忠実に書写している。桑原家本は宏雄添削の出雲風土記抄を忠実に、整った形で書写したものと見て、良質な写本であること

は変わりが無い。本稿で桑原家本を翻刻する意義は十分にある。

参考文献

国文学研究資料館データベース古典コレクション「兼永本古事記・出雲風土記抄」（岩波書店、二〇〇三年）

加藤義成「校本出雲風土記」参考編第一部「諸本の系統」第二部「諸本概説」（一九六八年）、同「島根県下に伝存する『出雲風土記』の写本について」（初出一九七二年）

凡例

- 1 割書は「」で示した。
- 2 句読点は、翻刻者が附した。
- 3 訓点はそのまま翻刻したが、云、フ、メ、寸、玉、也、はそれぞれイフ、コト、シテ、トキ、タマ、ナリ、などのカナに改めた。また二点に対応する一点がないなど、対応していない返り点は適宜補訂したが、それ以外の原文にない返り点は附していない。また返り点に対応していれば、不自然であってもそのままとした。
- 4 、・〇〇（朱）などの圈点や記号も翻刻した。
- 5 漢字は原則として新字体に統一した。ただし「字龍」など地名として定着しているものは、そのままとした。
- 6 傍書、頭書などは注とした。
- 7 風土記本文の表記など明らかに誤っていると思われる場合でも、訂正せずそのままとした。

【第一冊】

(表題)

出雲風土記抄 一

(自序)

熟古今の様を考みるに、夫天地初てひらくるの時、高天の原に化
 出るの神聖の御名を天御中主の御事と申す。其神より七代にあた
 りて、伊佐奈伎・伊佐奈美の二人の神、相娶して一女三男を産生
 し給ふとなり。其一女天照太神を天の御位の神の初として、其
 より五代宇加夜布伎阿和世須の神の御子神武天皇をもつて王位の初
 となたてまつり、今の御帝まで天照太神の御神流にあらずといふ
 事なし。又天照太神の弟月弓の命ハ、天照太神に隨ひ奉りて政をな
 されたまひぬ。其次天津古屋根の命も同じき職に備りて執行ハ
 しめ給ふ。今の撰政の其祖ならし。又天照太神の弟須佐能袁命、其
 御子大己貴神まで二代共に天下の大事の事を知しめされ給へば、
 代々の將軍家の初りにして、武家にとりはき崇ひ奉るへき御神なら
 ざらむや。亦、天孫尔岐の命に天下の大事をゆづり奉りて、大己
 貴命ハ出雲の国のみ御領となさしめ、天穗日の命を祭主となし杵築
 大社にまします。其穗日命ハ乃國造の遠御祖なり。然レハ則、大
 社ハ出雲一國の主しの初ともいふべし。其後一國を領する神人中絶
 せる事、幾何ぞや。近世、尼子氏富田の城にあつて出雲の国を守る。
 其次毛利元就芸州広島の城に有て此国を治む。慶長のはじめ堀尾帯
 刀高階朝臣吉晴公、同出雲守同姓忠氏父子、共に富田に有て、雲隱
 両国を治む。同山城守同姓忠晴、祖父帯刀と相議して、慶長拾三
 年松江に城を移して、寛永十〔癸酉〕のとしまで山城守二國を領

山陰研究(第七号)二〇一五年三月

す。其次京極若狭守源朝臣忠高公、同、年号十四〔丁丑〕まで、雲
 隱、石州銀山までも治め給ふ。同、年号拾五戊寅の年、東照大権現
 前征夷大將軍正一位左大臣左大將源家康公御子、越前國主從三位中
 納言兼三河守源秀康公の御三男、出雲の國主從四位上左近衛權少將
 兼出羽守源直政公〔假名松平〕御入國、其御子出雲國主從四位下侍
 從兼出羽守源朝臣綱隆公、其御子出雲國主從四位下侍從兼出羽守源
 綱近公、相隨ひて雲隱兩國を守り給ふ。されば大穴貴命より綱近公
 にいたるまで九代ならでハ一國一城をたもち給ふ君はなし。此末幾
 千万歳の國民を恵み目出度さかゆき給ひなん。直政公より綱近公ま
 で御三代、予既に三十餘二年四季に國中をめぐり、村里の東西南北
 其道度を踏分て、高山の峯短山のすそ、谷の小川の水上、神社仏閣
 の旧跡をたづね求む。然処に或人のいへるは此國の風土記ありとい
 へ共、天平より今天和に及びて千歳の春秋をへぬれば、郷里たづぬ
 るに其所分明ならず。俗人は是を誤るのみ。其旧を正して記さば後世
 の助なるべしと強に所望によつて止事を得ずして筆にまかす。蓋、
 旧の一步は今の一間、旧の一里ハ今の六町、六町は旧の三百六拾歩、
 今は三十餘六町を以て一里といふ。東西南北ハ往古も今とたかふへ
 きにあらず。委細ハ鈔に記す者也。

出雲國神門郡監

岸崎氏左久次源時照

天和三〔癸亥〕歲五月日

(宏雄序)

天和癸亥歲初冬ノ日、岸崎氏馳ニ乎走シテ、包ニ裹シテ於書數卷ヲ一投ニ
 来ス予子カ塵几頭ニ。且ツ疑ヒ且喜而攤、閱スレハ焉、乃シ雲州ノ風

土記也。而モ本文ノ中、三写魯魚殆ト不レ少ナカラ也。欲レハ、レ読シトレ之ヲ
 倍屈シテ不レ敢テ入ラニ于齒牙ニ。其ノ下低書シテ而シテ消二解スルコト之ヲ
 悉セリ矣。美園中之事跡、野人ノ之俗稱、郡県ノ之名号、方路ノ之遠近、
 炳然トシテ宛モ如レ看ニ乎掌中ノ之物ヲ一也。蓋シ我カ國ハ、神明ノ之靈
 域ニシテ而、且又雲州ハ大神ノ之英蹤ナリ也。想フニ夫レ六十余國ノ之広キ
 矣、五・畿七・道ノ之盛ナル矣、多ク不レ聞三先代ノ之風土記漏ニ殘スルコトヲ
 干世ニ。吁惜ヒカナ哉、此書ノ之殘、闕誤字 夥矣、雖レ爾ト有ルトキハ、此
 消解一、則後世博洽ノ之士、不レ探テ略ヲ而得レ詳ヲ、草レ誤ヲ而帰セ
 干正ニ也乎。然ラハ、則君カ之此ノ挙、其レ豈ニ曰シヤニ少シク補フトレ之哉、
 於テ乎此ニ書ス。

天和三陽月日

杵築松林野納法印宏雄

(本文)

出雲國風土記

國之大体、首トシ震尾トスレ坤。東南宮、北属スレ海ニ。東一百卅七
 里一十九步、南北一百八十三里一百九十三。

一百歩、

七十三里卅二歩、

得而難可誤。

鈔曰、國ノ之震ハ者、以テ能儀ノ郡母理郷ヲ一為レ首、坤者、以テ
 飯石赤穴村ヲ一為レ國ノ之尾一也。東西二百卅七里二十九歩、以
 今時ノ路尺ヲ一考レハ之ヲ、二十二里三十町九十間ナリ。此レハ者、
 自リニ母理ノ郷一到ルニ赤穴村ニ一之路程也。又南北一百八十三
 里。一百十三里一百九十三歩、以テ今時ノ路尺ヲ一考レハ之、六

里二十一町三間ナリ。此ハ蓋シ自リニ鳥根郡千酌駅一、經テ意宇郡
 完道及ヒ大原・飯石・仁多三郡ヲ一、通スルニ阿位郷備後ノ国堺ニ
 之路程カ歟。

老、細思テ二枝葉ヲ一、裁ニ定ス詞源ヲ一。亦山野浜浦ノ之処、鳥獸ノ棲、
 魚貝・海菜ノ之類モ、良ニ繁多ナリ。悉ク不レ陳。然モ不レ獲レ止コトヲ、粗萃テ
 梗概ヲ一、以テ成ニ記趣ヲ一。所ニ以テハ号スルニ出雲ト一者、八東水臣津野命ノ
 詔ニ八雲立ニ詔ノ之故ニ、云ニ八雲立出雲ト一。

合神社參佰玖拾玖所 (在神祇官)

壹佰捌拾肆所 (不在神祇官)

玖郡郷陸拾壹 (里一百七十九) 余戸肆、駅家陸、神戸漆 (里十一)

意宇郡郷壹拾壹 (里卅) 余戸壹、駅家參、神戸參 (里六)

鳥根郡郷捌 (里廿五) 余戸壹、駅家壹

秋鹿郡郷肆 (里一十二) 神戸壹 (里一)

楯縫郡郷肆 (里一十二) 余戸壹、(里) 神戸壹 (里二)

出雲郡郷捌 (里廿二) 神戸壹 (里二)

神門郡郷捌 (里廿二) 余戸壹、駅家貳、神戸壹 (里一)

飯石郡郷漆 (里一十九)

仁多郡郷肆 (里一十二)

大原郡郷捌 (里廿四)

右件ノ郷ノ字者、依ニ靈龜元年式ニ、改テ里ヲ為レ郷。其郷ノ名字ハ者、
 被テ神龜三年民部省口宣ニ改レ之ヲ。

鈔ニ曰、此ノ記ニハ、造リニ九郡ニ、源ノ順カ和名鈔ニハ、割ニ意宇ノ郡ノ
 東辺ヲ一、益ニ能儀ノ郡ヲ一、以テ為レ二十郡ト一矣。

意字郡

合郷壹拾壹。〔里州。〕余戸壹、馭家參、神戸參。

母理郷。本字文理。

屋代郷。今依前用。

楯縫郷。今依前用。

安来郷。今依前用。

山国郷。今依前用。

飯梨郷。本字云成。

舍人郷。今依前用。

大草郷。今依前用。

山代郷。今依前用。

拝志郷。今字林。

完道郷。今依前用。〔以上壹拾郷別里參。〕

余戸里。

野城馭家。

黒田馭家。

完道馭家。

出雲神戸。

加茂神戸。

忌部神戸。

鈔曰、分テニ舍人・安来・楯縫・口縫・屋代・山国・母理・野城・加茂、神戸等ノ九処ヲ一以テ為ニ能儀ノ郡ト。合テニ完道・来待・拝志・神戸・忌部・山代・大草・筑陽等ノ八処ヲ一以テ為ニ意字ノ郡ト也。口縫、能儀郡ノ九重村也。野城ノ馭、能儀郡松井村野城大明神ノ所レ座マシ也。故ニ号スニ能儀一郡一矣。所謂此ノ川、旧ハ有リト三三十六丈ノ之橋梁一。而今ハ

無シ矣。筑陽ハ非スニ竹矢村ニハ一也。蓋シ意東村ナラシ矣。今マ以テ筑陽川ノ之方路ヲ一考フルニハ之ヲ、益ハ明白ナリ也。意東、意字ノ東辺ニシテ而、与トノニ能儀郡荒島村一之堺也。

所ニ以テハ号スルニ意字ト一者、国引坐八束水臣津野命詔、八雲立出雲国ハ者、狭布之稚国在哉。初国小所作。故ニ将作縫詔而、袴袞志羅紀乃三崎矣国之余有耶見者、国之余有詔而、童女胸鉏所取而、大魚之支太衝別而、波多須々支穗振別而、三身之綱打桂而、霜黑葛聞々耶々尔、河船之毛々曾々呂々尔、国々来々引来縫国者、自ニ去豆乃打絶一而、八穗米支豆支乃御埼也。此而、堅立加志者、石見与出雲国之堺有、名佐比壳山、是也。亦、持引綱者、菌之長浜、是也。亦、北門佐伎之国矣国之余有耶見者、国之余有詔而、童女胸鉏所取、而大魚之支太衝別而、波多須々支穗振別而、三自之綱打桂而、霜黑葛聞々耶々尔、河船之毛々曾々呂々尔、国々来々引来縫国者、自ニ多久乃折絶一、与狭田之国、是也。亦、北門良波乃国矣国之余有耶見者、国之余有詔而、童女胸鉏所取而、大魚之支太衝別而、波多須々支穗振別而、三自之綱打桂而、霜黑葛聞々耶々尔、河船之毛々曾々呂々尔、国々来々引来縫国者、自ニ宇波折絶一而、聞見国、是也。亦、高志之都都乃三崎矣国之余有耶見者、国之余有詔而、童女胸鉏所取而、大魚之支太衝別而、波多須々支穗振別而、三身之綱打桂而、霜黑葛聞々耶々尔、河船之毛々曾々呂々尔、国々来々引来縫国者、三穗之埼。接引綱、夜見島。固堅立加志者、有伯者国火神岳、是也。今者国引詔而、意字社尔御杖立而、意惠登詔。故、云ニ意字ト。〔所謂意字社者、郡家東北辺田中ニ在レ塾、是也。国八步許。其上有木以茂。〕

鈔曰、所謂ル八束水臣津野命引レ国時、作ニ初メテノ之小所ヲ一云云。其ノ所ハ、蓋シ今マ在リニ意字ノ郡出雲郷足高明神ノ所レ座竹林、

之中ニ一矣。意宇ノ郡家ハ、乃シ出雲村今俗事トスルノニ魚梁ヲ一之処也。志羅紀乃三崎、亦高志之都々三崎ハ、蓋シ島根郡三保ノ崎也。去豆乃折絶、乃シ楯縫郡今古津浦也。八穗米支豆支御崎ハ曰二大社ノ辺一。雲・石両国ノ堺佐比売山ハ指スナリニ三瓶山一。園長浜神門郡園村辺ノ浜也。此ノ記、載テ神門郡中ニ曰ク、水海ト与ニ大海一之間ニ有レ山、長サ二十二里二百三十四步、広サ三里、此ハ者意美定努命之國引坐マヌ時ノ之綱ナリ矣。今俗ノ人号云トニ園ノ松山ト云云。至テ末ニ可シ弁スレ之ヲ。北門佐伎国ハ今ノ神門ノ郡鷺浦也。多久折絶ハ島根郡講武村ノ中古曰フニ円福寺村ト。則有レ所云フニ上多久下多久ト。亦此ノ記見ヘタリニ佐太ノ河上ハ則多久河ナリト。狭田ノ之國ハ蓋シ秋鹿郡佐太大明神ノ所ナリ座マヌ也。北門良波国ハ乃シ島根郡野浪村也。閩見国ハ亦島根郡新庄村久良見谷ノ事也。夜見島ハ伯耆国弓浜也。火神岳ハ是レ復指スナリニ同国大山一也。

母理ノ郷ハ、郡家東南卅九里一百九十步。所レ造ルニ天下ニ大神大穴持命、越八口平ケ賜ヒテ而還リ坐マヌ時、来テ坐シテ長江山ニ而詔我カ造リ坐シテ而命国ハ者、皇御孫命ノ平ケテ世所知依奉ルルノ但八雲立出雲ノ国ハ者、我カ静ニ坐国、青垣山廻賜ヒテ而、玉珍直賜ヒテ而、守レ詔フ。故、云フニ文理一。(神龜三年、改字母理。)

鈔曰、母理郷古ハ意宇郡、今ハ則入ニ能儀ノ郡ニ。郡家東南卅九里一百九十步、今ノ之路度六里二十一町。此郷ハ者併ニ乎草野村・十年島村・日波村・赤屋・横屋・峠内・三坂・大比良・井尻市・高江・福富・小竹〔此処、今俗曰ニ井尻ト也。〕母理市・北安田村ノ南辺等ノ之地ヲ一以爲ニ一郷一也。長江山ハ者、上小竹村玉大明神ノ所レ座スル山ノ名也。按スルニ、古事記ニ伊佐奈美尊神、死、葬ルト下出雲ト与ニ伯耆ニ之界比婆山ニ上矣。蓋シ是、母理郷日波村ノ山ナラシ

也。(日ハ与レ比同シ、波ハ与レ婆同。)此ノ時、八雷ノ神師二千百、黄泉軍ヲ、令ムレ追イサ諾神ヲ。于時、神拔ニ十握劍一処ハ者、蓋シ所レ在ルニ意宇郡岩坂・日吉・平原三箇ノ之堺ニ一劍ノ山、是ナリ也。又投ニ乎桃三顆一之時、悪鬼、惧、歸去ル処者、意宇ト与ニ能儀ノ之堺ヒビ、俗ニ曰フコマカハリ、是ナリ也。最後ニ其ノ妹伊佐奈美ノ神、身ノ親、追キテ出之時、以ニ千人引磐石一塞ニ其ノ坂路一之処ハ者、是レ日吉村劍山ト与ニ岩坂村ノ神納山ニ之中路ニ今有ニ磐石一。蓋シ奈美ノ尊、到テ于此ノ処ニ一神魂静ニ坐。則其ノ名クルハ、神納一者、以テ此ヲ欺。其ノ後、乾方、去テ二十五町一、遷ニ祭ル于大庭一。乃シ神魂大明神、是也。古地ノ日波村、今無キハ、二廟社一者、此ノ謂也。日波ト与ニ大庭一、首トシテ震レ尾トシテ、乾相ヒ阻、今之路程七里也。

屋代郷、郡家正東卅九里一百廿步。天乃夫比命ノ御伴、天ノ降来坐伊支等之遠、神天津子命詔、吾淨將坐志社詔。故、云社。(神龜三年、改字母代。)

鈔曰、記ニハ屋代在ニ意宇郡ニ。和名鈔ニハ入ニ能儀郡ニ。此ノ郷ハ、并セテニ於吉佐村・安田ノ宮内・未明・関村ヲ一以爲ニ一郷ト也。蓋シ此ノ国ノ東ノ堺、手間割トハ者、乃シ関村ナリ也。自レ関以東、経ニ四五十町一、則有ニ伯耆国手間郷一也。屋代郷、郡家正東卅九里一百廿步、今ノ之六里廿町。相ヒレレ吉佐村ニ一矣。

楯縫郷、郡家東北卅二里一百八十步。布都努志命之天名楯縫直給之。故、云ニ楯縫ト。

鈔曰、楯縫郷在リニ旧ハ意宇郡ニ。今ハ則入ニ能儀郡ニ。郡家東北卅二里一百八十步、今ノ之五里十五町ナリ。此ノ郷ハ、合ニ於清井・清瀬ノ野外村・門生村ヲ一以爲ニ一郷一。又和名ニ所レ書スルニ二口縫郷ト一者、以ニ九重村及ヒ清水・早田・佐久保ノ辺一為ニ二口縫ト一也。

安來郷、郡家東北廿七里一百八十歩。神須佐乃烏命、天壁立廻坐之。爾時、來ニ坐此処ニ、御心者安平^カ成^{ナリ}詔^スフ。故、云ニ安來ト一也。即、北ノ海ニ有^ル邑壳^カ埼^{サキ}一。飛鳥^{トビ}淨原^{キヨハラ}宮^{ミヤ}御宇^{ミコト}、天皇^{スメラミコ}御世^{ミコトノヨ}、甲戌年七月十三日、詔^ス臣^{ミコト}猪麻呂^{イノマロ}之女子^{メノコ}、遣^ハ二件^ニ、埼^{サキ}、遡^{サガ}返^ヘニ遇^フニ和^ニ爾^ニ一。所^レレテ、賊^{ソコ}不^レ切^レ。爾時、父猪麻呂、所^レレ、賊^{ソコ}ナハ、女子^{メノコ}、歛^ク置^ク上^ニ、大^キ發^ス聲^ヲ、憤^ニ、号^シレ、天^ノ踊^リレ、地^ニ、行^ク、吟^ミ、居^テ、嘆^キ、昼^ノ夜^ノ辛^ク、苦^シ、無^レ避^ニ、歛^ル所^ニ。是^レ之^ノ間^ニ、經^テ、歷^シ、數^ニ日^ヲ。然後、輿^ヲ、慷慨^ニ、志^ヲ、麻^呂、箭^ヲ、銳^ニ、撰^リ、便^ニ、処^ラ一居^ル。即、據^テ、訴^フ云、天^ノ神^ヲ、千^五百^萬、地^ノ祇^ヲ、千^五百^萬、并^ニ、當^リ、國^ニ、靜^ニ、坐^ス、三^百九^十九^九社^ヲ及^ヒ、海^ノ若^等、大^ノ神^ノ之^ノ和^魂者^ヲ、靜^リ、而^{シテ}、荒^ク魂^者皆^ク、悉^ク、依^リ、給^ヒ、猪^麻呂^カ之^ノ所^ニ乙^シ。良^ク、有^ル、神^ノ靈^ヲ、坐^シ、者^ヲ、吾^ガ、所^ノ、傷^ニ、給^フ。以^テ、此^ク、知^シ、神^ノ靈^ノ之^ノ所^ニ神^ノ者^ヲ。爾時、有^ル、須^ス、與^リ、而^{シテ}、和^ル、百^余、淨^ニ、圍^ニ、繞^シ、一、和^ル、爾^ヲ、徐^ク、率^テ、依^リ、來^リ、從^テ、於^テ、居^下。不^レ、進^レ、不^レ、退^レ、猶^ラ、圍^ニ、繞^ス、耳^ヲ。爾時、拳^テ、鉞^ヲ、而^{シテ}、刃^ヲ、中^ニ、大^一、和^ル、殺^シ、捕^シ、已^ニ、訖^テ、然後、百^余、和^ル、解^散。殺^シ、割^テ、者^ヲ、女子^ノ之^ノ、脛^ヲ、屠^リ、出^ス。仍^ラ、和^ル、者^ヲ、殺^シ、割^テ、而^{シテ}、掛^レ、串^ニ、立^シ、路^ノ之^ノ、垂^ル一也。〔安來郷入語臣与之父也。自尔時以来、至于今日經六十歲。〕

鈔曰、安來郷、旧ハ在意字郡ニ。今ハ者入能儀郡ニ也。郡家東北廿七里一百八十歩、今之四里廿一町。此郷、會ニ於安來市・同宮内・和田・黒鳥・島田ノ辺ヲ一以爲一郷一。有ニ宮内ニ于加茂・糺・貴船・松尾ノ神社一。記ニ書スニ加茂神戶ハ郡家東南卅四里ト。則今ノ之五里二十四町。然ラハ相^ニ、當^リ、大塚村ニ。後ニ蓋^シ、徒^ニ、祭^ル、自^レ、大塚宮内村ニ一者。又安來ノ海邊、十神山ノ磯^ニ、有^リ、下^ニ、云^フ、比壳^カ、埼^{サキ}、一処^ニ。所謂猪麻呂^ノ、女子^ノ、爲^メ、ニ、鰐^ノ、魚^ノ、一所^ニ、ハ、香^ク、蓋^シ、以^テ、此^ノ、之^ノ、処^ニ、歟。世俗^ノ、謬^ク、曰^フ、搦屋^ノ、神^ノ、常^ニ、通^ス、スル^ニ、于島根郡三保明神ニ一之時、偶^ニ、爲^ル、ニ、鰐^ノ、魚^ノ、一傷^ム、二乎其ノ足ヲ一。然^ラ、ハ、蓋^シ、乃^シ、猪^ノ、麻^ノ、呂^ノ、ハ、可^レ、爲^ル、ニ、搦屋^ノ、明^ノ、神^ノ、社^ノ、司^ノ、一歟。故^ニ、有^ル、二、世俗ノ伝説一者^ヲ、ナラシ^メ、也。或^ハ、曰^フ、出雲神戶、

神官ナリト也。

山国郷、郡家東南卅二里二百卅歩。布都努志命之國廻坐時、來ニ坐此所ニ而詔^ス、是^レ、土^ノ、者^ノ、不^レ、止^レ、欲^シ、見^ル、詔^ス。故、云山国也。即有正倉。鈔曰、山国ハ、旧ハ在^リ、于意字郡ニ。今ハ、則^テ、別^ニ、于能儀郡ニ也。卅二里二百卅歩、今ハ五里十五町五十間。合^{セテ}、二乎吉田・柿谷・鳥木ノ三村^ヲ、而^{シテ}、以^テ、爲^ス、ニ、此^ノ、郷^ト一矣。飯梨郷、郡家東南卅二里。大國魂命、天降坐^ス、時、當^リ、此^ノ、処^ニ、而御膳^ヲ、食^ス、給^ヒ。故^ニ、云ニ飯成^一。〔神龜三年、改字飯梨。〕

鈔曰、飯梨ハ、旧ハ在^リ、于意字郡ニ。今ハ、則^テ、分^ニ、于能儀郡ニ也。卅二里ハ、今ノ五里十二町。并^ニ、乎飯梨及引弘・実松・矢田・古川・新宮・富田・田原等ノ村^ヲ、而^{シテ}、以^テ、爲^ス、ニ、郷^ト一也。飯梨ニ有^ル、飯梨大明神ノ祠一。故^ニ、以^テ、名^ク、于郷也。又富田村ニ有^ル、都^ノ、俣^ノ、志^ノ、呂^ノ、大明神ノ社一。聞^ク、是^レ、伊^ノ、作^ノ、奈^ノ、根^ノ、命^ノ、投^テ、二乎御杖^一ノ所^ニ、ナリト也。又聞^ク、富田城ハ平家ノ勇士、惡^ク、七^ノ、兵^ノ、景^ノ、清^ノ、カ^ノ、之^ノ、所^ニ、ナリト也。曆^シ、応^ノ、比^ノ、比^ノ、塩^ノ、治^ノ、高^ノ、貞^ノ、居^ニ、住^シ、于^テ、此^ノ、城^ニ、明^ノ、德^ノ、年^ノ、中^ニ、佐^ノ、佐^ノ、木^ノ、治^ノ、部^ノ、少^ノ、輔^ノ、高^ノ、範^ノ、居^テ、レ^ニ、之^ノ、領^シ、于^テ、此^ノ、國^ニ。塩^ノ、治^ノ、駿^ノ、河^ノ、守^ノ、亦^ノ、守^ル、レ^ニ。近^ク、世^ニ、尼^ノ、子^ノ、氏^ノ、世^々、々^ニ、擲^テ、于^テ、此^ノ、城^ニ。到^テ、于^テ、義^ノ、久^ニ、爲^ス、ニ、毛^ノ、利^ノ、元^ノ、就^ノ、一、所^ニ、シ^テ、屠^リ、之^ニ、於^テ、此^ノ、城^ニ、而^{シテ}、遂^ニ、失^フ、二乎國^ト一矣。其^ノ、後^ニ、堀^ノ、尾^ノ、帶^ノ、刀^ノ、領^シ、テ、二於雲隱^一、復^ニ、保^ツ、レ^ニ、之^ヲ。及^ニ、慶^ノ、長^ノ、十^三、年^ニ、与^テ、子^ノ、息^ノ、忠^ノ、氏^ノ、議^シ、テ、而^{シテ}、相^ニ、二、攸^テ、于^テ、今^ノ、松^ノ、江^ノ、之^ノ、地^ニ、一、關^ニ、金^ノ、城^ヲ、於^テ、万^ノ、基^ニ、一矣。又古川村ニ祭^テ、伊^ノ、井^ノ、冊^ノ、尊^ノ、御^ノ、子^ノ、火^ノ、神^ノ、軻^ノ、遇^ノ、突^ノ、智^ノ、一、而^{シテ}、建^ツ、二、愛^ノ、宕^ノ、社^ト一。是^レ、亦[、]、慶^ノ、長^ノ、年^ノ、中^ニ、移^ス、ニ、松^ノ、江^ノ、中^ノ、原^ニ。又自^レ、三^ノ、飯^ノ、梨^ノ、村^ニ、三^ノ、四^ノ、十^ノ、町^ノ、許^ノ、行^テ、祭^ル、一、行^テ、有^リ、下^ニ、云^フ、二、祖^ノ、父^ノ、谷^ノ、姥^ノ、谷^ノ、一、所^ニ、上^ニ。自^レ、是^レ、又^ニ、三^ノ、四^ノ、十^ノ、町^ノ、許^ノ、行^テ、祭^ル、一、山^ノ、佐^ノ、村^ニ、於^テ、伊^ノ、井^ノ、冊^ノ、伊^ノ、井^ノ、冊^ノ、一、而^{シテ}、曰^フ、二、杜^ノ、大^ノ、明^ノ、神^ト一。又從^リ、二、飯^ノ、梨^ノ、一、八^ノ、十^ノ、町^ノ、許^ノ、南^ニ、行^テ、有^ル、二、布^ノ、部^ノ、村^ノ、大^ノ、明^ノ、神^ト、社^ト一矣。舍^ノ、人^ノ、郷^ノ、郡^ノ、家^ノ、正^ノ、東^ノ、廿^ノ、六^ノ、里^ニ。志^ノ、貴^ノ、島^ノ、宮^ノ、御^ノ、宇^ノ、天^ノ、皇^ノ、御^ノ、世^ニ、倉^ノ、舍^ノ、人^ノ、君^ノ、等^ノ、カ^ノ、之^ノ、祖^ト、

日宣³¹臣志毗大舍人供奉之。即是志毗カ之所ナリ。居。故ニ云ニ舍人ト。即有正倉一。

鈔曰、舍人旧ハ在意字郡ニ。今ハ成能儀郡ト也。卅六里ハ今ノ四里十二町。此ノ郷集ニ於吉岡・月坂・赤崎・沢村・野方・折坂一以テ為ニ郷ト。

大草郷、郡家南西二里一百廿步。須佐乎命御子、青幡^{アヲバ}佐久佐日古命坐。故、云大草。

鈔曰、大草ハ古今同ク在リ于意字ノ郡一也。二里一百廿步ハ今ノ十四町ナリ。方程共心スニ于大草村ニ。合テ於日吉・岩坂・大庭・佐草一以為ニ郷ト。自ニ大草一九十町南ニ去ラ有ニ熊野村一。又自ニ大草一六十町行テ而、有ニ平原一。又下ニ所謂出雲ノ神戶云云。故ニ云フトニ神戶ト。

此処モ亦大草六所大明神ノ之辺ナリ也。又熊野山ハ者、所謂熊野大神ノ之所ニシテ座マシ、而シテ意字ノ小川ノ水源ナリ也。按ルニ、延喜式・風土記共ニ以テ書ス熊野大社ト。是則合セテ祀テ伊佐奈枳尊・熊野加武呂乃命及ヒ伊佐奈美尊ヲ、以テ尊ニ崇ス三座本社ト。又下ノ社ハ會ニ祭テ天照太神・素戔嗚命及ヒ五男三女一曰ニ之ヲ伊勢宮ト。記ニハ上ノ社ヲ謂ニ熊野ノ大社ト。又以ニ下ノ社ヲ謂ニ田中ノ社ト。而シテ榎井ノ社モ亦在ニ于同処ニ也。自リ熊野一以北一里有半、是レ西岩坂ナリ。從リレ此レ東南一里有半、是レ東岩坂ニシテ、而シテト能儀郡祖父谷之堺^{サカヒ}ヒ來魔返^{カヘリ}之嶮坂ナリ。此レ、則、雲伯兩國ノ界、母理ノ郷日波村ナリ也。古事記ニ所謂葬ルカニ於伊弉册尊ヲ、蓋シ可ニ此村ナル矣。又所謂伊弉諾尊驚テ而走還之時、惡鬼起追來時、抹ニ桃ノ実一以擲シカレ之、退走之処、來魔返坂、蓋シ是也。自此西北一里有半、東岩坂ト与ニ日吉村一之堺ヒ、有ニ劍山大明神ノ之社一。式ニ書之ヲ熊野神社ト。是レ自レ日波尊ヲ追來、惡鬼ニ投ニ於劍ヲ之社也。而シテ伊弉册尊ノ神魂

有ニ靜マリ、坐石ノ磐一。俗ニ曰ニ之ヲ神納一。又自ニ神納一西北十四町、

自ニ日波一西北七里、後ニ徙ニ祀伊弉册ノ神魂於大草郷大庭ニ是レ則、神魂大明神也。其後出雲神戶モ亦移シテニ于此処ニ今相殿ニ所ナリ座マシ也。杵築大社ノ国造新ニ繼シ於神職ラ之時、奉ニ承シ神大神水ヲ

遂ニ行フ於神事ラ之処モ亦此ノ神社ナリ也。蓋シ須佐乃烏命ノ隨フニ母ニ于根国ニ之遺標ヲ乎。又自ニ大庭一十五町以西ニ有ニ佐草村八重垣大明神一。合ニ祭テ素戔嗚・稻田姬及ヒ大穴貴乃命ヲ以為ニ本社ト。且ツ以ニ手撫乳・足撫乳ヲ為ニ末社ト、乃シ佐草ノ社、是也。往レ是ヨリ、在ニ

大原郡潮郷須我ノ地ニ。須我ハ自ニ佐草一四里許西南也。

山代郷、郡家西北三里一百廿步。所造天下大神大穴持命御子、山代日子命坐。故、云ニ山代一也。即有正倉。

鈔曰、山代ハ古今同ク在ニ于意字ノ郡ニ矣。三里一百廿步今ハ曰フ三十二町ト。乃有リニ山代村一也。此ノ郷、併ニ乎竹屋・八幡・間湯・矢田・津田・乃木・阿手奴伎等ノ辺ヲ一以為一郷ト。此ノ記ニハ、書ス山代山ヲ於神名榎山ト。此ノ山ノ之翠微有ニ高森大明神ノ之社。南ノ足有ニ伊作奈枳ノ宮一。又真名井滝ノ神祠モ在ニ于此ノ側一也。山代ヨリ東去ニ二十五町、有ニ竹屋、八幡宮一。又竹屋ヲ以北去ニ十二町、乃シ有ニ八幡・間湯村一。從リニ此ノ辺一渡シニ眺阿太加江・揖屋之滄海ヲ、曰フニ之ヲ於飯宇ノ海ト。又從ニ間湯一經テ乎東海五十町一而、則有ニ島根郡大海埼一。所謂出雲御大海埼、是也。蓋シ大已貴命於ニ此ノ海上ニ、取ニ拾シテ於少彦名ノ命ヲ、而シテ到ニ于指間島ニ愛ニ養之ヲ一乎。然モ神代卷ニハ、行ニ到ニ出雲ノ國、五十狹狹之小汀一云云。手間島ノ記ニハ書スニ塩楯島ト。此ノ島上ニ有ニ天神ノ祠一。乃シ少彦名命ナリ。神書ニ所謂自ニ指間一漏隨者必彼矣。然ハ則、書シテニ指間一可トナラン乎不。因テ有ニ天神ノ祠、曰フニ指間島ト、後世

書スルカ^テ手間^ニ一乎。自リ^ニ間湯^ニ二十町以^テ西有^ニ矢田村^一。自レ^ニ西北十八町行^テ有^ニ津田村^一于^ニ高日社[・]売豆^賣社^一。自レ^ニ此以^テ西二十五町行^テ有^ニ天神橋^一于^ニ天満天神ノ社^一。自^ニ此^一橋^一以^テ北十町行^テ有^ニ松江ノ大橋^一。是^レ則^レ、島根^ノ意宇^ノ二郡^ノ之^レ界也。而^レ往^レ是^{ヨリ}、此^ノ川^ニ無^ニ社^一、梁^一亦無^{シテ}下^ニ以^テ二乘輿^ヲ、一涉^レ人^ヲ之^レ子^ノ産^上、而^{シテ}民病^レ、涉^レ也。慶長十三年、堀尾帶刀初^テ成^{シテ}二大梁^ヲ、一通^ス乎^ニ南北^ノ之人^ヲ云。又自^ニ津田^一西南四十町許^ニ行^テ有^ニ乃木浜^一。記^ニハ書^ス乃木^ノ於^ニ野代^一。

拜志郷、郡家正西廿二里二百一十歩。所^レ造^ニ天下^一大神命、将^レ平越八口^ノ為^レ而^レ幸時、此^ノ処^ニ樹^レ林^茂、盛^ル。尔^レ時^ニ詔^フ、吾^ノ御心^ノ之^レ波^ノ夜^ノ志^ノ詔^ス。故^レ云^レ林。〔神龜三年、改^レ字^ニ拜志^一〕即^レ有^ニ正倉^一。

鈔曰、拜志郷者、古今共^ニ意宇^ノ郡也。二十一里二百一十歩、今^ハ三十二里三十間也。

完道郷、郡家正西卅七里。所^レ造^ニ天下^一大神命^ノ之^レ追^レ給^レ猪^ノ像[、]南山^ニ有^レ二ツ。〔一ハ長^ニ二丈七尺[、]高^ニ一丈[、]周五丈七尺。一ハ長^ニ二丈五尺[、]高^ニ八尺[、]周^ニ四丈一尺。〕追^レ猪^ノ犬^ノ像[、]〔長^ニ一丈高^ニ四尺[、]周^ニ一丈九尺。〕其^ノ形^レ為^レ石^ト。無^レ異^ニ猪^ノ犬^ニ。至^テ今^ニ猶^レ有^ニ。故^ニ云^フ完道^ト。鈔^ニ曰[、]完道^古今^同在^リ于^ニ意宇^ノ郡^ニ也。卅七里^ハ者^今ノ^六里^六町也。此^ノ郷^ハ會^ニ於^ニ白石^ノ完道[・]佐^ニ佐^ニ布^ニ村^一而^以為^ニ郷^ト也。完道^ノ駅家[、]比^ニ天平^ノ一^者在^リ于^ニ白石^ノ浜^ニ。今^ハ十八町以^テ西^ニ在^リ于^ニ完道^ノ之^レ郷^一矣。大穴^持命^ノ追^レ來^ルノ^猪犬^ノ像^石者[、]今^ハ白石^本郷^村石^宮大明^神、是^{ナリ}也。乃^ハ完道^社ナリ。然^ラ者[、]羽^父志^村ノ^正字^ハ可^シレ^ニ為^ニ白^猪石^一歟。今^ハ略^{シテ}曰^ニ白石^ト。又^ニ村^中ニ^有リ^ニ女^男岩^一。有^ニ同^村才^谷于^ニ高^宮大明^神之^レ社^一。記^ニハ書^シ之^レ狹^井高^社ト、亦以^テ才^谷明^神一書^ス狹^井社^ト。又有^リ下^ノ白石^浜ニ^塩治^高貞^カ之^レ自殺^ノ処^ト。故^レ俗^ニ曰^フ二一生^害ノ^灘ト。云^フ以^テ南^ノ谷^ヲ於^ニ宮^原ト。有^ニ此^ノ処^ト。

田中^ニ隱^ニ彼^カ之^レ首^級ヲ^一之^レ水^沢上^{。今}菅^ノ葦^ノ茂^ク々^々。吁[、]彼^ハ者^有リ^レ忠^失フ^ニ於^ニ身^一也。師^直之^レ嫌^悪、実^ニ可^クシ^レ嫉^而可^シ憎^クム。有^ニ自^リレ其^ノ西^山ニ^高貞^ノ之^レ石^塔、婆^一。又有^ニ完道^ニ于^ニ祇園^ノ社^一。近^世、尼^子氏^執ル^ニ国^柄ヲ^一之^レ時[、]有^リ完道^五郎^左衛^門尉^所レ^保ツ^ノ古^墨。又有^ニ白石^ノ金^山完道^正重^カ居^城ノ^旧墟^一。比^ニホ^ヒハ^ニ天平^ノ一^者、佐布^村為^リ二意^宇・出^雲二^郡ノ^界。故^ニ以^テ伊^自美^ノ社^ヲ、書^ス于^ニ出^雲郡^中ニ。弘^治年^中、出^雲郡^学頭^村高^清水^ノ之^レ城^主米^原平^内兵^衛、領^スル^ニ於^ニ此^ノ辺^ヲ之^レ時[、]從^ニ完道^一馳^ニ精^兵ヲ^一、以^テ略^ニ取^リ伊^自見^村軍^原之^レ辺^一。而^後於^ニ此^{ヨリ}、伊^自見^村遂^ニ屬^ス于^ニ意^宇ノ^郡ニ。又^按、和^名鈔^ニ有^ニ來^待郷^一。但^シ能^美ノ^郡割^分ノ^時、以^レ里^ヲ為^レ郷^ト歟。

余^戸里[、]郡^家正^東六^里二^百六^十歩。〔依^テ神^龜四^年編^戸、大^二里^一。故^レ云^余戸^也。〕

鈔曰、余^戸里^古今^共在^リ于^ニ意^宇郡^ニ也。六^里二^百六^十歩^ハ今^ノ之^レ一^里四^町二^十間^{ナリ}。以^テ方^路ヲ^一考^レレ^之、相^ヒ當^リ于^ニ意^東村^ニ。然^ラハ合^セテ^ニ意^東・揖^屋ノ^両村^ヲ以^テ可^キカ^レ為^ニ余^戸里^一乎。和^名鈔^ニ書^ニ筑^陽郷^ト、此^ノ記^モ亦^書ス^下筑^陽川^郡家^正東^一十^里一^百歩^{〔今}ノ^一里^ニ二^十五^町四^十間[〕]出^レ自^ニ荻^山北^ニ流^テ入^ルト^モ海^ニ。乃^ハシ^奥意^東川^上也。又^伊意^村ハ^通ス^于能^儀郡^荒島^岩松^ノ之^レ両^村。有^リ二意^東村^ニ于^ニ大^森大明^神之^レ祠^一。延^喜式^ニ載^ニ筑^陽神^社・同^社坐^波夜^都武^自和^氣ノ^神社^ト。自^ニ意^東十八^町以^テ西^ニ有^リ二揖^屋大明^神之^レ社^一。又^式ニ^ハ書^ス二揖^屋ノ^神社[・]同^社坐^韓国^伊多^氏神^社ト。本^社者^大己^貴命^{ナリ}。按^ルニ、揖^ハ讓^也。屋^ハ舍^也、居^也。然^レハ^則、神^代ノ^往昔[、]天^孫降^臨ノ^時、大^己貴^命、以^テ平^国之^レ広^矛一授^ク与^ヘ于^ニ天^孫ニ、揖^ニ讓^シテ^於天下^ノ之^レ広^居ヲ^一、然^レ後[、]大^己貴^命ハ^{八十}限^ク長^ク隱^居矣。以^テ此^ヲ思^フレ^之、揖^屋ノ^之称^誠ニ^有ル^ガナ^レ以^テ哉。又^伝フ、大^己貴^命經^ニ於^ニ海

路七里^一、從此^ノ處^ニ通^ル婚^ニ于^リ鳥根郡三穗^ノ之神^ニ。豈^ニ其^レ然^{シヤ}乎。是^レ齊野^ノ之俗談^{ナリ}也。此^ノ事^ハ予^既前^弁ス^レ之^故、不^亦贅^一矣。然^モ可^キカ^レ為^ル猪麻呂^ハ者^當社^之祠官^一歟。故^ニ有^リ俗說^一也。更^ニ可^レ考^フ之^也。

野城^ノ野城^ノ郡家正東廿里八十步。依野城大神坐^マス。故、云^ニ野城^ト。

鈔曰、野城^ノ野城^ノ郡^ハ在^リ于^ニ意字^ノ郡^ニ。而^今頒^ニ于^ニ能儀^郡也。廿里八十步^ハ今^ノ三里十三町^{ナリ}。和名鈔^ニハ書^ス野城^ノ郷^ト。所^以三^ノ号^ス野城^ト者、有^ニ松井^村于^ニ野城^ノ大神^ノ社^ニ故^ニ名^ク之^ニ耳。曰^フ野城^ノ野城^ノ郷^ト。并^{セテ}松井^ニ于^ニ中津^ノ中島^ノ田瀬^ヲ以^テ為^ス此^ノ郷^ト也。往^古ハ言^レ有^リト^ニ三十六丈^ノ野城^橋。今^無シ^レ之^也。蓋^シ此^ノ時^ハ中島^切川^ハ羽島[・]坂田[・]赤江[・]荒島^等ノ村^落ハ悉^ク以^テ可^レ為^ルニ水中^一。其^後ニ漸^ク成^ルニ民里^ト也。延喜式^ニ書^スル^ハ于^ニ野城^ノ神社^ト同^ニ社^坐大穴^持神社^ト同^ニ社^坐大穴^持御子^ノ神社^ト乃^シ在^リ于^ニ松井^村ニ野城^三社^大大神[、]是^也。又^書ス^ニ天穗日^ノ命^ノ神社^在リト^ニ于^ニ能儀^郡屋代^ノ郷^ニ。然^ラハ者、可^キ為^ルニ吉佐^村天津^{大神}ノ社^一歟。盖^シ此^ノ社^ハ可^レ在^ニ亦野城^ノ之^宮地^ニ之神^也。

黒田^ノ黒田^ノ郡家同^ニ処^ニ。郡家西北^二里[、]有^リ黒田^村。土^ニ体色^黒シ。故^ニ云^ニ黒田^ト。旧^此ノ^處ニ^有リ^ニ是^ノ駅^一。即^号曰^フ黒田^ノ駅^ト。今^ハ郡家^ノ属^ス東^ニ。今^猶ヲ^追テ^レ旧^ノ黒田^ノ号^ヲ耳^ト。

鈔曰、黒田^ノ黒田^ノ郡家^ハ今^同在^リ于^ニ意字^郡也。郡家^ノ西北^二里[、]今^ノ十二町^{ナリ}。按^ルニ、旧^ノ郡家^ハ者^乃阿^太加^夜之^跡ニ^竹屋^村ノ^田疇^客大^明神^ノ森^リノ^木之^辺也。今^ノ郡家^ハ属^ト東^者、乃^シ今^ノ之^阿太^加夜^ノ之^市郷^也。盖^シ有^リ阿^太加^夜怒^志ノ^命ノ^社。故^ニ名^ク于^ニ村^一也。書^スル^{コト}ハ字^ヲ於^テ出^雲ト^者、所^謂素^戔鳥^ノ命^ノ國^一引^而、出^雲國^ハ者^狹布^之堆^國在^ト詔^テ、初^テ國^小所^造テ^立ツ^ニ意字^ノ社^一。故^ニ曰^フ出^雲郷^ト、

亦^ハ曰^フナ^リ意字^里ト^一也。又^由宇^ノ社^ハ者、在^リ于^ニ芦^高ノ^社司^カ之^竹叢^ノ中^ニ。且^経熊^野阿^太加^夜ニ^流レ^来ノ^川曰^フ意字^ノ小^川ト^一。此^ノ下流^ノ之^海辺^ヲ或^ハ曰^フ錦^ノ浦^ト、或^ハ曰^フ意字^ノ海^ト。又^有此^ノ村^ノ中須^田谷^于白^尾大^明神^及荒^川大^明神^ノ社^一。記^ニハ書^スニ^是於^テ須^多上社[・]下^社ト^一。

完道^ノ完道^ノ郡家正西卅里。(説名、如^レ郷。)

鈔曰、古^ノ之^卅里^ハ今^ハ曰^フ五^里ト^一。路程^相ニ^心セ^リ于^ニ意字^郡完道^ノ郷白石^ノ之^海浜^一。而^今乃^シ十八^町以^西、徒^ニ完道^ノ之^市也。

出雲^ノ出雲^ノ郡家南^西二^里廿^步。伊^佐奈^积乃^麻奈^子坐^熊野^加武^呂乃^命与^五百^津鉏^々猶^所取^々而^所造^天下^大穴^持命[、]二^所大^神等^依奉^{。故}、云^ニ神^戸。(他^郡等^之神^戸如^是)

鈔曰、出雲^ノ出雲^ノ郡家^ハ今^共在^リ于^ニ意字^郡也。二^里廿^步今^ノ十二町^{二十}間。其^ノ方^路程^相ニ^当大^草郷^中明^神ノ^社辺^ニ也。天^平以^後、合^セ徒^ニ神^戸於^テ大^庭ノ^社一^見矣。

加茂^ノ加茂^ノ郡家東^南卅^四里。所^造天^下大^神命^之御^子、阿^遲須^积高^日子^命、坐^葛城^賀茂^社、此^ノ神^之神^戸。故、云^鴨。(神^龜三^年、改^字賀^茂)。即^有正^倉。

鈔曰、賀^茂神^戸、旧^ハ在^ニ于^ニ意字^郡也。今^ハ則^入ル^ニ於^テ能^儀ノ^郡也。卅^四里^ハ者^則今^ノ五^里廿^四町。当^レニ^于大^塚村^四社^大明^神之^社辺^ニ也。又^有安^来ノ^宮内^村于^ニ加^茂大^明神^之祠^一。和^名鈔^書ニ^賀茂^神戸^郷ト^一也。

忌^部神^戸、郡家正^西廿^一里^二百^六十^步。国^造神^ノ吉^調望[、]参[、]向^朝廷^ニ時[、]御^沐之^忌玉^ヲ。故、云^ニ忌^部也。即[、]川^辺ニ^出湯^{。出}湯^ノ所^在、兼^ニ海^陸ヲ[、]仍[、]男^女老^少、或^道路^駱駱^ヲ。或[、]海^中沼^瀾、日^集成^市、續^紛燕^楽ニ^濯ヘ^リ。則^形容^端正^{ナリ}。再^詠則^万病^悉除^ク。自^レ古^至今[、]

無不_レ得_レ驗_ヲ。故、俗人、曰_二神湯_一也。

鈔曰、忌部神戶、古今同_ク在_二于意宇郡_一也。廿一里二百六十歩、今_ノ之三里二十二町廿間_{ナリ}。自_リ、_二那家_一方路共_ニ當_レレ_リ于忌部村_一。忌部川_ヲ記_ニ書_ス野代川_ト。今此_ノ川_ニ無_シ温湯_一。而_{シテ}玉造川_ニハ乃_シ在_リ温泉_一。然_レハ、則、東西_ノ忌部玉作_ノ湯市_・面白_・大谷_{此レ}等所_々都_{忌部}ノ神戶也。和名鈔_ニハ曰_二忌部ノ郷_一。又此_ノ村_ニ有_リ久多美山大明神及_二三社大明神_一社。〔玉作湯神社・同韓國伊多氏社・湯村布加美明神ノ社是也。記_ニハ書_スニ布吾弥社_ト矣。〕又有_二八幡宮_一。面白_ニ有_リ杉谷大明神・若杉大明神及_二高田大明神等_一ノ小祠_一。大谷村_ニ有_二比登都壳大明神ノ社_一。此_ノ神_ハ者、蓋_シ猿田彦_{ナリ}カ歟。教吳寺、舍人郷中。郡家正東廿五里二百廿歩。建_ニ立_{五層ノ}之塔_一。〔有僧_一〕。教吳僧_ガ之所造也。〔散位大初位下上腹首押猪_カ之祖父也。〕

鈔曰、古_ノ、古_ノ二十五里一百廿歩、今_ノ、四里八町_{ナリ}。此_ノ寺、記_ニハ為_二舍人郷中_一。和名鈔_ニハ曰_二口縫ノ郷ノ内清水村_一。蓋_シ可_レ為_二今_ノ之清水寺_一歟。本尊_ハ觀音也。寺僧_伝テ曰_レ、此寺_ノ之草創_ハ大同元丙戌_{ナリ}。不_レ知_ル也乎_不。今_マ見_ニ有_二六坊舍_一。宗者天台派也。

新造院一所、山代郷中。郡家西北四里二百歩。建立_二嚴堂也_一。〔無僧。〕置君自烈之所造也。〔出雲神戶置君猪麻呂之祖也。〕

鈔曰、古_ノ、古_ノ之四里二百歩、今_ハ曰_二廿七町二十間_ト。此寺_ハ未_レ詳_ニ也。何_ノ、処_{ナル}コト_ト也。又竹屋村_ニ有_リ三國分寺_ノ之旧墓_一。乃_シ磊_落磧_礎少々_今猶存_ス矣。

新造院一所、在山代郷中郡家西北二里。建立_二嚴堂_一。〔住僧一軀。〕飯石郡少領出雲臣弟山_カ之所造也。

鈔曰、西北二里、今_ノ、十二町_{ナリ}。盖_聞、有_二山代村_ニ于四王寺_トイフ。今_ハ者無_レ之。不_レ知_抑是_乎不_。

新造院一所、在山_{ヤク}郷_ヲ。郡家東南卅一里一百廿歩。建立_二三層塔也_一。山_ノ郷人置_二那根緒_カ之所造也。

鈔曰、卅一里一百廿歩、今_ノ、路尺五里八町_{ナリ}。有_二能儀郡吉田村_一于觀音寺_一。而_モ不_レ知_、蓋_シ此_レカ乎_。

- 〆熊野大社
- 〆加豆比乃社
- 〆都俣志呂社
- 〆伊布夜社
- 〆野白社
- 〆多乃毛社
- 〆布弁社
- 〆市原社
- 〆完道社
- 〆狭井高守社
- 〆布自奈社
- 〆野代社
- 〆伊陀氏社
- 〆詔門社
- 〆石坂社
- 〆山代社
- 〔以上四十八所並在神祇官〕
- 宇由比社
- 那富乃夜社
- 田村社
- 伊布夜社
- 夜麻佐社
- 由貴社
- 玉作湯社
- 支麻知社
- 久多美社
- 須多社
- 斯保弥社
- 久米社
- 壳布社
- 宇流布社
- 同布自奈社
- 野代社
- 前社
- 楯井社
- 佐久佐社
- 調屋社
- 壳豆貴社
- 加豆比乃高社
- 野城社
- 夜麻佐社
- 佐久多社
- 真名井社
- 意陀氏社
- 布吾弥社
- 狭井社
- 伊布夜社
- 田中社
- 速玉社
- 多加比社
- 同社
- 支布佐社
- 支布佐社
- 予穗社
- 阿太加夜社
- 毛社乃社
- 国原社
- 同予穗社
- 須多下社

河原社

布宗社

米那為社

加和羅社

笠柄社

志多備社

食師社(以上十九所並不在神祇官)

鈔曰、熊野大社・田中社・楯井社・速玉社・久米社、此レ等ノ五社ハ者、在リ于大草郷中熊野村ニ。売豆賣・多加比、此社ハ者在リ于山代ノ郷中津田村ニ。由貴社ハ者在リ于同郷間湯村ニ。玉造社者在リ于忌部郷玉作村ニ。布吾弥社モ亦在リ于同郷湯村ニ。伊布夜社・同社ハ者在リ于筑陽郷余戸ノ里揖屋村ニ。予穂社・同社、是レ亦同郷伊東村ノ大明神ニシテ而シテ、延喜式ニハ書スニ筑陽神社・同社ニ坐波夜都武自和氣ノ神社ト、則是也。支麻知社ハ者即來待ノ郷大森大明神也。野白社ハ者、意宇郡野白村友田大明神、是也。野代社・同社ハ者、乃木村當努貴大明神及ヒ福富村大明神ナリ也。而シテ此記ニハ以ニ乃木・乃白・福富ヲ一都テ曰フニ野代ト。予、以ニ野代川及ヒ蚊嶋等ノ処ヲ一仔細ニ考テ之ヲ、以分ツニ於此ヲ一矣。加豆比乃社ハ者、山代ノ郷伊佐奈積ノ明神蓋シ是レ耶カ。加豆比乃高社ハ、是レ亦在リ于同村神名樋山ノ翠、微一高森大明神、是ナリ也。真名井ノ社モ在ニ亦同郷伊佐奈積ノ社ノ東ノ滝ノ之下一社ナリ也。市原社ハ者、筑陽ノ郷余戸ノ里揖屋ノ市原明神也。由宇ノ社ハ者、須佐袁ノ命所ニシテ造ルニ初テ國ノ小処ニ而、在ニ於黒田ノ駅出雲村芦高ノ神司ガ之篁叢中ニ小祠、是レ也。阿太加夜ノ社是亦古ハ者在リ乎同郷今宮帳ニ。後合セニ祭ルカ于芦高ノ宮ニ耶。須田社・同下社此ノ二祠モ亦、同郷須田谷白尾大明神及ヒ荒川大明神也。佐為社ハ者、乃シ完道ノ郷白石村才谷大明神、是也。佐為高守社モ亦同郷高宮大明神也。完道社はレ亦同郷白石本郷石宮大明神ニシテ、而シテ乃シ有ルニ大穴持ノ命ノ追ヒ來ル猪・犬ノ之石像一之社也。布自

奈社・同社ハ者、意宇郡忌部ノ郷中布志名村大明神也。延喜式ニハ書スニ、布自奈大穴持社・布自奈ノ神ト一矣。岩坂社ハ者、靜ニ坐マヌ於大草ノ郷岩坂村神納山ニ。伊佐奈弥命ノ神魂社、是也。後ニ遷ニ座シ于大庭ニ、謂フニ之神魂大明神ト。乃シ大社ノ兩國造、年々仲冬中卯ノ日、到リ來テ于此ノ社ニ一薦ニ菅ヲ於新穀新粟ヲ。蓋シ是、尊レ本ヲ敬テ始ヲ而報ニ謝スルノ於神恩ヲ一之遺意カ歟。詔門社ハ者、延喜式ニハ載スニ、態烈社ト。是レ亦同郷日吉村劍山大明神也。此事ハ、予、先ニ己ニ弁スレ之ヲ。川原社ハ者、同郷岩坂村川原谷大明神、是也。布宇社ハ者、蓋シ拝志ノ郷風ノ宮ノ事カ歟。佐久佐ノ社ハ者、大草ノ郷佐草村ノ八重垣大明神ナリ也。佐久多社・同社、此兩社モ亦在ルカ于同郷ニ乎不、未タ詳ニレ之。山代社ハ者、山代郷津田村中御山代大明神也。夜麻佐社・同社ハ者、在リ于能儀郡山佐村ニ。都俣志呂ノ社ハ者、在ニ于同郷飯梨郷富田庄広瀬ニ。野代社ハ者、在ニ于同郷野城郷松井村ニ。延喜式ニハ書スニ、野城神社・同社坐大穴持神社・同社坐大穴持御子神社ト。乃シ此ノ三社ノ内以テ大穴持之ニ所ト一也。多乃毛社ハ者、能儀郡屋代郷内北ノ安田村田面大明神、是也。載スルニ于此記ニ神祇官ノ之外、支布佐社・同社此ノ二所ハ能儀郡屋代郷吉佐村天津大明神・客大明神ノ兩社、是也。按ニ延喜式ニ書スルハ有リト、屋代郷天穗日命ノ神社、則天津大明神ノ事也。布部社ハ者、能儀郡飯梨川ノ水上、布部村ノ大明神也。斯保弥社ハ者、在リ于同郷母理郷井尻市ノ神官ガ之篁中ニ小社、是也。食師社ハ者、同郷飯梨ノ郷飯成村ノ社也。売布社ハ者、座スルニ于松江白肩ノ津ニ之神社也。古事記書スルハ、青雲國白肩ト、則出雲國白肩ノ津、是也。此外、意陀支社・宇由比社・那富乃夜社・國原社・

。田村社。笠柄社。志多備社。宇流社等ノ十社、未^ク詳^ニセ
於其ノ所在^ヲ。故^ニ欠^クレ之者也。蓋^シ夫^レ我國^ハ者天^ノ神^ノ之降迹^{ニシテ}

而、且^ツ出^テ雲^ハ者大^ニ已^ハ貫^ク之鎮座神事^ノ之根源^{ナリ}也。愚老、雖^{トモ}三^多
年探^ク索^ス於此^ノ事^ヲ、然^モ上古^ノ載籍^ヲ殫^{ニシテ}、而^モ不^レ致^カ也。諸社^ノ來由
知^ル之^ヲ者、鮮^シ矣。故^ニ往往^ニ未^クスレ^テ遑^マアラ^ニ于考正^{スル}之^ヲ。實^ニ可^キ
以^テ憾^ム一^カ哉。是^レ則^レ忘^レテ^ニ予^ガ之固^陋、所^ニ以^テ作^{スル}ニ^於此^ノ鈔^ヲ也。

長江山、郡家東南五十里。〔有水精。〕

鈔曰、長江山^ハ者在^リ于能儀郡母理郷井尻^ノ中上小竹村^ニ。五十里^ハ
者今^ノ之八里十二町也。

暑垣山、郡家正東八十步。〔有蜂蟻。〕

高野山、郡家正東一十九里。

鈔曰、高野山^ハ意^ニ于安徳天皇勅願^ノ之觀音堂^ニ矣。
町。有^ニ此^ノ山^ニ于安徳天皇勅願^ノ之觀音堂^ニ矣。

熊野山、郡家正南一十八里。〔有檜・檀也。所謂熊野大明神社坐。〕

鈔曰、熊野山^ハ意^ニ于郡大草郷^ノ端村熊野^ノ里^ニ、乃^シ熊野大明神山
也。一十八里^ハ今^ノ之三里^{ナリ}也。

久多美山、郡家西南廿三里。〔有社。〕

鈔曰、久多美山^ハ在^リ于意^ニ于郡忌部^ノ郷^ニ。有^ニ此^ノ處^ニ于久多弥大明
神^ノ社^ニ。廿三里^ハ今^ノ三里卅町^{ナリ}。

玉作山、郡家西南三十二里。〔有社。〕

鈔曰、玉作山^ハ意^ニ于郡忌部郷中湯^ノ大谷山也。三十二里^ハ今^ノ五里十二
町也。

神名樋山、郡家西北三里一百廿九步。高八十丈、周六里卅二步。〔東有松、
三方並有茅。〕

鈔曰、神名樋山^ハ意^ニ于郡山代山也。古^ノ三里一百廿九步^ハ今^ノ曰^フ二十

町九間一也。

凡^ソ諸山野所在草木、麥門冬・独活・石斛・前胡・高良姜・連翹・黃精・
百部根・貫衆・白朮・薯蕷・苦參・細辛・商陸・蘘本・玄參・五味子・
黃芩・葛根・牡丹・藍・漆・薇・藤・李・檜〔字或作梧。〕・杉〔字或
作梧。〕・赤桐・白桐・楠・椎・海榴〔字或作椿。〕・楊梅・松・栢〔字
或作榧。〕・藥・槻。禽獸^{ニハ}則有鵬・晨風〔字或作隼。〕・山鷄・鳩・鶉・
鶻〔字或作離黃。〕・鷓鴣〔作橫致惡鳥也。〕・熊・狼・猪・鹿・兔・狐・
飛鼯〔字或作獾、作蝠。〕・獼猴之族。至^テ繁多、不可題之。

伯太川。源出仁多与意字与二郡堺葛野山、經母理・楯縫・安來三郷、
入于海。〔有年魚・伊久比。〕

鈔曰、畠川^ハ者能儀郡母理郷井尻川也。仁多与意字二郡ノ之堺葛野山^ハ
者、井尻中、草野村^ノ折^カ坂^{ニシテ}而、東、比太村ノ之堺^{ナリ}也。比太、旧^ハ
者在^リ于仁多郡^ニ。今^ハ者入^ル于能儀^ノ郡^ニ也。母理、旧^ハ在^リ于
意字^ノ郡^ニ。今^ハ入^ル于能儀^ノ郡^ニ也。故^ニ書^{スル}下仁多与^ノ意字^ノ之
堺^ト上^者也。

山国川。源出郡家東南卅八里枯見山、北流入伯太川。

鈔曰、山国川^ハ者、能儀郡吉田川^{ナリ}也。卅八里^ハ今^ノ六里十二町^{ナリ}也。

枯見山^ハ者、同郡宇浪村水谷也。此^ノ川^ハ經^ル于宇浪^ノ吉田^ノ柿谷^ノ折坂^ニ。

野方・沢村・吉岡・月坂・赤崎・切川等之數村^ヲ、合^{スル}于母理川^ニ也。
飯梨河。源有^レ三。〔一水源、出仁多・大原・意字三郡堺田原。一水源、
出^ニ枯見^ニ。一水源、出仁多郡玉嶺山。〕三水合^{シテ}、北流入于海。

鈔曰、飯梨川^ハ者、乃^シ今^ノ之富田川也。田原村旧^ハ在^リ于意字^ノ郡^ニ。
今^ハ則屬^ス于能儀^ノ郡^ニ也。從^テ奥田原^ノ迄^ニ于比太村^ニ、東南方
路程七十町。又迄^ニ于大原郡上久野村^ニ、西南方路程五十町^ニ過
於此等^ノ之村^ニ。故^ニ書^{スル}三郡ノ堺^ト一者^ノナリ也。然^レトモ今^ハ能儀^ノ与^二大

原二郡ノ之堺而已。一水ノ源、枯見ハ者能儀郡宇浪山ノ名ナリ也。一水ノ源、玉嶺山ハ者能儀郡ノ比太ト、与ニ仁多郡龜嵩二村ノ之堺ヒ、乃シ龜嵩山ノ之旧号ナリ也。

筑陽川。源出郡家正東二十里一百步荻山、北流入于海。

鈔曰、筑陽川ハ者、意宇郡筑陽郷余戸里伊東村ノ之川也。荻山ハ者、奥伊東ノ之山ノ名也。

意宇川。源出郡家正南二十八里熊野山、北流東折テ流入于海ニ。

魚・伊久比。

鈔曰、意宇川ハ者、源ト自ニ熊野山ニ出テ、経テ於岩坂・日吉・大草・阿太加夜等ノ数処ラ、流テ入ルニ于海ニ也。故ニ俗言フ或ハ出雲、或ハ

大草、或ハ大庭川ト一也。

野代川。源出郡家西南二十八里須我山、北流入于海。

鈔曰、野代川ハ者、乃シ意宇郡忌部川也。自ニ大原・意宇二郡ノ之堺ヒ海潮郷須我山ニ出テ、経テ於忌部・乃白・乃木等ノ之村ラ、流テ、入ルニ于海ニ也。旧ハ乃白・福富・乃木三処、都テ曰ニ野代ト一。故ニ称スルニ

野代川ト而已。

玉造川。源出郡家正西二十九里志山、北流入于海。(有年魚。)

鈔曰、此ノ川、出スニ於温泉ラ。自リニ忌部ノ郷内大谷ニ出テ、経テ於玉造湯市ラ、而シテ入ルニ于北海ニ也。

来待川。源出郡家正西廿八里和奈佐山、西流至山田村、更折北流入于海。(有年魚。)

鈔曰、来待川ハ者、自リニ意宇郡和名佐山ニ出テ、経テ於菅原・佐倉・大森ラ、自リニ於東来待ト与ニ西来待ト之中間上落テ、北方入ルニ于海ニ也。此ノ記ニハ菅原ヲ書シニ山田村ト一。又来待ヲ曰レ里ト。和名ニハ曰フ二来

待ノ郷ト一。今俗ニハ以ニ和名・佐佐倉・大森・多根・菅原ノ五箇所ヲ云ニ

上来待ト一。以ニ鏡村・弘長寺村・浜村ノ三村ヲ云ニ東来待ト一。以ニ大野・横見・小松ノ三処ヲ云ニ西来待ト一也。

完道川。源出郡家正西卅八里幡屋山、北流入于海。(無魚。)

鈔曰、完道川ハ者、自ニ意宇・大原二郡ノ之堺完道ノ郷中金山谷ノ之奥ニ出テ、経テ於金山ノ坂口・客道村ヲ自ニ完道・佐佐布ノ之中間北ニ流マ

入ルニ于海ニ也。

津間拔池。周二里四十步。(有鳧・鴨・斬蓼。)真名猪池。周一里。北入海。門江浜。(伯耆与出雲二国堺。自東行西。)

子島。(既礪。)栗島。(有椎・松・多年木・宇竹・真島朮葛。)砥神島。周三里一百八十步、高六十丈。(有椎・松・辛・齋頭山高・都波・師

太等草木也。)賀茂島。(既礪。)羽島。(有播・比佐木・多年木・蕨・齋頭・葛。)塩楯島。(有蓼螺子・永蓼。)野代海中、蚊島。周六十步、中央温土、四方并礪。(中央有毛掬許、木一梓・茸曰。礪有蚊有螺子・海松。)自茲以西ノ浜或ハ峻堀、或ハ平土、並是通道之所経也。

鈔曰、津麻祓池、周二里四十步、今ノ十二町四十間也。有ニ意宇郡乃木村ニ一。真名井池、周一里、今ノ六町也。在ニ于意宇郡山代郷矢田

村ニ一。北入海門江浜者、能儀郡門生・吉佐所ノ之海際ナリ也。栗島、亦在リニ于同処也。砥神島、周三里一百八十步、今曰ニ廿一町ト一也。又在リニ同郡安来ノ海磯ニ一。羽島、在同郡飯島村北ノ之磯辺ニ一。此村、

盖古ハ海中ナリ。天平ノ之後、漸ク埋テ成ルニ民村ト一。彼ノ東海変シテ成ルニ桑田ト一之謂乎。麻姑ガ之言、信ニ有リ以也。吁、古今ノ之変可ニ以テ思ヒ

見一也哉。又砥神山ト与レ羽島之中間ニ有ニ鴨島・子島。而不レ見ハニ于此ノ記ニハ。且ツ記スル所ヲ見ル耳。塩楯島ハ者、意宇郡山代郷間

鴻村手間ノ天神所ノ座スル島也。野代海中ノ蚊島ハ、正字ハ蓋シ可レ作ニ嫁島ニ歟。在リニ于意宇郡乃木ノ之海中ニ一。俗ニ曰ニ婦島ト一。誤テニ婦

妻嫁娶之嫁一、而シテ曰フニ蚊嶋ト一耳。蓋シ比ヒハニ天平ノ一者、出雲ノ大河、自リニ伊努郷一西ニ折テ赴ニ于杵築郷ニ、会シテニ神門ノ之水海ニ、注シレ西ニ入ニ于大海ニ。故ニ此ノ辺ハ皆潮海也。因テ知ヌ、此ノ島有リテ螺子・海松等ノ海品一、其ノ後、此川自ニ伊努郷一却テ東ニ赴ヒテ流テニニ太美・平田ニ、遂ニ入ルニ于此海ニ。故今、無シテニ潮海ノ之産一、成ルニ吳尊雲芹ノ之湖水ト一耳。

道。通国東堺手間割、卅一里一百八十步。通大原郡堺林垣峯、卅二里二百步。通出雲郡堺佐雜崎、卅二里卅步。通島根郡朝酌渡、四里二百六十步。

鈔曰、国東堺手間割、者、能儀郡関村也。大原 意字ニ郡ノ堺林垣ハ者、来待ノ郷和名佐ト与、ニ大原郡幡屋山一之堺也。出雲・意字ニ郡ノ堺佐雜崎ハ者、意字郡伊自美村ト与、ニ佐々布村一之堺。乃シ、此レ佐加惠谷也。伊自見旧ハ在ニ出雲郡ニ。而今則属スニ于意字郡ニ也。島根郡堺ト朝酌渡ハ者、意字郡山代郷内間湯村ト与、ニ島根郡朝酌ノ郷内福富村一之中間ノ渡頭ナリ也。

前件一郡、入海之南、是則国務也。

郡主司主帳〔無位海臣、無位出雲臣〕

少領從七位上勲業出雲

主政外少初位上勲業林臣

概主政無位出雲臣

【第二册】

(表題)

出雲風土記抄 二

島根郡

合、郷捌、〔里廿。〕余戸、〔壹。〕駅家。〔壹。〕

山口郷。今依前用。

朝酌郷。今依前用。

手染郷。今依前用。

美保郷。今依前用。

方結郷。今依前用。

加賀郷。本字加加。

生馬郷。今依前用。

法吉郷。今依前用。〔以上捌郷別里參。〕

余戸里。

千酌駅。

鈔曰、按ルニ、此ノ記ハ為ニ八郷ト一、源ノ順カ和名鈔ニハニ多久ヲ一為シテ郷ト而都テ作ニ九郷ト一。多久ハ今ノ講武谷ナリ。近世、曰フニ円福寺村一。分テ而曰フニ上多久・下多久ト一。乃シ佐太川ノ上流也。又有レ社。

所ニハ号スルニ島根郡ト一、国引坐マズ八束水臣津野命ノ詔而順ヘ給ワ。故名ニ島根ト一。

鈔曰、以テニ郡中諸方ノ之所ノ経ルノ路程ヲ一稽ニ考ニ之ヲ一、此郡家ハ相ヒテ当ル于今ノ本庄・新庄両村ノ之中間ニ也。

朝酌郷ハ、郡家ノ正南一十里六十四步。熊野大神ノ命ノ詔、朝ノ御饗勘養、夕ヘノ御饗勘養、五賢緒之処定メ給フ。故ニ云朝酌ト一。

(行間に挿入)

「自清本云、按延喜式祈年ノ祝詞云、朝御食——能加牟加比尔云々。」

鈔曰、郡家正南一十里六十歩、今一里二十五町四間也。此ノ郷ハ合ニテ於朝酌及ヒ福富・大井・大海崎ヲ一以爲ニ郷ト一也。此ノ記ニ從リ

意宇ノ郡間湯一濟ニ此郷福富村ニ之渡頭、曰フ朝酌ノ促戸渡ト一。又按ルニ、神書ニ所謂出雲ノ御海崎者、蓋シ曰フ此ノ郷中俗ニ大海崎ト一之処也。又大井村ニ有リニ靈泉涌出ノ所ト一。

山口郷ハ、郡家正南四里二百九十八歩。須佐能烏命御子、都留支日子命ノ詔ヲ、吾カ敷坐マヌ山口ノ処ニ在リト詔フ。而故、山口順給。

鈔曰、郡家正南四里二百九十八歩、今ノ二十八町五十八間也。方路正當リ今ノ東川津村ト一。加ヘテ於西川津・川原・西尾ノ之三所ヲ一以爲ニ山口郷ト一也。

手染郷、郡家正東一十里二百六十歩。所レ造ニ天下一大神命ノ詔フ此ノ國ハ者、丁寧造ル國在リト詔フ。而丁寧順給。而今人猶誤謂ニ手染郷ト一之耳。即有正倉。

鈔云、正東一十里二百六十歩、今一里廿八町余。此郷ハ以ニ多須見・長見ヲ一爲ニ本郷ト一、并ニ之ニ於野原・別所・下宇部尾ヲ一以爲ニ手染郷ト一也。有ニ別所村ニ于枕木山寺ト一。嘗テ公務ノ之余暇ニ、与ニ二二、僚友ト一躋ニ攀テ於脩坂ヲ一、以テ到ニ于寺ト一。有ニ僧語ニ云、往古ハ者、

院宇比レ蔓マ、繼林繁榮ス。自レ中世而レ來衰替、方カニ余セリニ一寺ヲ一先キレ是、我カ先君下レ命ヲ以堂舍鐘樓等且加ヘラルニ修色ヲ一也。暫ク喫シテニ茶果ヲ一、尚ヲ亦探レハニ於幽遽ヲ一、則自レ寺行ヲ數十歩許、有ニ

石崖莓苔ノ間ニ于施無畏索多ノ座ト一。是レ当山ノ本尊ナリ。作ニ予敬拜ヲ一而後、入ルニ于寺ト一。実ニ得タリ、半日ノ之閑ヲ矣。而後、下リ自レ山、

以又就ニ公務ト一云。

美保郷、郡家正東廿七里一百六十四歩。所レ造ニ天下一大神、娶イテ高志國ニ坐マヌ神、意支都久辰爲命ノ子、俾都久辰辰爲命ノ子、奴奈宜置波比売命、令レ産ニ神御穗須々美命ヲ一。是神坐マヌ矣。故、云ニ美保ト一。

鈔曰、廿七里一百六十四歩ハ者今ノ四里卅二町四十間也。此郷ハ以ニ関村・福浦ヲ一爲ニ本郷ト一。併ニ加テ西ハ者森山、東ハ者雲津・諸喰等ノ之処ヲ一以爲ニ三保ノ郷ト一也。森山、旧曰フニ横田村ト一。則有リニ横田ノ社ト一。此記ニ所謂志羅紀乃三崎、又高志之都都三崎、又三保崎ト

者蓋シ皆ナ指スト此処ヲ見ヘタリ矣。又美保灘磯十八町東ノ方俗ニ有言フニ鳥ノ之神ト一処ニ。乃シ大穴貴命御子、事代主命、在リニ于此ノ島嶼ト一。作ニ乎釣魚・射鳥ノ之遊邀一蓋シ可レ然カ也。想レニ此ノ神、讓リニ天下ノ頭事ヲ於天孫ニ一而遊ニ獵ヲ于此ノ海島ニ一、信ニ可レ謂ニ此ノ処ヲ乎謂浜ト一歟。然モ彼ハ一旦避レ乱ヲ、俟ニ於天下ノ之清ト一。此ハ長ク

揖ニ遜ニ于天孫ト一、關ニ於百王ノ之洪基ヲ一。實ニ以テ異日ノ之証ナリ也。其レ釣ニ網ヲ射之仁、可シニ併ニ按ス一焉。又大己貴ノ命、自ニ掛屋ト一通テニ此処ニ一傷ニ於其ノ足ヲ一、己ニ見タリニ于前ト一。又自リニ此ノ湊ト一迄ニ于隠州島前ト一十八里。迄マテニ于同州島後ト一三十六里ノ之海路ト一也。

方結郷、郡家正東廿里八十歩。須佐能烏命ノ御子、國忍別命、吾敷坐地者、國形宜者、故、云ニ方結ト一。

鈔曰、廿里八十歩ハ今ノ三里十二町二十間ナリ。方結ハ今片江浦也。片江ノ中ニ有ニ僧都・玉江ト一。加ニ之ニ七類浦ヲ一以爲ニ一郷ト一也。生馬郷、郡家西北一十六里二百九歩。神魂命ノ御子、八尋鉦長依日子命ノ詔ク、吾カ御子、平明不憤。故、云生馬。

下佐田、併乎此等之諸村、以為二生馬郷ト一矣。

加賀郷、郡家北西二十四里一百六十步。佐太大神所坐也。御祖神魂命御子、支佐加地売命、闇岩屋哉詔、金弓以射給時、光加加明也。故、云加加。

鈔曰、廿四里一百六十步、者今四里二町四十間也。合ニ加テ于加賀浦及ヒ大芦、御津、以為ニ加賀ノ郷ト一也。加賀ノ神崎、者、在本郷ヨリ二十町許北ノ之海中ニ。久氣戸ノ社者在リ、于本郷ニ。母坂大明神・國師大明神、者座ス于大ノ芦浦ニ矣。

法吉郷、郡家正西二十四里二百卅步。神魂命、御子宇武加比売命、法吉鳥化而飛ヒ度リ、靜マリ、坐マヌ此ノ所ニ。故、云法吉。

鈔曰、一十四里二百卅步、者今、二里十五町五十間。合ニ法吉及ヒ春日、末次ノ三所ヲ以為ニ法吉ノ郷ト一也。今末次ニ有リ、五箇ノ名、曰ニ中原・黒田・奥谷・菅田・末次。所謂ル宇武賀比売命飛、度リ所ニハ座者、法吉村中宇久比須谷、是也。從ニ此ノ処ニ四町西南有リ、大森大明神ノ社矣。又此郷中ニ有ニ白髮之石跡。聞ク、尼子氏、乘ニ於國柄ノ之時、家臣松田氏伊豆守・同左近・同兵庫割、擲ス于此。弘治年中、毛利元就傾クルニ於尼子氏ノ之時、屯ニ營陣於荒隈山ニ、先ッ追ッ走ス松田ノ城ヲ。而シテ、白髮城、北東持田村ノ山ニ從リ、元就一置テ、斥侯一遂ニ略ニ屬於富田本城ヲ、尼子義久不シテ利、降ニ于元就ニ、請レ和ヲ云。蓋シ末次五箇ノ都テ五千斛許リ、編戸也。先ニ如レ云、慶長中ニ堀尾帶刀去テ、富田一徙ニ土ヲ于此処ニ、曰フニ松江城ト。蓋此ノ処ニ有リ、二巨口細鱗ノ之佳味。故ニ名クニ之、松江ト一也。又有ニ末次ノ内中原ノ南辺ニ荒隈灘ノ蹟。按スルニ、大己貴命与ニ少彦名ノ戮レ力ヲ一ニシテ、心ヲ經ニ、營天下ヲ、遂ニ到ニ出雲ノ國ニ、乃、真言曰ク、夫、葦原ノ中、國ハ本、自荒芒。然ラハ、則、阿羅和美字、可レ為ニ本字荒芒。後ニ改テ

作ルニ荒隈ニ一者ヲラシ、也。又以テニ中津国ノ中ノ字ヲ置レ上ニ、以ニ葦原ノ原ノ字ヲ一加テ下ニ、以テ曰フニ中原ト一者也。又昭床ノ社、者、社家者カ之言ク、合ニ祭ル少彦名・高皇産・天照太神・素戔嗚命及ヒ大穴持命等ノ五神ヲ。所謂ル神、与レ吾能ク相ヒ、作此ノ國ヲ一耶。是、時ニ而有レ光リ、海、依來ルト云。故ニ号クニ昭床大明神ト云。從ニ春日村本宮ノ社ヲ于奥谷ニ、而曰フニ春日大明神ト一矣。

鈔曰、余戸里、者古ノ郡家ニシテ、而、本庄・新庄加テニ之ニ邑生・上宇部尾辺ヲ一以可キナリ、為ニ余戸ノ里ニ也。

千酌駅家、郡家ノ東北一十九里一百八十步。伊佐奈积命御子、都久豆美命、此処坐。然者則、可謂都久豆美、而今人猶千酌号耳。

鈔曰、一十九里一百八十步、者今、三里九町也。今千酌東辺都而曰ニ北浦ト。併ニ於千酌及ヒ笠浦・瀬崎・野井・野浪等ノ浦ヲ一以テ可キカレ、為ニ千酌ノ駅館ト一歟。自リ、此ノ辺ニ隠州崎村ノ濱、海路十八里ナリ也。

- 布自伎弥社 多氣社 久良弥社
- 同波夜都武志社 川上社 長見社
- 門江社 横田社 加賀社
- 尔佐社 尔佐加志能為社 法吉社
- 生馬社 美保社(以上十四所、並在神祇官。) 大崎社
- 大崎川辺社 朝酌上社 朝酌下社
- 努那弥社 椋見社 大井社
- 阿羅波比社 三保社 多久社
- 蛭蛸社 同蛭蛸社 質簡比社
- 方結社 玉結社 川原社
- 虫野社 持田社 加佐奈子社

比加夜社 須義社 伊奈須美社

伊奈阿氣社 御津社 比津社

玖夜社 同玖夜社 田原社

生馬社 布夜保社 加茂志社

一夜社 小井ノ社 加都麻社

須衝都久社(以上卅五所、並不在神祇官)

鈔ニ曰、布自支弥・多氣兩社ハ共ニ在山口ノ郷布自支美山ニ今ノ嵩大明神、是也。故曰フ嵩山ト一耳。久良弥ノ社・同波夜都武志和氣ノ社ハ

同ク在ニ余戸ノ里新庄村久良弥谷ニ今久良弥大明神、是ナリ也。川上ノ社ハ在ルノ是レ亦余戸ノ里本庄村加波阿氣谷ニ社也。長見ノ社ハ手染

郷長見村ニ祭テニ尔々岐乃命ヲ一曰フ杵田大明神ト一。俗伝テ云、西塔、武藏坊弁慶ハ者此ノ処ノ所産ナリ也。因テ有ニ旧跡ニ。又有ニ小祠一不レ知

然レ也。不。在リ杵田ノ社ハ彼ノ小祠ノ之旁一也。門江ノ社ハ在リ山口郷東川津村ニ。今マ俗ニ曰ニ門戸谷一。則此ノ処、久仁志大明

神、是也。横田社ハ三保ノ郷今ノ森山村横田大明神也。加賀社ハ、加賀郷自リ灘ノ儀一北ノ方ニ神崎窟戸中ニシテ、所ニ産生スル一之大神ヲ後ニ徙ニ

陸地ニ謂フニ窟戸大明神ト一、是也。尔佐社ハ千酌ノ浦三社大明神ナリ。乃シ合セテ祀テ都久美命及ヒ伊弉諾・伊弉冊ヲ一曰ニ三社ト一也。尔佐加

志能為社ハ千酌ノ駅ノ内野井浦ノ神守大明神也。法吉ノ社ハ祭ニ於宇武加比壳一今ノ大森大明神、是也。生馬社ハ祀ルニ於八尋ノ銚長依日子、

命ヲ一社也。美保社ハ合セテ祀テ神御穂須美命、与ニ御祖大穴持命及ヒ御母努奈支智波比壳命ヲ一、而シテ曰ニ三社大明神ト一、是也。大崎ノ社ハ

祀ニ伊弉冊ノ尊ヲ於加賀ノ郷大芦浦ニ一曰ニ母坂大明神ト一、是也。又大崎川辺ノ社ハ、同処國師大明神ニシテ而、祀ルナリニ伊佐奈積命ヲ一也。朝酌上社ハ即朝酌ノ郷ニ祀テニ伊弉冊ノ尊ヲ一曰ニ大森大明神ト一。同ク下社ハ同

郷ノ多賀大明神ニシテ而合ニ禪伊佐奈積ト与ニ熊野大神命ト一社也。努

那弥社ハ野浪浦久仁戸志大明神ノ事也。椋見社ハ鎮ニ座スル新庄村久良見谷ノ山頂ニ一之神也。大井社ハ朝酌ノ郷大井村七社大明神ナリ。所謂

出雲ノ御大三崎、者在ニ此処ノ東ノ辺ニ一。此社ハ則祭ルニ大國主ノ神ト云。阿羅波比社ハ法吉郷中原村ノ照床大明神ナリ。仔細ハ見ニ于前ニ一。三

保社ハ并ニ祀事代主命及ヒ同弟一百八十神ヲ一社也。委ハ記スニ于先ニ一。多久社ハ多久郷講武谷神多久ノ森ノ社也。蛭蟻ノ社・同社ハ俗ニ曰フ大

根島ノ社ナリ。一社ハ地ノ神大明神、一社ハ三社大明神也。蓋シ古ハ當郡ニ曰レ有ト擽島。今ハ入ニ意宇ノ郡ニ一矣。或人曰以ニ韻書ヲ一考ルニ

蛭蟻亦作ニ蛭蟻ニ。蟲ノ名亦魚名。南越志ニ一頭數尾長ニ三尺、左右ニ有リ脚可シト食フ云。然ラハ者可シト訓ニ太古ト云。而シテ此島ノ土

地宜シノ葡萄根ニ。故ニ今曰フニ大根島ト一。乃シ大根ハ葡萄根ノ俗稱也。質蘭比ノ社ハ方諸郷、今ノ片江浦伊比都加大大明神ニシテ、祭ルニ二國忍別命ヲ一

也。玉結社、同郷玉江大明神也。川原社ハ在ニ山口郷川原村ニ一社大明神也。虫野社ハ虱野ノ里福原村虫大明神也。蓋シ大穴持命ヲ号スルニ

葦原色許男一之時、從ニ八田間ノ大室一出テ、而、令ムルレ取ラニ其頭ノ虱一之所ニシテ而、祭テニ此ノ神ヲ一曰ニ虫大明神ト一也。比加夜ノ社ハ同所

坂本村ノ大神也。持田社ハ持田村大宮大明神ニシテ而天太玉ノ命、大宮比壳ノ命也。加佐奈子社ハ同村笠那志ノ大神ヲ而可キレ為ニ素戔嗚命一

歟。須義社ハ千酌ノ駅ノ中北浦須支浜北ノ大明神也。伊奈都美社ハ同所本浦奈久良大明神也。伊奈阿氣社ハ同所麻仁祖大明神、是也。御津社ハ加賀ノ郷今ノ水浦本宮大明神也。比津社ハ生馬郷中比津村都支努

貴ノ神社也。玖屋ノ社・同社此ノ兩社ハ者同郷ノ南辺國屋村久羅加氣ノ貴利阿氣兩大明神也。田原ノ社ハ法吉ノ郷春日村田原谷ノ社也。近世、

徒ニ同郷今ノ與谷村ニ、尊崇シテ曰フニ春日四社大明神ト一、是也。於テ

于今ニ一ノ号スニ田原谷ヲ於本宮ト一也。生馬社ハ在ニ西生馬村ニ一。大岩大明神也。布弥保社ハ生馬郷十町許リ南ニ去テ佐田村松尾神社、是也。加茂志ノ社ハ同郷西佐田村鴨子大明神、是也。一夜社ハ多久ノ郷西ノ辺在ルニ名分村ニ一。一夜大明神也。小井社ハ同村御井ノ神社也。加都麻社ハ在同郷同村加都麻山ニ一。此ノ山周一百歩許リ。上ニ有リニ一株ノ老松一。囲ニ數抱、受テニ命ヲ於地ニ一。冬夏青々タリ。緑鱗翠爪獨立亭々トシテ、四旁ノ蒼霽直上テ、倚リニ雲端一復俯一垂、或ハ弘ヒ塵ヲ、或ハ根ハ地ニカスリ揚カチテ、反ノ揚衝ニ碧落ヲ一。乃シ雙鶴來一棲カ耶。七仙ハスニ守護ヲ一耶。将孔明祠前ノ柏、此ノ松、正ニ為ニ伯仲ノ行ヲ一耶。其形勝ノ之美、吁、人間ニハ無シレ。倫、仙境ニモ亦豈ニ有レ類ヒ哉。故、我先君忝ク嘗テ枉テニ玉駕ヲ于此ニ一、御ニ覽ス之ヲ一。因テ茲ニハ、除ニ四近ノ之荆棘ヲ一而無シニ織埃一。当君モ亦然カナリ也。故、国老諸士、靡ニ一ヒ來テ不レ歴ニ覽セ之ヲ一。民庶モ亦然也。所謂ル乾坤生シニ氣概ヲ一、風雨長ストニ精神ヲ一信ナル哉。此レ則加都麻大明神ノ之神木ナリ也。夏后氏ハ以フレ松ヲ、可ニ以テ并セ、按ス一焉。須惠都久社ハ松江城下ノ氏神ニシテ、而今ノ末次大明神、則是也。

布自枳美高山。郡家正南七里二百一十歩。高二百七十丈、周一十里。女岳、郡家正南二百卅歩。

鈔云、布自枳美ハ、者跨ニ山口ノ郷・朝酌ノ郷・余戸ノ里三箇ノ中ニ一。則東川津ノ高山、是也。七里二百一十歩ハ者今ノ一里九町卅間也。乃シ合ニ祭布自支弥・多氣兩社ヲ於山頂ニ一。今俗ニ曰ニ嵩大明神ト一。当テニ山ノ東ノ垂余戸ノ里新庄村ノ中ニ一有ニ女岳山一。又ニ二百卅歩ハ者今ノ四町許リナリ也。

鈔云、三里一百歩ハ者今ノ十九町四十間也。合テニ福原・坂本ヲ一以曰フニ

虫ノ里ト一。明曆年中、我先君忌ニ虫原ノ名ヲ一而改ムニ福原ト一。有ニ虫大明神ノ社一。則大己貴也。見タリニ事ハ于前ニ一。

鈔云、毛志山ハ本庄村川上ノ山ニシテ、而福原坂本ノ北山也。一里ハ今ノ六町。

大倉山。郡家東北九里一百八歩。

鈔云、大倉山ハ手染郷長見川ノ水源、今ノ枕木山觀音堂ノ東ノ山ノ名ナリ。又九里一百八十歩ハ今ノ一里九町三十間也。

糸江山。郡家東北廿六里卅歩。

鈔云、糸江山ハ今ノ野浪浦ノ川上ノ山名ナリ。廿六里卅歩ハ今四里十二町卅間也。

小倉山。郡家正西廿四里二百六十歩。

鈔曰、小倉山ハ者跨ニ加賀・大芦・講武・持田四所一。小倉觀音、旧ハ者在ニ于此山ニ一寺ヲ号スニ円福寺ト一。今ハ徒シテニ堂ヲ於南ノ麓ニ一、則今在ニ持田村ノ中ニ一。又此ノ山ハ加賀川ト与ニ多久川一之水源也。廿四里一百六十歩ハ今ノ四里二町卅間ナリ。

凡ソ諸山ノ所在草木ハ、白朮・麥門冬・藍漆・五味子・独活・葛根・晷預・卑解・狼毒・杜仲・芍薬・柴胡・苦辛・百部根・石斛・藁本・藤・李・赤桐・白桐・海柘榴・楠・楊・松・栢。禽獸、則有鷹〔字或作鷲〕・隼・雉・山雞・鳩・鳩・猪・鹿・猿・飛麕。

水草河。源二。(一)水源、出郡家北三里二百八十歩毛志山。一水源、出郡家西北六里一百六十歩同毛志山。)

鈔云、一水源、郡家北三里一百八十歩ハ今ノ二十一町也。此水源ハ自リニ蟲野ノ中今福原村澄水山ニ出。其ノ一水源、郡家西北六里一百六十歩ハ今一里一町四十間ナリ。此水源ハ自坂本村ト与ニ持田村一之界ト即持

田納藏谷^{ウツク}上出ツ。記ニ二川ノ水源共曰ニ毛志山ト。而モ澄水ト与ニ納藏谷ノ之際路稍^{ヘクシ}阻^{ヘクシ}矣。盖シ水源ノ山ハ同シテ所ノ出ル谿澗、不^レ同シカラ耳。二水同ク来テニ山口ノ郷今ノ東川津村ニ合流シテ、経テ西川津ヲ一南方入ルニ于海ニ也。

長見川。源出郡家東北九里一百八十步大倉山、東流。

鈔云、長見川与ニ犬鳥川一水源別、末ハ則合流ス也。郡家東北九里一百八步、今一里二十一町ナリ。水源、從ニ今枕木山觀音堂ノ東方長見中大倉山ニ出テ、東ニ流テ、到テ于杵田大明神前ニ、与ニ犬鳥川一合シテ入ルニ于海ニ一也。

犬鳥川。源出郡家東北一十二里一十步墓野山^{ハカノ}ヨリ、南流、二水合シテ東流、入ルニ于海ニ一。

鈔云、郡家東北一十二里一十步ハ今二里一町五十間ナリ。水源ハ自^リニ長見ト与^レ北浦之界ニ墓野山ニ出テ、南方来テ于杵田ノ社前ニ、与ニ長見川合シテ東ニ流テ入ルニ于海ニ一。兩ノ水源、大倉山ト与ニ墓野山ト之間^ク、隔ニ十六町五十間^ラ一也。

野浪河。源出ニ郡家東北廿六里卅步系江山ヨリ、西ニ流テ入ニ大海一。

鈔云、郡家東北廿六里卅步今ノ四里十二町卅間ナリ。此ノ水源ハ自ニ野浪村ノ南系江山ニ出テ、西方入ニ于大海ニ一也。

加賀川。源出郡家西北二十四里一百六十步小倉山、北流、大海入也。

鈔曰、郡家西北二十四里一百六十步ハ今ノ四里四十間ナリ。水源小倉山見^ニ于前ニ。此川経テニ加賀郷別所谷ヲ、北流テ入ニ于大海ニ一也。

多久川。源出郡家西北二十四里小倉山、西流、入秋鹿郡佐太水海。(以^テ上六川、少々無魚川也。)

鈔云、郡家西北二十四里ハ者今ノ四里也。此水源、自ニ小倉山ニ出テ、為^テ多久川ト、西ニ流テ経テ佐田ノ船木ノ橋ヲ、以テ入ルニ于水海ニ一也。

法吉坡、周五里、深七尺許。有鴛鴦・鳧・鴨・鯉・鮒・須我毛(当夏節、尤有美菜。)

鈔曰、鯉ハ衍字歟。無^ニ于異本ニ一矣。佐草氏自清從容トシテ而語テ予ニ曰、嘗テ聞ク当國古ハ者不^ル有ニ鯉魚一。堀尾忠氏治ムレ國ヲ之時、慶長年中、從^ニ備ノ之前州岡山ニ得^テ河鯉六十尾ヲ、命シテ而放^シ養末次市ノ新堀ニ。其後、寛永十年夏五月日、離^ニ于華ニ一³⁸出雲川ノ版築潰決シテ而平田湖水与ニ神門水海ニ混合シテ、以テ泛滥^ス。而シテ以來、國中ノ水沢・湧池、往々出^ニ於鯉魚ヲ一矣。然^モ有^ニ品物ノ之有^レ古ハ無^レ今有^レ今無^レ古物上。此國往古ヨリ何ソ、必シモ無^ニ鯉魚乎。然^{ドモ}亦此ノ記ノ中余所不^レ見ヘニ鯉魚一。且^ツ自清ノ之言、如シレ此ノ。何ソ不^ニ敢テ信セ^レ哉。予時編ムニ此ノ鈔一故ニ并^ニ記スト之ヲ一云。

前原坡。周二百八十步。有鴛鴦・鳧・鴨等之類。張田池。周一里卅步。匏池。周三里一百一十步。美能夜池。周一里。口池。周一里一百八十步。敷田池。周一里、南入于海。(自海、行東。)

朝酌促戸渡。東有通道、西有平原、中央渡。則、筌亘東西、春秋入出。大小雜魚、臨時来湊、笠辺駱駝^{ハハリワトロキ}、風壓水衝。或破壞筌、或製日鹿、於鳥被捕。大小雜魚・浜藻、家園、市人四ニ集リ、自然成^レ墨ト矣。(自^リ茲入東、至于大井浜之間南地ニ浜、並捕日魚。水深也。)

朝酌渡。広八十步許。自國庁通海辺道矣。

大井浜。則有海鼠・海松。又造陶器也。

邑美冷水。東西北山、並嵯峨、南海瀆漫、中央鹵^ロ。鹽^{シホ}。男女老少、時叢^ニ集、常ニ燕會地ナリ矣。

前原崎。東北並龍嶽、下ニ則有^レ陂。周リ二百八十步、深サ一丈五尺許リ。三辺草木、自生^レ涯^ニ。鴛鴦・鳧・鴨、隨時ニ常住ム。陂之南ハ海ナリ也。即、陂与^レ海之間浜、東西長一百步、南北広サ六步。肆松翁鬱^ス。

浜・鹵淵・澄。男女隨時叢會、或愉樂^{シテ}暇^ル、或ハ耽遊^{シテ}忘^レ暇^ルコトヲ、常ニ燕喜ノ地ナリ矣。

蛭蝮島。周一十八里一百步、高三丈。古老伝云、出雲郡杵築御埼有蛭蝮。天羽合鷲掠持飛燕來、止于此島。故云「蛭蝮島」。今人、猶誤擣島号耳。土地豊渡、西辺松二株アリ。以外、茅・沙・齋頭蒿・路等ノ類生靡。(即有牧。)

去陸三里。蛭蝮島。周五里一百卅步、高二丈。古老伝曰、有「蛭蝮島」以外、皆悉百姓ノ之家アリ。土体豊渡、草木扶疎、桑・麻豊富。測、所謂島里、是矣。(去^レ津^ニ二里一百步。)
即、自此島達伯耆国郡内夜見島、磐石二里許、広六十步許。乘馬猶往來。塩満時、深二尺五寸許、塩乾時、者、已^ニ如^シ陸地^{ナリ}。

和多太島。周三里二百廿步。(有椎・海柘榴・白桐・松・芋菜・齋頭蒿・蕨・都波・猪・鹿。)
去陸渡一十步。不知^ニ深^サ淺^キ。

美佐島。周二百六十步、高四丈。(有椎・樺・葦・茅・都波・齋蒿。)
戸江刻。郡家正東廿里一百八十步。(非^ス島。陸地浜耳。伯耆国内夜見島將相向之間也。)

栗江埼。(相向夜見島、促戸渡二百十六步。)
埼ノ西ノ入海ノ界也。凡、南ノ入海所^レ在雜物、入鹿^{イノカ}・和尔^{ワニ}・鰯^{イサナ}・須受^ス・積^キ・近志^{チシロ}・鎮仁^{チニ}・白魚・海鼠・鱧蝦・海松等之類至多、不可令名。北大海。埼之東大堺也。(猶自西行東。)

鯉石島。(生海藻)大島。(議毘。)
宇由比浜。広八十步。(捕志毘魚。)
盜道浜。広八十步。(捕志毘魚。)
澹毘浜。広五十步。(捕志毘魚。)
加努夜浜。広六十步。(捕志毘魚。)
美保浜。広一百六十步。(西在神社、北有百姓之家。捕志毘魚。)
美保埼。(用壁、峙巖、定岳。)等々島。

〔禺々、当立。〕土島。(磯。)
久毛等浦。広一百步。(自東行四十船可泊。)
黒島。(生海藻。)
這田浜。長二百步。比佐島。(生紫菜・海藻。)

長島。(生紫菜・海藻。)
比壳島。(磯。)
結島。門周二里卅步、高一十丈。(有松・齋頭蒿・都波。)
御前小島。(磯。)
質簡比浦。広二百廿步。(南神社、北者百姓之家、卅船可泊。)
久宇島。周一里卅步、高七尺。(有椿・椎・白朮・小竹・齋頭蒿・都波・芋。)
加多比島。(磯。)
屋島。

周二百步、高廿丈。(有椿・杉・齋頭蒿。)
赤島。(生海藻。)
宇氣島。(同前。)
黒島。(同前。)
栗島。周二百八十步、高一十丈。(有松・芋・茅・都波。)
玉結浜。広一百八十步。(有基石・東辺有唐砥、亦有百姓家。)
小島。周二百卅步、高一十丈。(有松・茅・齋頭蒿・都波。)
方結浜。広一里八十步。(東西有家。)
勝間埼。有二窟。(一高一丈五尺、裏周一十八步、一高一丈五尺、裏周二十步。)
鳩島。周一百二十步、高一十丈。(有都波・苡。)
鳥島。周八十二步、高一十五丈。(有島稻。)

黒島。(生紫菜・海藻。)
須茂島。広二百八十步。衣島。周一百廿步、高五丈、中鑿、南北船猶往來也。
稻上浜。広一百六十步。(有百姓之家。)
稻積島。周卅八步高六丈。(有松木鳥之稻。)
中鑿、南北船猶往來也。大島。(磯。)
千酌浜。広一里六十步。(有東松林、南方馭家、北方百姓之家、郡家西北一十九里一百八十步。此則所謂度隱岐国津定矣。)

如志島。周五十六步、高三丈。(有松。)
赤島。周一百步、高一丈六尺。(有松。)
葦浦浜。広一百廿步。(有百姓之家。)
黒島。(生紫菜・海藻。)
龜島。(同前。)
附島。周二里一十八步、高一丈。(有椿・松・齋頭蒿・茅・葦・都波也。其高齋頭者、正月元日生長六寸。)
蕪島。(生紫菜・海藻。)
中鑿、南北船猶往來也。真島。周六里、高五丈。(有松。)
松島。周八十步、高八丈。(有松林。)
立石島。(磯。)
瀬埼。(磯所・瀬埼、或是也。)
野浪浜。広二百步。(東辺有神社、又有百姓之家。)
鶴島。

周二百一十步、高九丈。〔有松。〕間島。〔生海藻。〕毛都島。〔生紫菜海藻。〕川來門大浜。広一里一百步。〔有百姓之家。〕黒島。〔有海藻。〕小黒島。〔生海藻。〕

加賀神埼、即有窟二十丈許、周五百二步許、東西北通。〔所謂佐太大神之所産生也。所産生臨時、弓箭亡坐。尔時御祖神魂命、御子柁佐売命、願、吾カ御子麻須羅神ノ御子坐者、所亡弓、箭出來、願ヒ坐。尔時角ノ弓箭隨レ水流、出シテ、尔時所子詔子此者非、二弓箭詔テ而、擲廢給。又金ノ弓箭流、出來。即待取レ之、生而闇齋窟哉詔テ而、射通坐。即御祖、与佐加地売命ノ社坐ニ此所ニ。今ノ人、是窟ノ辺行時、必ス声ス碇礎而待。若シ密ニ行者、神現シテ飄風起行ク松ハ者必ス覆ス。〕

御島。周二百八十步、高一十丈、中通東西。〔有松・栢・椿〕葛島。周一里一百一十步、高五丈。〔有椿・松・竹・葦・茅。〕柳島。周二百卅步高一十丈。〔有松林。〕許意島。周八十步、高一十丈。〔有松・茅・沢林。〕真島。周一百八十步、高一十丈。〔有松。〕比羅島。〔生紫海藻。〕黒島。〔同前。〕名島。周一百八十步、高九丈。〔有松。〕赤島。〔生紫菜海藻。〕大埼浜。広一里一百八十步。〔西北有着百姓之家。〕須々比埼。〔有白朮。〕御津浜。広二百八步。〔有百姓之家。〕三島。〔生海藻。〕虫津浜。広二百廿步。手結埼。浜辺〔有檜。〕窟。〔高一丈、裏周二十步。〕手結浦。広卅式步。〔船二許可泊。〕久宇島。周一百卅步、高七丈。〔有松。〕凡此海所捕雜物、志毘・朝貳・沙魚・鳥賊・蛭蝮・鮑魚。螺蛤貝〔字或作蚌菜〕・棘甲贏〔字或作石經子〕・甲贏・藜螺子〔字或螺子〕・螺蠣子・石葦〔字或作蠣犬脚也、或曠於脚者勢也〕・白貝・海藻・海松・紫菜・凝海藻等之類至繁、不可令称也。

鈔曰、法吉ノ坡、周五里ハ今ノ卅町ナリ。法吉郷ノ中、俗ニ云智者ノ池、

是也。前原坡、周二百八十步、今ノ二百八十間ナリ。自ニ大海埼一東方在リ下上部尾所ノレ經之磯辺ニ也。張田・美野夜・口池・敷田等ノ四池ハ未ク詳ニ其ノ処ヲ。匏池、周三里一百一十步、今廿町許リ。在ニ生馬ノ郷ノ南、今ノ浜佐太村ニ俗ニ曰フニ比佐久池ト、是也。明曆中ニ埋テ成肥田ト。凡ソ八町許。朝酌促戸ハ者、朝酌郷、今ノ福富村之レ東ニ街路也。西ノ平原ハ者、多賀ノ社域ト与、津田ノ馬橋ノ中間、洲渚俗ニ曰フニ中島ト。古今以テ捕ルニ雜魚ヲ一処ナリ。此ノ渡八十步、今ノ八十間ナリ。向ハ者、意字ノ国庁出雲之十字街衢也。自レ是北ニ去テ、廿四五町、間写村ト与ニ島根郡ノ福富村之渡頭一凡ソ八十步也。大井浜ハ者、朝酌ノ東大井村ノ海浜ナリ也。邑ハ美冷水ハ者、自ニ大井東ニ所レ之ニ大海村ニ之岸崖、有テ泉浦、出、是也。又前原埼東北並龍嶺下ニ則有リト跛云。是亦大海村ノ中、俗ニ呼曰フニ蛇角解、是也。蛭蝮島、周一十八里一百步ハ者、今ノ三里一町四十間。又去陸三里ハ者、今ノ十八町。又蛭蝮島、周五里一百卅步ハ者、今ノ三十二町十間。所レ言フ或ハ蛭蝮島、或ハ蜈蚣島或拷島ト者、今ニ俗都ヘ呼テ曰ニ大根島ト、是也。自ニ島根郡本庄ニ渡レハ、則海路十八町、島ノ周三十二町許。此島、古ハ者属ニ島根郡ニ、今ハ意字郡也。從ニ此島馬渡、一涉ニ伯州弓ノ浜ニ。記ニハ書スニ夜見島矣。磐石二里トハ者、今ノ十二町、広サ六十步トハ者、今ノ六十間。記ニ書スニ來馬往來ト一者今俗呼テ曰ニ馬渡ト、是也。和多太島、周三里二百廿步、今ノ廿一町四十間、渡十步、今十間也。此島、在三三保ノ郷中下宇部尾村ニ。今ノ曰ニ和多太埼ト、是也。美佐島、是亦在三同郷同村ノ磯辺ニ也。戸江刻、都家正東廿里一百八十步ハ者、今ノ三里六町。在リニ同郷森山村ニ。又粟江郷云々。二百一十六步ハ者、今ノ三町卅六間。亦三保郷森山ト、与ニ伯耆国弓浜ノ中戸江村ノ渡口也。鯉島・大島ノ両島ハ者、共ニ在三保郷福浦ニ。宇毘浜、亦同処ノ長海ノ之事也。

盜道浜ハ、三保関ト与ニ福浦之中路也。濱毘浜・加努夜浜、是亦同ニ于上。三保浜、広一百六十歩ハ者今ノ二町四十間、則三保ノ関村ナリ。有リ三保ノ三社。三保崎ハ者、亦三保ノ地蔵崎也。壽々島ハ者、從ニ三保浜ノ十八町許リ在ニ東ノ海中ニ。俗呼曰ニ島神ト。蓋シ事代主命遣遙ノ処見ヘタリ事ハ于前ニ。土島ハ者、是亦在ニ地蔵崎ノ磯辺ニ俗ニ曰ニ赤島ト也。久毛津浦、広一百歩ハ今ノ一百間。俗作ルニ字ヲ於雲津ニ一矣。黒島・這田浜・比佐島・長島・比壳島・結島・門御前小島、此ノ等ノ処々皆從ニ雲津ニ七類ニ所ノレ之ノ小島ノ名也。質簡比浦、二百廿歩ハ今ノ三町四十間。俗字ヲ作ルニ七類ニ一、是也。南ニ有ニ喜太大明神・与志大明神ノ社一矣。久宇島・加多比島・屋島・亦島・宇氣島・黒島・栗島等ハ、從リニ七類浦ニ在ル下方結ノ郷、今ノ片江ノ中玉江ノ浜ニ所ノレ經之浦中ニ島嶼ノ名也。玉結浜ハ者、方結ノ郷今ノ玉江ノ浜ナリ。黒色ノ葦子、今猶在リ矣。唐砥ハ者、玉江ハ与ニ片江ノ中間笹子浦ニ亦在リ浜。広一百八十歩者今ノ三町ナリ。小島、亦玉江ノ磯頭也。方結浜、広一里八十歩ハ今ノ七町廿間。今俗作ルニ字ヲ於片江ニ一矣。勝間崎ノ一窟ハ者、則有リニ片江浦ノ蜂巢嶋ニ石窟一。蓋シ是也。鳩島・鳥島・黒島等ノ島ハ者、自ニ片江ノ北須茂浦ニ所ノレ之ノ島嶼名也。須茂浜、広二百八十歩ハ者今ノ四町四十間。此ナリ。北浦ノ中ニシテ曰ニ須氣浦ト磯辺ニ有リニ衣島一。稻上浜、広一百六十歩ハ者今ノ二町四十間ナリ。此亦北浦ノ漁戸也。稻積島ハ者、同処ノ磯頭稻倉大明神鎮座ノ島也。大島ハ者、是亦同処穴ノ深ノ磯、俗呼テ曰ニ麻尔祖山ト、可シレ是也。千酌浜、広一里六十歩ハ者今ノ七町。今ノ千酌浦、是也。如志島・赤島ハ者、千酌ト与ニ葦浦ノ海路ノ島ノ名也。葦浦浜、一百廿歩ハ者今ノ二町ナリ。今俗曰ニ笠ノ浦ト。此処ノ中ニ有ニ旧葦浦ノ称一、是也。又笠浦ニ有ニ笠石一。黒島・亀島ハ共在ニ笠浦ノ海中ニ也。附島、周二里一十八

歩ハ者今ノ十二町十八間。從リニ是レ笠浦ニ在リ下之ニ野井浦ニ一ノ海路ニ上。蘆島モ亦在ニ同処ニ。真屋島、周六里ハ者今ノ三十六町。是亦在ニ上同処ニ也。松島・立石島、此ノ両島ハ者、在リニ野浪浦ノ中瀬崎一也。瀬崎・野浪支浦ニシテ而、俗ニ呼曰ニ仙崎ト、是也。野浪浜、広二百八歩ハ者今ノ三町廿八間。是レ則野浪浦ノ蜜扉也。鶴島・間島・毛都島ハ者在ニ小浪・野浪・加賀ノ中ノ佐浪等ノ海中ニ往々ノ島名也。川来門大浜、広一里一百歩ハ今ノ七町四十間ナリ。是乃ニ加賀浦ナリ。黒島・小黒島・加賀ノ神崎・御島・葛島・櫛島・許意島・真島・比羅島・黒島・名島・赤島、此等ノ諸島、自ニ神崎ニ大芦浦ニ所ノレ如之処々ノ小島也。大崎浜、広一里一百八十歩ハ今ノ九町ナリ。加賀ノ郷、今ノ大芦浦、是也。須々比崎ハ者、大芦浦ノ中、須々美也。御津浜、広二百八歩ハ今ノ三町廿八間ナリ。今ノ水津、是也。三島ハ、在此浦ノ海中ニ也。虫津浜、広一百廿歩ハ今ノ二町ナリ。旧ハ属ニ当郡ニ一。今ハ秋鹿郡片句浦、是也。手結崎・同手結浜、広卅二歩今ノ四十二間。今俗呼曰ニ多井崎・太井浦ト。是亦旧ハ属ニ当郡ニ一。今ハ入ニ秋鹿郡ニ一。久宇島、乃シ在ニ手結ノ磯辺ニ一矣。

通道。通意宇郡堺朝酌渡、一十七里一百八十歩之中、八十歩。通秋鹿郡堺佐太橋、一十五里八十歩。通隱岐渡、千酌駅家湊ニ、一十九里一百八十歩。

郡司主帳無位出雲臣

大領外正六位下社部臣

少領外從六位上社接石臣

主政從六位下勲業頓朝臣

秋鹿郡

合郷肆、〔里十二。〕 神戸。〔卷。〕

惠曇郷。 本字惠伴。

多太郷。 今依前用。

大野郷。 今依前用。

伊農郷。 本字伊努。〔以上、郷肆、里參。〕

神戸里。

所_三以_レハ号_二秋鹿_一者、郡家正北、秋鹿日女命坐マ_ス。故_ニ云_ニ秋鹿_一矣。

鈔曰、如_ク記_ノ之_一趣_ニ在_リ于_二秋鹿比売_一二社大明神ノ祠、則秋鹿村_ニ。盖_シ当_ニ此_一社南ノ側_ニ古_ノ之_一郡家_一。従_レ是_ニ十七八町東、

長江ノ洲埼、俗呼_テ曰_フニ郡埼_一。則已_ニ郡家ノ近地_一ナレハナリ。長江亦

秋鹿ノ一村也。

惠曇郷、郡家東北九里卅步。須佐鳥命御子、磐坂日子命、国_ニ巡行_キ坐_マス時、至_ニ坐_レ此_一而詔_ク、此_一処者国権美好有。国ノ形如_キレ画鞆哉。吾_レ之_一官、者是_レ処造事者。故、云_ニ惠伴_一。〔神龜三年、改_ニ字_一ヲ惠曇_一。〕

鈔_ニ曰、九里卅步ハ者今ノ之一里十八町四十間ナリ。併_テ今ノ江_一古浦_一武代_一本郷等ノ所_一ヲ以_テ為_ニ惠曇ノ郷_一。盖_シ意_ヲニ、佐田宮内村モ可_シ三亦以_テ入_ニ此_一郷中_ニ一矣。

多太郷、郡家西北五里一百廿步。須佐能乎命之御子、衝杵等乎而留比古命、国_ニ巡行_キ坐_マス時、至_ニ坐_レ此_一而詔_{シテ}、吾_レカ御_一心照_テ明_ニ正_ニ真_ニ成_一。吾_レ者此_一処_ニ静_カニ將_ニ坐_レシト、詔_{ヒテ}而静_カニ坐_ス。故、云_ニ多太_一。

鈔曰、五里一百廿步者今ノ之三十町ナリ。并_テ於_ニ岡本_一大垣兩村_一以為_ニ多太郷_一。此郷ノ方路、相応_レ今ノ岡本_一与_ニ秋鹿村_一之_一界_ニ上_一矣。

大野郷、郡家正西一十里廿步。和加布都努志能命、御狩為坐時、即郷

西山狩人立賜而、追_ニ猪_一尾_一、北方上之至_ニ阿内谷_一而、其_レ猪_一之_一跡亡_レ失_レ。尔_レ時、詔_{シテ}自_レ然_ニ哉_一、猪_一之_一跡亡_レ失_レ詔_フ。故_ニ曰_ニ内野_一。然_モ今_レ人猶_レ誤_テ大野_一号_一耳。

鈔曰、古_ノ之_一二十里廿步者今ノ之一里廿四町廿間ナリ。合_テ於_ニ大野村_一及_ニ魚瀬浦_一大垣村_一中高宮明神ノ座山_一上_一以為_ニ大野ノ郷_一矣。

伊農郷、郡家正西一十四里二百步。出雲郡伊農郷_ニ坐_マス赤食伊農意保須美比古位_一和氣能命_一之后、天應津日女命、国_ニ巡行_キ坐_マス時、至_ニ坐_レ此_一而詔_{シテ}伊農波夜詔_一。故、云_ニ足努伊努_一。〔神龜三年、改_ニ字_一伊農_一。〕

鈔曰、一十四里二百步者今ノ二里十五町廿間ナリ。并_テ於_ニ今_一伊野村_一伊野浦_一波多浦_一以為_ニ伊農ノ郷_一矣。

神戸里。〔出雲之。説名、如意字郡。〕

鈔曰、神戸里ハ則佐田ノ宮内也。按_{スル}ニ、迄_ニ于_二庄村_一常相寺村_一古志村_一古曾志_一西浜佐田及島根郡_一中名分_一上_ニ佐田_一下_ニ佐田_一等_一、盖_シ佐田ノ社領七百貫ノ地也。而_{シテ}佐田三社、其_一一社_一者、合_ニ祭_一伊佐奈枳乃麻奈子、熊野加武呂乃命及_ニ大穴持命_一也。其_一一社_一者、神魂命_一御子、枳佐加地売命_一於_ニ加賀_一神埼_一射_ルニ金弓_一之時、所_ニ産_一生_一之_一佐田大神、是也。其_一一社_一者、併_ニ祀_一尔尔枳乃命及_ニ伊佐奈弥命_一天照太神_一之_一社也。而_{シテ}今_レ俗説_ニ、佐太社_一者、伊奘册尊廟所_ニニテ_一而乃_シ所謂_ニ比婆山_一、是也。此説甚_ク謬_ニ。盖_シ比婆山ハ雲伯兩國ノ界_一ナリ。然_{ラバ}則_ニ此_一地_一一蹊_一路_一遥_ニ隔_一。比婆山ノ不_レ得_レ之_一強_ニ妄_一、意_ニ附_一託_一耳。予_レカ之所_レ言_ニ非_ニ敢_一以_レ私_一。若_ク其_レ曰_ニ神納_一ト曰_ニ劍山_一ト曰_ニ來魔_一返_レ上_一、察_{シテ}此_一等_一処_一、而_{シテ}今_レ推_{シテ}指_スニ雲伯兩國ノ界_一ヒ能_レ儀_一郡母理_一郷井尻_一中日波村_一而已_一。事_ハ弁_スレ先_ニ。故_ニ不_レ亦_レ贅_一焉。

佐太御子社 比多社 御井社

垂氷社 惠梯毛社 許曾志社

大野津社 宇多貴社 大井社

宇知社〔以上二十所、並在神祇官。〕 惠曇海辺社

同海辺社 努多之社 那牟社

多太社 同多太社 出鳥社

阿之牟社 田仲社 弥多仁社

細見社 下社 伊努社

毛之社 草野社 秋鹿社〔以上十五所、並不在神祇官。〕

鈔云、○比多社、○垂氷社、○宇多貴社此三社、者則在二佐太、宮内村ニ。

○大井社、者在二名分村ニ。○惠梯毛社、者惠曇ノ郷中朝日山七社權現ノ宮也。○許曾志社、者古曾志村大明神也。○大野津社者、大野ノ郷ノ南

湖水、瀝津森大明神也。○宇知社、者大野郷阿内谷大明神ニシテ、而和加布都努志乃命也。○惠曇海辺ノ社、者在二今ノ江角浦俗ニ称弁才天島ニ

神社也。○同社、是亦同処俗ニ云フ天神宮、是也。○多太社、○同社、此ノ兩社、者、多太郷岡本村羽鳥大明神及ヒ友田大明神也。○出鳥社、

者、西浜佐田村釜代大明神ナリ。所謂水戸之神ノ孫、櫛八玉ノ神、於ニ出雲ノ国多氣志小浜一為ニ御膳一時ニ、此ノ神化シテ、鵜ト入テ海底ニ

而、昨ニ出シ水底ノ之波ル一、作ルト三天ノ八十毗良迦一云々。祭テ此ノ神一云フニ、加麻志呂大明神ト是也。俗伝ニ往昔從ニ此ノ社南ノ海中一出スト、古

制ノ釜崎云。○田中ノ社、者佐太ノ宮中田仲大明神ニシテ、祭ニ猿田彦命一也。○細見社、○同下社此ノ兩社、在スニ于大野郷細見谷山頭山趾ニ、今、

権現宮、是也。○草野社ニ乃シ、亦同郷以西ノ峽谷流水瀝社也。○伊努社、者天ノ鸚津日女ノ命ニシテ、伊野ノ郷客大明神是也。○秋鹿ノ社、者則秋

鹿村中比売一社大神也。○毛之社、者惠曇郷本郷村畑垣大明神、是也。○努多、弥多仁兩社、未ダ考ヘレ之。

神名火山。郡家東北九里冊步。高二百三十丈、周一十四里。所謂佐太大神社、即彼山下之。足日山。郡家東北七里。高二百七十丈、周一十里二百步。

鈔云、九里四十步、今ノ一里十八町四十間ナリ。此山ノ麓ニ、所謂有ニ佐太大神社一也。又足日山、郡家東北七里、今ノ一里六町。周一十里二百步、今ノ二里十二町ナリ。蓋シ今朝日山觀音寺七社權現之所ナリ

座也。此記ニ書ニ惠梯毛社ト一則是也。女心高野山。郡家正西二十里廿步。高一百八十丈、周六里。土体渡

百姓之膏之腴園矣。無樹木。但、上頭有樹林。此レ則神社也。鈔云、一十里廿步、今ノ一里廿四町。周六里、今ノ一里。是レ則大野ト

与レ多大之中間大垣村高宮大明神ノ鎮座ノ山名ニシテ、而、此記ニ書スニ阿之牟ノ社ト一是也。蓋シ祭ニ祭テ、天照太神ヲ一也。

都勢野。郡家正西一十里廿步。高一二十丈、周五里。無ニ樹林一峯中ニ有レ沢。周五十步。蘿・藤・萩・筍等物、叢生。或叢峙、或伏シ鴛鴦住也。

鈔云、一十里廿步、今ノ一里廿四町廿間ナリ。周五里、今ノ卅町ナリ。大野郷今ノ杜山也。

今山。郡家正西一十里廿步。周七里。鈔云、此山モ亦ニ在同郷ニ。路又同シニ于上ニ。周七里、今ノ四十二町也。

諸山野所有草木、白朮・独活・女青・苦參・貝母・牡丹・連翹・茯苓・藍漆・女萎・細辛・蜀椒・晷預・白薇・芍藥・百部根・薇蕨・薺頭蒿・

藤・李・赤桐・白桐・椎・椿・楠・松・栢・槻。禽獸、則有鷗・晨風・山雞・鳩・雉・猪・鹿・兔・狐・飛猫・獼猴。

佐太川。源ニ。(東水源、鳥根郡所謂多久川是也。西水源、出秋鹿郡渡村。)ニ水合、南流入佐太水海。即水海七里。(有鮒。)水海通入海。

潮長一百五十步、広一十步。

鈔云、佐大川ノ水源、在リ于東西ニ。東ノ水源、出ニ鳥根郡多久ノ郷今ノ講武谷ヨリ。是レ則、多久川也。西ノ水源ハ来ルニ秋鹿郡今ノ中田村ヨリ。中田ハ古ノ之渡村ニシテ、而本郷ト与ニ宮中ノ中間ナリ也。佐太大海、周七里ハ今四十二町。曰ニ今浜佐太ノ水海ト是也。又水海、通入海。潮長一百五十步ハ今ノ百五十間。広一十步ハ今ノ十間。至レ今ニ毎年凌レ之ヲ南方注シテ諸海ニ矣。

山田川。源出郡家西北七里湯大、南流入于海。

鈔云、七里ハ今ノ一里六町ナリ。此水源湯大ハ多太郷岡本村ノ山名也。

多太川。源出郡家正西一十里女心高野、南流入于海。

鈔云、一十里ハ今ノ一里廿四町。此川出ニ多太郷大垣村女心高野ノ山ヨリ、即經ニ大垣村ヲ南ニ流、入ニ于海ニ也。

大野川。源出郡家正西一十三里磐門山、南流入于海。

鈔云、一十三里ハ今ノ二里六町。此ノ水源磐門山ハ大野郷本谷村ノ山名也。

草野川。源出ニ郡家正西一十四里大繼山ヨリ、南流入ルニ于海ニ。

鈔云、一十四里ハ今ノ一里十二町ナリ。此水源大繼大野郷〇〇ノ山名也。

伊農川。源出郡家正西一十六里伊農山ヨリ、南流入ルニ于海ニ。

鈔云、一十六里ハ今ノ二里廿四町。伊農山即伊農河源ノ山也。

長江川。源出郡家東北九里冊歩神名火山ヨリ、南流入于海。(以上七川、並無魚矣。)

鈔云、九里冊歩ハ今一里十八町四十間。此水源神名大山ハ見ヘタリ前ニ矣。

改惠曇字。參陂周六里。有鴛鴦・鳧・鴨・鮒。四辺生葦・蔣・菅。自養老元年以往、荷葉、自然叢生シテ、太ク多。二年以降、自然至レ失ルニ。

都無レ若。俗人云、其底陶器・甕・甕等類、多有也。自古時々人溺シテ死ス。不レ知ニ深淺ニ矣。

深田池。周二百卅步。(有鴛鴦・鳧・鴨。)

杜原池。周一里二百步。蜂峙池。周一里。佐久羅池。周一里一百步。(有鴛鴦。)

南方人海。春則、有鱸魚。須受積・鎮仁・鯖鰈等大小雜魚。秋則、有白鵠・鴻鴈・鳧・鴨等嶋。

北大海。惠曇浜、度二里一百八十步。東南並ニ在家、西野北大海。即、自レ浦至ルニ于在家ノ之間、四方並ニ無石・木。猶白沙之積。大風吹時、其沙、或隨レ風ニ雪零如シ、或居レ流ニ蟻如散ス、掩ニ覆桑・麻ヲ。即、有彫・鑿・磐・壁三所、(一、所、厚三丈、高二丈、高一丈、高一丈、高一丈、高一丈。其中通レ川。北流入ニ大海。川ノ東、鳥根郡、西者秋鹿郡内也。)

自川口、至南方田辺之間、長一百八十步、廣一丈五尺。源者田水也。上文、所謂佐田川ノ西源、是同処矣。凡渡村田水。南北別耳。古老伝云、鳥根郡大領社部臣訓麻呂之祖波穗等、依ニ稻田ノ之澇ニ、所ニ雕・堀ニ也。起ニ浦ノ之西磯ヨリ、尽ニ楯縫郡ノ之堺ヲ、自毛崎之間、浜壁等崖崑、雖ニ風ノ之静ナリト、往來ノ船、無レ由レ停ルニ泊頭ニ矣。白鳥、(生紫苔菜。)

御島、高六丈周八十步。(有松三株。)

都於島。(磯。)

著穂島。(生海藻。)

凡北海所在雜物、鮎・鯨・佐波・鳥賊・鰓魚・螺・貽貝・蚌・甲蠃・螺子・石葦・藤子・海藻・海松・紫菜・凝海藻。

鈔云、惠曇參陂、周六里ハ今卅六町。在ルニ惠曇郷本郷村ニ水沢ナリ也。今ハ埋成ニ耕田ト矣。沢田池ハ同郷本郷村、今ノ深田谷ノ防堤也。

杜原池ハ聞ク在リト、下同処曰ニ畑垣ト一所。今ハ者無シレ跡矣。蜂峙池ハ是亦同処、今ノ峯知池是也。佐久羅池ハ亦在リ于同村ニ也。惠曇浜、廣二里一百八十步ハ今ノ十九町。自ニ江角浜ニ亘ニ眺於古浦ノ漁扉ト

之路程、大度相^ニ心^{セリ}之^ニ。西野北^ハ大海、自^レ浦至^ニ于在家^ニ之間^ト、
者蓋^シ指^ニ古津浦ノ辺^ヲ也。楯縫ノ郡ノ堺自毛崎^ト者伊野浦ノ事也。白
島・御島^ハ共^ニ在^ニ大野ノ郷魚瀬浦^ニ一島ノ名也。都於島、是亦曰^フ同
処今ノ大國島^ヲ也。著穂島^ハ在^ニ伊野郷即伊野浦^ニ一島ノ名也。彫鑿
磐壁^三所者、風沙埋^テ作^ルニ無何有^ト。徒聞^ク、在^{リト}古浦^ト与^ニ江角^一
之中路^ニ。古今稼穡之道、是^レ國之本^{ナリ}。吁^フ波蕪^カ之勞可^シ思^テ見^ツ
矣。

通道。通島根郡佐太橋、八里二百步。通楯縫郡堺伊農橋、一十五里。

郡司主帳外從八位下勲業早部臣

大領正八位下勲刑部臣

權任少領從八位下叟部臣

【第二冊】

(表題)

出雲風土記抄 三

楯縫郡

合郷肆、〔里十二。〕余戸、〔巷。〕神戸。〔巷。〕

鈔曰、古^ハ者四郷。今割^テ於出雲郡中伊努^ニ美談^ニ宇賀三郷^ヲ、而^{シテ}

加^テ于楯縫郡^ニ以^テ爲^ス二七郷^ト一矣。

佐香郷。今依前用。

楯縫郷。今依前用。

玖潭郷。本字忽美。

沼田郷。本字努多。〔以上肆別里參。〕

神戸里。餘戸里。

所^ニ以^テハ号^{スル}楯縫^ト者、神魂^{カシムス}命詔、五十足^{タラシク}天日^{アマノヒ}栖宮^ノ之^ニ縱^ク横^ク、
量、千尋^ノ榜繩^ヲ持^テ而、百^ノ結^ト八十^ノ結^ト、結^ト而、此^ノ天^ノ御^ノ量^リ持^テ而、
所造^テ天下大神^ノ之宮造^リ、奉^レ詔^フ而、御^ノ子、天^ノ御^ノ鳥^ノ命^ヲ楯^ノ部^ト爲^シ而、
天^ノ降^シ給^フ之。尔時^ニ、退^リ下^リ來^リ坐^シマシ^テ而、大神^ノ宮^ノ御^ノ裝束^ヲ楯造^リ始^メ
給^フ所、是也。仍^レ至^レ今、楯^ノ梓造^テ而、奉^ハ於皇神^等一。故^ニ云^フ楯縫^ト一。
佐香郷^ハ、郡家正東四里一百六十步。佐香河内^ニ、百八十神^等集^リ坐^シテ、
御^ノ厨立^テ給^キ、今釀^レ酒^ヲ給^フ之。即、百八十日喜^ヒ燕^ニ解散^坐マ^ス。故^ニ
云^フ佐香^ト一。

鈔云、四里一百六十步^ハ今^ノ二十六町四十間^{ナリ}。此郷^ハ、并^{セテ}於小
佐加惠[・]佐香[・]園村[・]鹿園寺四所^ヲ一以^テ爲^ス佐香郷^ト也。蓋^シ百八十神^等、
燕會^ノ処^ハ今^ノ佐香ノ小川^{ナラシ}也。
楯縫郷、即屬^ス郡家^ニ。〔説名、如郡。〕即、北海浜業梨磯有^レ窟。裏

方一丈半、高広各七尺、裏南壁有穴。口周六尺、徑二尺。人不
得入。不知遠近。

鈔云、楯縫郷比天平一則屬于郡家。并於多久多久谷。

岡田・布崎・古井津・三津・只浦・塩津等八箇所都為楯縫郷也。磯・磐窟者、今俗曰穴之測、是也。則在于只浦。

予嘗行於松而視其穴中、則二町許白沙皓潔。

不ス知其幽奥ノ深淺更ニ云フトハ、則二町許一也。

玖潭郷、郡家正西五里二百步。所造天下大神命、天ノ御飯田之御倉

造給並見巡行給。尔時、波夜佐雨、久多美乃山詔給之。故云

忽美。〔神龜三年、改二字玖潭。〕

鈔云、五里二百步、今卅三町。兼併久多美村・東郷・福村。

海若石谷・鎌浦・十六島・古津等八所一以為玖潭郷也。

沼田郷、郡家正西八里六十步。宇乃沼比古命、以尔多水而、御乾飯尔

多尔食坐詔而、尔多負給之、然則可謂尔多郷。今人、猶

云努多一耳。〔神龜三年、改二字沼田。〕

鈔云、八里六十步、今一里十三町。并於平田・西代・出来洲等

所一以為沼田郷也。意フニ出雲、大河、此辺之俗曰尔多

河、蓋所謂古ノ遺称ナリ也。

神戸里。〔出雲也。説名、如意字。〕

鈔云、此神戸者、玖潭郷中海若石谷六社大明神ノ神戸也。

余戸里。〔説名、如意字。〕

鈔云、此里者并於万田・本庄二村ヲテ余戸里也。

新造院一所。在沼田郷中、建立嚴堂。郡家正西六里一百六十

步。大領出雲臣太田之所造也。

鈔云、六里一百六十步、今一里二町四十間。太田之所造之

嚴堂、今以三方隅路程一按レ之、蓋平田村ノ之薬師堂ナリカ歟。

久多美社 多久社 佐香社

乃利斯社 御津社 水神社

宇美社 許豆社 同社〔以上九所、並在神祇官。〕

許豆乃社 又許豆社 又許豆社

久多美社 同久多美社 高守社

又高守社 紫菜島社 鞆前社

宿努社 猗田社 山口社

葦原社 又葦原社 又葦原社

岷之社 阿年知社 葦原社

田々社〔以上十九所、並不在神祇官。〕

鈔云、久多美社、即久多見村五社大明神也。多久社、楯縫郷多久村

大布称大明神、是也。佐香社、在佐香浦一社大明神也。乃利

斯社、久多美郷海若石谷六社大明神、即出雲神戸也。御津社在楯

縫郷三津浦一社社也。水神社、同郷古井津浦三社大明神也。宇美社、

在マニ同郷塩津浦一大神也。許豆社、又許豆社、同郷大宮大明神、

与一祈明大明神一兩社之、又或外許豆三社、是亦在古津浦和多、御

崎。蓋古者有三社一見、今一社也。久多美社、此尔多見村

夜麻乃須氣大明神也。同久多美社、同郷福村、飛大明神也。紫菜島

社、同郷十六島ノ神社也。山口社、楯縫郷多久村ノ拜田大明神、是也。

葦原四社、共玖潭郷福村葦原谷ノ神社也。阿年知社、按スルニ可キ、在

下海若石谷村俗ニ曰フニ何氣知、堤一之側上之社也。田々社、楯縫郷

只浦大明神也。高守社、又高守・鞆前・宿努・埴田・岷之等ノ六社、

未レ知其方処ヲ。進ラ而應レ考レ之。

神名樋山。郡家東北六里一百六十步。高一百二十丈五尺、周廿一

里一百八十步。鬼西在二石神一。高一丈、周一丈。往側在小石神百余計。古老伝云、阿遲須積高日子命之后、天ノ御梶日女命来ニ坐多忠村ニ、産給多伎都比古命。尔時、教テ詔リ、汝命之御祖之向位欲レ生ニ此ノ所一宜也。所謂石ノ神ハ者、即是多伎都比古命之御託、当畢己雨時、必令零也。

鈔云、神名樋山ハ、楯縫郷多久村ノ山名也。六里一百六十步、今ノ一里二町四十間ナリ。此ノ山ノ頂ニ石ノ神今猶在矣。阿遲須積ハ者大己貴、御子也。天御梶日女命ハ在ニ出雲郡伊努ノ郷林木村伊努谷ニ神明ニシテ、而シテ赤食伊努意保須美比古、佐和氣能命ノ御子也。

阿豆麻夜山。郡家正西五里册歩。

鈔云、此山ハ在リニ楯縫郷多久谷村ニ。俗曰ニ檜仙山ハ一是也。五里册歩ハ今卅町四十間ナリ也。

見椋山。郡家西北七里。

鈔云、見椋山ハ在リニ久多見郷海苔石谷村ニ。今ノ高野山、是也。俗伝フ紀州高野大師躋ニ於此山ニ創レ寺ヲ、不レ知然ナリ也。上頭ニ有レ堂。又有レ寺。古ノ七里ハ者今ノ一里六町也。

凡ノ諸山所在草木、蜀椒・漆・麥門冬・茯苓・細辛・白薇・杜中・人參・舛麻・曇預・藤・李・榧・楡・椎・赤桐・白桐・海榴・楠・松・槻。禽獸、則鷓・晨風・鳩・山雞・猪・鹿・兔・狐貉猴・飛鼯。

佐香川。源出郡家東北所謂神名樋山、東南流入于海。

鈔云、佐香川ハ即小堺村ノ川也。水源神名樋山ハ見ニ于前ニ。

多久川。源出同神名樋山、西南流入于海。

鈔云、此川ハ貫テ楯縫郷多久村ト、ト多久久谷一之中間ヲ流テ、西南入ルニ于海一也。水源ノ山、同シ于上ニ。

都字川。源二。(東川源、出阿豆麻夜山。西水源、出見椋山。)ニ水合、

南流入于海一。

鈔云、都字川ハ者来テ久多美村ヨリ一隔ニ流テ東郷・福村ノ之中間ヲ一南入ニ于海一也。東ノ水源阿豆麻夜山ハ所謂檜仙山也。西ノ水源見椋山ハ所謂ル高野山也。

宇賀川。源出同見椋山、南流入于海。

鈔云、宇賀川ノ水源モ亦出ニ高野山西谷ヨリ一、分テ流シテ宇賀ト、与ニ万田一之中路ノ上南方入ニ于海一。則今ノ宇賀川ナリ也。

麻奈加比池。周一里一十步。大東池。周一里。亦市。周一里二百步。沼田池。周一里五十步。長田池。周一里一百步。南入海。

雜物等者、如秋鹿郡說。北大海。自毛埼。(秋鹿与楯縫ニ郡堺。崔嵬。松・栢、則有晨風之栖也。)

佐香浜。広五十步。己自都浜。広九十二步。御津島。(生紫菜。)御津浜。広卅八步。能呂志島。(生紫菜。)能呂志浜。広八步。鎌間浜。広一百步。弥豆椎。長里二百步、広一里(周曉峨。上有松・菜・芋)許

豆島。(生紫菜。)許豆浜。広一百步。(出雲与楯縫ニ郡之界。)

凡北海所在雜物、如秋鹿郡說。但紫菜者楯縫郡尤優也。

鈔曰、自毛埼ハ者楯縫郡佐香浦ト、与ニ秋鹿郡伊農浦ニ之界也。佐香浜、広五十步、今ノ五十間。佐香、俗作ル坂ニ也。己自都浜、広九十二步、

今ノ九十二間。是亦俗作ルニ字ヲ於古井津ニ。御津島。御津浜、俗今云三津浦ト、是也。能呂志島。能呂志浜ハ者今曰ニ只浦ト。鎌浦ハ者古今無ニ異稱一也。弥豆椎、長里ハ者今ノ十六島浦。此ノ処紫菜勝レリ

于諸島ニ。故、每年季冬之月課シテ而充レ貢ニ。世ニ稱レ之ヲ、為ニ紫菜ノ之上品ト一也。許豆島・許豆浦、俗又曰フニ古津浦ト一也。

通道。秋鹿郡堺伊農川、八里二百六十四步。出雲堺宇加川、七里

一百六十步。

出雲郡

郡司主帳無位物部臣
大領外從七位下勲業出雲臣
少領外正六位下勲業高善史

按スルニ、出雲ト与ニ楯縫一兩郡ノ之分地、以ニ宇賀川ヲ一為シレ限ト、出雲ト与ニ神門一兩郡之分地、以ニ出雲川ヲ一為スレ紀ト矣。蓋シ、古ハ、出雲大
河来ニ仁多・大原ノ二郡ヨリ一經テ出雲郡阿宮・河内・出雲・伊努等、
數所ヲ、從リ伊努郷一西ニ曲リ折テ、起ニ杵築郷ニ、南ニ落テ會ニ神門ノ
入海ニ、注下園村妙見山ト与ニ佐須美浦一之中間ニ、遂ニ西方入ルニ于
大海ニ矣。此時ハ、定ニ于楯縫四郷・出雲・神門各々八郷ニ。其ノ後、
此川從リニ伊努郷一転屈シテ東ニ流テ入ルニ于水海ニ。從レ是以來、割テ
杵築郷及ヒ宇峠・佐伎・宇龍・日御崎・湊・園浦等ノ処ヲ一除ニ出雲ヲ一入ニ
神門ニ。分テニ伊努郷・美談郷・宇賀郷及ヒ国富・川下・唐川并吞浦
等ノ処ヲ一除ニ出雲ヲ一入ニ楯縫ニ。今、以ニ健耶郷・漆沼郷・河内郷・
出雲神戶ノ里等ノ処ヲ一定ニ出雲ノ郡中ニ。而モ此中河内ノ郷ノ中ヨリ
川以西上ノ郷船津村等ハ今ニ神門ノ郡中也。

- 合郷捌、里。(廿二)神戶。(若。)
- 健耶郷。 今依前用。
- 漆沼郷。 本字志司沼。
- 河内郷。 今依前用。
- 出雲郷。 今依前用。
- 杵築郷。 本字寸付。
- 伊努郷。 本字伊農。
- 美談郷。 本字三太三。

宇加郷。 今依前用。
神戶里。(里一。)

所ニ以号クルニ出雲ト一者、説名、如レ国也。

健耶郷、郡家正東一十二里二百廿四步。先所ニ以号スルニ宇夜里ハ一者、
宇夜都弁命、其山ノ峯ニ天降坐ス之。即、彼ノ神ノ社主、今猶坐ニ此処ニ。
故、云ニ宇夜ノ里ト。而後、改テ所ニ以号スルニ健耶ト一之、纏向檜代宮御
宇天皇、勅レ不レ忘ニ朕カ御子倭健命之御名ヲ、健耶定ト給。尔時、
神門臣古弥健耶定ト給。即、健耶臣等、自レ古至レ今ニ、猶居ルニ此ノ処ニ。
故、云ニ健耶ト。

鈔云、一十二里二百廿四步、今、二里三町四十四間ナリ。此郷ハ并テニ於
神庭村・羽根村・武部・学頭・吉成等ヲ一以テニ健耶ノ郷ト一也。神
庭村中ニ有ニ宇夜村ト。或入曰ク、此記六箇耶字ハ部ノ字魯魚乎。按スルニ、
景行天皇ノ時ニ置ク処々ニ於健部ヲ。有ニ本朝姓氏録ニ健部氏姓ト。益
知シマ、宇夜ハ者、上古ノ稱ヲ景行以後名クハニ健部ノ郷ト一者ナルコト、今ニ
記ノ趣モ亦見ニ于然ニ矣。而此辺、今ニ有ニ宇屋・武部兩村蓋シ後人
留ニ兩名ヲ一呼フレ之者也。雖レル、從來ノ之誤字、強テ今マテ不レ克レ
改コトレ之。且ツ記シテ以後ニ後世ト是正ヲ一耳。又有ニ此郷ノ北ニ庄原・
久木ノ兩村ト。是ニ等ハ、上古ハ水沢ノ中ナリ。近世、埋テ成ルニ民居ト。
福富・黒目・澳洲・中村、是亦久木ノ支村也。

漆沼郷、郡家正東五里二百七十步。神魂命御子、天津积値可美高日子
命御名、又云ニ藤枕志都沼値ト一之。此神郷ノ中ニ坐マヌ。故ニ云ニ志々沼ト。
〔神龜三年、改字漆沼ト。〕
鈔云、五里二百七十步、今、三十四町卅間ナリ。以テ上下ノ直江村ノ一為ニ
漆沼ノ郷ト。又有ニ此郷ノ北ニ今中原坂田ニ部市村ト此レ等村、亦古ハ
者或入海或ハ湾池、經レ年久シテ而、今ハ者成ニ耕田編戶ト。又中原ノ

旁有^{イマヤケ}「今在家村」。此村旧^{カキ}ハ者為^ニ美談ノ郷内^一。其後分^テ為^ニ別村^一事^ハ見^ヘク^ニ于^下ニ^一矣。

河内郷、郡家正南一十三里一百步。斐伊大河、此郷中北^ニ流。故、云^ニ河内^一。即、郡有優。長一百七十五尺。〔七十一丈之広七丈九十五尺、広四丈五尺。〕

鈔曰、一十三里一百歩ハ、今^ニ二里七町卅間^{ナリ}。并^テ於伊保・岩階^一。阿宮及^ヒ上^ニ所^ニ謂^ル神門郡中上ノ郷・船津・中島等ノ六箇ヲ一以^テ為^ニ河内ノ郷^ト也。記^ニハ書^ニ上阿宮於田儀村^ト。又書^ニ船津村於布目美烽^ト矣。

出雲郷者、即屬^ニ郡家^ニ。〔說名如國。〕

鈔曰、出雲郷者古ノ之郡家。其所^レ在^ニ求院^ニ與^ニ出西^一之中間^{ナリ}也。併^セテ於水院^一・出西^一・富村^一・氷室^一・神守等^一ヲ一以^テ為^ニ此郷^ト也。

杵築郷、郡家西北二十八里六十歩。八束水臣津野命之國、引給後^ニ、所造天下大神ノ之宮將^一奉、与^ニ諸皇神等參^ニ集^ニ宮^ニ處^ニ杵築^一。故^ニ云^フ二寸付^ト。〔神龜三年、改字杵築。〕

鈔云、古ノ廿八里六十歩者今ノ之四里廿五町^{ナリ}。則杵築大社ノ所^レ座^ス。故、曰^ニ杵築郷^ト。今并^セテ於宮内^一・越時^一・市場^一・中村^一・大土地^一・小土地^一・赤塚^一・飯官等^一ヲ都^テ為^ニ杵築内^一。飯官村^一ハ古事記^ニ所^レ謂^ル建御雷神、天ノ鳥松神、降^ニ到^ニ出雲^ニ伊那佐之小浜^一、蓋^シ此

處^{ナリ}。此辺ノ浜浦、俗伝^テ曰^フハ、伊那佐浜^ト、此^ノ謂^也。又按^ル本^ニ牟智和氣御子、行^ニ啓^ニ于出雲^ノ大社^ニ之時^ニ、國造^於二肥ノ川^下一^ニ仕奉^{飯宮}一^ノ獻^ニ大御食^一云。自^リシテ、此曰^フ二飯宮^ト者^ノナリ也。此外

兼^ニ合^テ日御崎^一・宇龍浦^一・佐佐浦^一・宇峠浦^一・湊^一・園村等^一ヲ復^テ以^テ為^ニ杵築郷内^一。又聞^ク、米結浜^一・黒田浜等^一古^ノ者有^ニ蟹戸ノ民^一。杵築、社領七浦内^{ナリ}ト。今^ハ、淪^无シ^ニ編^罪一也。往^古有^ニ此郷中^ニ菱根^一、

池^一。出雲川ノ下流也。此ノ川、從^ニ伊努郷^一東^ニ轉^{シテ}而^テ、後^ニ無^{シテ}根源^一為^ニ澇池^ト。然^ルニ、寛永年中^ニ神門郡矢野郷小山村、今^ノ之^三木氏

吉右衛門^ノ祖父^ノ兵衛^ノ尉相^ニ土地^ノ之便宜^一、新^ニ掘^ル於川^ノ一^ニ疏^ル三壅塞^一、通^{シテ}水路^ヲ一^ニ水沢沮^一・湖漸^一・爆^一・成^ニ肥田^ト、乃^シ合^セテ^ニ平修埋免^一・菱根^一・入南^一・矢島^一・江田^一・浜村等^一ノ六箇ノ村^ヲ一^ニ総^テ五千斛許也。按^{スル}ニ書^{スル}ハ、于旧事記^ニ常世ノ郷^ト者^ニ蓋^シ今ノ常松村也。古老伝^テ

曰、八九十年前有^リ、此村^ニ于松古木數十株^一。意^フニ可^レ有^ニ少彦名^一社^ニ于此^ノ地^ニ。後世不^レ加^ニ於備治^一、而遂^ニ以^テ廢絶^{スル}耳。且延喜式^并風土記^所ノ載^{スル}之社^モ往^レ往^ニ失^{シテ}、於其^ノ名称^ヲ一^ニ強^テ或曰^ニ八幡^ト、或ハ曰^ヒ權現^ト、或復^曰某某社^ト者、蓋^シ不^レ鮮^矣。此ノ社^モ亦遂^ニ將^レ成^ニ權現^ト一乎、將^レ成^ニ八幡^ト一乎、吁^可ニ勝嘆^一哉。所^レ謂^ニ至^ニ熊野之御碕^一遂^ニ適^ニ常世ノ郷^一矣。乃^シ熊野ノ御崎^今、

鰐淵山^一、是也。此山、又ハ曰^フ二宇加山^一、又曰^フ二不老山^ト。日本紀^ニ書^ニ熊成峯^ト、訓^シニ和尔奈利乃多氣^ト、又書^ニ八尋熊鰐^ト。然^ラハ者熊^ト与^レ鰐同訓^{ナル}ヲ可^レ知^ル矣。少彦名命、從^リ鰐淵山^ノ足^一縁^ニ二粟莖^一彈^ニ渡^ニ出雲^ノ大河^ヲ一鎮^シ二座^ニ、今ノ粟津^一常松ノ辺^ニ推^{シテ}

可^レ知^ル。尔^ハ者常松^ノ粟津^ノ之名称^{、豈}偶然^{ナラ}ヤ乎。予^カ之說^{、雖}似^ク二太^一牽合^附會^ニ、意^フニ夫^レ大己貴^ノ少彦名^{、非}他國^ノ之事^ニ。此ノ國、豈^ニ曰^フ無^シ其事^跡一乎。且記^{シテ}レ^之ヲ以^テ招^ル具眼^之廬^ト胡^ヲ耳。

杵築郷、古^ハ出雲郡、今^ハ神門郡也。

伊努郷、郡家正北八里七十二歩。國、引坐^ス意美豆努命御子、赤衾伊努意保須美比古佐倭氣能命之祖、即坐^ニ郷中^ニ。故、云^ニ伊努^ト。〔神龜三年、改字伊努。〕

抄云、八里七十二歩^ハ者今ノ一里十三町十二間也。并^テ乎東西ノ林木及^ヒ神門郡ノ高浜村ノ中久佐加村^一・矢尾村^一・石臼等ノ辺^ヲ一以^テ為^ニ此

郷中ニ也。有ニ西林木ニ于伊努谷大明神社一。此郷古ハ出雲郡、今ハ入ニ楯縫郡也。

美談郷、郡家正北九里二百四十步。所造天下大神御子、和加布都努志命、天、地初判ノ之後、天御領田之長、供奉坐之。即、彼神坐ニ郷中ニ一故、云ニ三太三。即、有正倉。(神龜三年、改字美談)

抄云、九里二百四十步者今ノ一里廿九町。則并ニ美談村ト与ニ今在家村一以爲ニ此郷ト也。盖シ出雲川東流後、美談・今在家、阻、爲ニ別村ト、遂ニ今在家ハ附ニ出雲郡ニ一、美談、屬スニ楯縫郡ニ一也。又和加布都努志社ノ事ハ見タリニ于一矣。

宇賀郷、郡家正北一十七里廿五步。所造天下大神之命、讓ニ坐ス神魂、命御子、綾門日女命、尔時女神、不肖ニシテ逃隠之時、大神伺ヒ求レ給所、此則是郷也。故、云ニ宇賀ト。即、北海ノ浜有レ磯。名ニ腦磯。高一丈許リ。上坐松、芸至磯。皂人之朝夕如レ往來。又木ノ枝人ノ之如ニ攀引一。自レ磯西ノ方ノ窟戸、高広各六尺許。窟ノ内在レ穴。人不得レ入、不レ知ニ深淺一也。多ク至ルニ此磯ノ窟ノ之辺ニ者ハ、必ス死。故、俗人自レ古至マテ今、号スルナリニ土黄泉之坂、黄泉之穴ト也。

鈔云、一十七里廿五步、今ニ里卅町二十五間ナリ。以ニ口與ノ宇賀ト一爲ニ本郷ト一。并ニ東南ノ国富、西ハ唐川・別所・川下・井吞等処々ヲ一以爲ニ宇賀ノ郷ト一也。所謂黄泉穴ハ者在ニ川下村西ノ磯辺ニ一宇賀山ニ有下如レ井岩穴上。直下ノ深、不レ可レ計、知ル。俗、復タ曰ニ之ヲ黄泉穴ト一也。又有リニ宇賀山中不老山鑿測寺一。伝ニ云、推古天皇ノ時、有ニ智春者一、初踏ニ開此山ヲ一。尔シテ以、来千有余年ト山ノ之ヲ爲レ状也。南北不レ広、東西谷長。千丈瀑布、帯テ雪ヲ四序先レ消コト。万疊障屏、埋レ雲ニ且暮不レ開。千年鶴松秀テ、峯ニ傾ニ緑蓋ヲ、万齡仙杉聳ヘテレ岩ニ結フニ緝樓ヲ一。夜中常見レ日ヲ、曉陵且送レ月ヲ。冬、則銀雪敷レ

地ニ散ニ瓊瑤ヲ、春ハ亦金華發ヒテ枝掩フニ錦帳ヲ。東ニ臨メハ、則完道湖水、碧潭漫シテ空ヲ、而シテ近ク北ニ顧レトハ、亦隱州島嶼、蒼溟隔レ、岸ヲ則遙ナリ。寺前一水、永ク酌ニ於荆溪ノ派流ヲ、堂後万壑長ヘニ攀ニ於天台命脉ヲ。往古ノ広壯巨麗、更ニ不レ可レ言フ也。近世堀尾氏入テニ此国ニ一後、山領許多減少シテ、今ハ僅余セリニ院宇十二一。堀尾氏モ亦次テ而亡フニ於国命ヲ。古人有リレ言也。皇王資ニ運祚ヲ、相ニ將昌ニスルハ、ニ家業ヲ一靡レ不レレ繇ニ寺像ニ。凡ソ寺像ノ之興廢者国家之盛衰ナリト也。信乎。

神戶里、郡家西北二里一百步。(出雲也。説名、如意宇郡。)
鈔云、併ニ乎神立・千家・北島・井上・別名・鳥屋村等ノ六所ヲ一以爲ニ神戶ノ里ト一也。神戶社ハ者神立村万九千大明神ノ之所レ座マス也。路程二里一百步ハ今ノ十四町。

新造院一所。有河内郷中。建立嚴堂也。郡家正南一十三里一百步。旧ノ大領置部臣布弥之所造。(今ノ大領佐宜鹿之祖父。)

鈔云、按ルニ、布弥ノ之所造院宇ハ者河内郷ノ中上ノ郷城上寺觀音堂、盖シ是也。一十三里一百步ハ者今ノ二里七町卅間也。上ノ郷村今ハ入ニ神門ノ郡中ニ一。

- 杵築社 御魂社 御向社
- 出雲社 御魂社 伊努社
- 意保美社 曾致乃夜社 久牟社
- 審伎乃夜社 阿受伎社 美佐伎社
- 伊奈佐社 弥大弥社 阿我多社
- 伊波社 阿具社 都牟自社
- 久佐加社 弥努婆社 阿受积社
- 加守社 布世社 同阿受积社

佐伎社、式ニ作ルニ御崎社ニ。又式外御前社。同御崎社。百枝槐社此等ノ四社ハ共ニ在リニ日御崎ニ也。伊努社亦伊努社。同社。同社。伊農社。同伊農社。同社此等ノ七社ハ伊努郷林木村大谷大明神・林木大明神・西林木權現・佐子能權現・八祖父大明神・日乃都麻大明神・比売宮大神、是也。式ニハ伊努神社。同社神魂伊豆乃売神社。同社神魂神社。同社比古佐和氣神社。伊布伎神社。都我利神社。伊佐波神社、式ト与ニ此記ニ社數又同ナリ也。意保美社ハ者宇賀郷川下村垂水大明神ニシテ而シテ与レ式同也。曾致乃夜社又審伎乃夜社、此兩社ハ式ニハ書スニ曾根能夜神社。同社韓國伊太氏奉神社ト。又式外支比佐社以上三社ハ所座ニ出雲郷氷室村神谷樋山ニ曾伎大明神・山上大明神及ヒ權現宮、是也。久牟社ハ者式ニ書ニ文武神社ト。是レ出雲郷出西村久茂神社也。弥太美社・阿加多社・伊波社・弥陀弥社・泉社、此五社式ニハ書スニ美談神社。同社比売遲神社。泉神社。同社和加布豆努志神社。卯波神社ト。按ルニ、出雲大河伊努郷ヨリ西ニ落ルノ時ハ、美談与ニ今在家ニ同郷也。今東ニ流テ分隔シテ成ニ別村ト。故ニ号スニ今在家ト。遂ニ属スニ出雲郡ニ。美談ハ入ルニ楯縫ニ。伊波ノ神社ハ見ニ今在美談村ニ。余外ノ四社ハ者蓋シ可レ在ニ今在家村ノ國長ニ。而モ違フトキニ水路ヲ一之時、將為ニ亡社ニ乎。今則一処モ無矣。式外弥太弥社。同伊努社。同社。弥陀弥社。同社。同社。同社。同社。同社。同社。同社。以上十三社又如シト上ノ断一。今無シニ美談中此社一也。阿具社ハ式ニハ書スニ阿吾神社ト。河内郷上阿宮大明神、是也。久佐加社。来坂社。同社、式ニハ載スニ久佐加社。同社大穴持海代日古神社。同社大穴持海代日女神社ト。右三社ハ者神門郡高浜支村久佐加大明神。来成大明神ナルカ乎。或又在リトニ久佐加社一座ノ中ニ云フ。此ノ辺古ハ為ニ出雲郡伊努郷一。今ハ属タルニ神門郡ニ也。

○加守社・同阿受积社ハ者是レ則出雲郷中神守村宮崎神祠ニシテ而シテ兩社在ニ于一処ニ。加守、式ニハ書スニ加毛利ト。布世ノ社ハ者宇賀郷布施大明神也。○神代社ハ者出雲神戶神立村万九千大明神、是也。加立利社ハ者同所加美伐利大明神ニシテ而シテ、式ニハ書スニ立虫ノ社ト、蓋シ是耶。○又式外有ニ神代社・同社。此ニ社亦以可レ有ニ此ノ処ニ。而今ノ則無レ之。○鳥屋社ハ出雲ノ神戶北乃鳥屋村ノ社也。○御井ノ社ハ在ニ漆沼郷直江村ニ御井大明神。是レ則大穴持命娶テニ稻葉八上比売ヲ而シテ座ニ御井神ヲ。又ノ名ハ曰ニ木俣神トモ。式書ニ御井社ト、是也。○韓鏗社、式ニハ作ルニ韓鏗ノ社ニ。是宇賀郷唐川村ノ權現ノ社也。○波弥社ハ式ニハ書スニ波知神社ト。是健部郷羽根村須多礼大明神也。○伊自美社ハ式ニハ作ニ伊甚神社ト。是伊自美三社大明神也。伊自美村旧ハ入ニ出雲郡ニ。今ハ属ニ意宇郡ニ。佐伎社ハ今ノ鷺浦神社ナリ。古ハ入ニ出雲郡ニ。今ハ附スニ神門郡ニ。山辺社・同社、同社、此三社ハ者未ク知ニ其ノ処ヲ。俗伝云、有ニ杵築郷山辺赤人ノ塚。故曰ニ赤塚村ト。祭ルカト。此ノ社彼カ之靈ヲ一歟。按スル見ヘタリニ此記ハ天平五年ニ作ルレ之。或記ニ曰、赤又ハ者從ニ聖武帝ノ時上総国山辺郷ニ初来テ作ニ和歌之侍読ト云。然ラハ則天平ノ時、赤人未ク死也。山辺社祭シヤ何ソ彼カ之靈ヲ一乎。且ツ記シテ以俟ニ後ノ君子ヲ一耳。弥努波社ハ式ニハ作ニ美努麻神社ニ。斐堤社ハ式ニハ書ニ斐代神社ト。加佐加作ニ伊佐加。都牟自ハ作ニ都武自ニ。此四社不レ詳ナラ。都牟自社・同社・弥努波社・間野社・布西社・波加社・佐伎多社、此七社亦如レ上ノ。

神名火山。郡家東南三里一百五十步。高一百七十五丈、周五里六十步。曾支能夜社。伎比佐加美高日子命社、即在此巖。故、云神名火山。鈔云、此山ハ在ニ出雲郷氷室村ニ。俗呼ヲ曰ニ仏経山ト、是也。出雲御崎山。郡家正北二十七里三百五十步。高三百六十丈、周九十六

里一百六十五步。西ノ下所謂所造天下大神之社坐也。

鈔云、廿七里三百五十步、者今ノ四里廿四町許。又周九十六里一百九十五步者今ノ十六里二町四十間也。此山自二杵築一始、東方歷二菱根・遙堪・高浜・林木・國富、北方過二宇賀川下、向西ニ通ニ井吞・宇峠・鷺浦・宇龍浦等、將亦歸ニ旋于杵築大社ニ、其周旋ノ路程凡ソ今ノ十六里有餘ナリ。稱シ旧事記・古事記ニ宇加山日本紀ニ熊成峯ト、曰フハ此記ニ出雲御崎山ト、共ニ以テ此山ナリ也。俗呼テ曰ノ不老山又ハ鰐淵山ト、是也。又作二或本正北ヲ于西北ニ是ナリ。以テ那家ヨリ路尺ヲ考ルニ之相ニ応リ杵築今ノ弥山、趾一。此レ宇加ノ第一峯也。聞ク中世有テ二密師一、躋ニ攀于此峯ニ修練スルノ求聞持ノ秘法ヲ之時、彫刻ス於石仏兩軀ヲ。在リ于今此峯ニ。世呼テ曰フ杵築弥山權現ト。靈驗日ニ新ニシテ、從リ西從東靡ニ來、不レ拜敬セ之ヲ。毎年七月十四・五・六日奉ニ焼列炬ヲ於山頂ニ、中夜宛モ如シニ白昼ノ。世人各ク償ニ仏賽一也。且又當時密師勸ニ請シテ八幡大菩薩ヲ於山ノ東ニ、祈ニ修法ノ之鎮護ヲ。猶ヲ到マテ二千近年ニ見ニ有リ二神石一。人皆拜スレ之ヲ。然モ或処ノ杜司利ニ羨ニ仏驗日、盛ナルヲ、勸ニ募シ諸方ニ新建ニ小祠ヲ給ヒテ曰フニ熊野八幡宮ト。而堅秘旧ノ之神石ヲ不ニ敢出ニ也。呼非シテ下浮図ノ之奪フニ神威ヲ一而已上、神亦措ニ憑仏光ヲ一者ノカ乎。可シ笑フ矣。

諸山野所在草木、草薺・百部根・女萎・夜于・商陸・独活・葛根・薇・藤・李・蜀椒楡・赤桐・白桐・椎・椿・松・栢・禽獸、則有晨風・鳩・山雞・鶴・鶺・猪・鹿・狼・兔・狐・獼猴・飛鼯也。

出雲大川。源自伯耆与出雲二国堺鳥上山流、出仁多郡横田村。即經横田・三処・三沢・布勢等四郷、出大原郡引沼村。即經來次・斐伊・屋代・神原等四郷、出雲郡界多義村、經河内・出雲二郷、北流、更折西

流。即經伊努・杵築二郷、入神門水海。此則所謂斐伊川下也。河之西辺、或土地豊波、土穀・桑・麻・稔款・枝、百姓之膏腴園。或土体渡、草木叢生也。則有年魚・鮭・麻須・伊具比・魴・鱧等之類、潭端雙泳。自河口至川上横田村之間、五郡百姓、便レ川而居リ。(出雲・神門・飯石・仁多・大原郡。)起于孟春至季春、校材木船、沼派河中也。

鈔云、出雲川、河源鳥上山ハ在リニ雲伯兩國ノ坂仁多郡横田郷竹崎村ニ。俗呼テ曰ニ船通山ト、所謂素戔鳴尊帥ニ其ノ子五十猛神ヲ一降ニ到於新羅國ニ云。遂ニ以ニ埴土ニ作レ舟ニ、乘之東ニ渡リ到ニ出雲ノ國鏡川上所ノ在ル鳥上ノ之峰ニ云。蓋シ今ノ船通山、是也。祭ニ横田郷五十猛神ヲ、俗呼テ云ニ伊賀多氣大明神ト、又是也。此川出テ仁多・大原二郡ヨリ到ニ多義村ニ。多義村ハ今ノ上阿宮村ナリ。自レ夫經ニ河内・出雲二郷ヲ、自ニ伊努郷一又西ニ折ケテ、歷ニ伊努・杵築二郷ヲ一會シテ神門ノ水海ニ、遂ニ西方入ニ于大海ニ云。今ノ以見、則從ニ西林木伊努谷ノ側一西ニ転屈シ來テ武志・高浜・粟津・堀江・常松・菱根ノ池一、又從レ夫經ニ入南・江田・矢鳥・浜村・松ヨリ下・荒木・蘭村・大島村ヲ、入ニ神西水海ニ。自シテ其又販ニ入于大海ニ也。又曰、此川、或曰ニ鏡川ト、或曰ニ肥川ト、曰ニ斐伊ノ川ト。蓋素戔鳥命天降時、見テ下自ニ川上ニ匙箸ノ流レ來テ、而シテ尋上仁多郡布施ノ郷佐白ト与ニ大原郡久野村一之堺ヒ八頭坂ニ上、於レ是殺シテ大蛇ヲ一娶ニ稻田姫ヲ。猶當ニニ末記スレ之。

意保美小川。源出雲御崎山、北流入大海。(有年魚少々。)

鈔云、出雲郷崎山ハ者指スニ宇加山ノ第一峯杵築今ノ弥山ヲ。此川出ニ此山ヨリ。下稍合ニ流鰐淵寺川ト、到ニ宇賀郷川下村ニ入ニ于大海ニ也。

池江頂池。周二百四十步。須々比池。周二百五十步。西門江。周三

里一百五十八步。東流入于海。〔有鮒。〕大方江。周二百卅四步。東流入于海。〔有鮒。〕二江源者、並田水所集矣。東方入于海。三方並平原遼遠。多有山雞・鳩・鳧・鴨・鴛鴦等之族也。東方入海所在雜物、如秋鹿說也。北大海。宮松崎。〔有楯縫与出雲郡之堺。〕意保美浜。広二里一百廿步。氣多島。〔生紫菜・海松。有鮠・堀甲贏。〕井吞浜。広卅二步。宇太保浜。広卅五步。大前島。高一丈周二百五十步。〔生海藻。〕腦島。〔生紫菜・海藻。有松。栢。〕鷺浜。広二百步。黒島。〔生海藻。〕手結浜。広廿步。尔比塔。長一里卅步、広廿步。崎之南本、西通戸船、猶往來。上則松叢・生也。宇札保浦。広七十八步。〔船廿許可泊。〕山崎。高卅九丈、周一里二百五十步。〔有椎・横・榴・椿・松。〕子負島。〔磯。〕大椅浜。広一百五十步。御前浜。広一百廿步。〔有百姓之家。〕御殿島。〔生海藻。〕御厨家島。高四丈周廿步。等々島。意能保浜。広一十八步。栗島。〔生海藻。〕黒島。〔同前。〕這田浜。広一百步。二俣浜。広九十八步。門石島。高五丈、周四十二步。〔有鷺栖。〕藪。長三里一百步、広一里二百步。松繁多矣。即自神門水海、通大海江、長参里、広一百廿步。此則出雲与神門二郡堺也。凡此海所在雜物、如楯縫郡說。但、鮑出雲郡尤優。所レ捕者、所謂御崎海子、是也。

鈔云、池江頂池・須々比池・西門江・大方江・二江、此等ノ水沢ハ蓋シ聞ノ在リヤニ出雲郡三部市・久木・庄原、海辺ニ。歴フ年ヲ久シテ而遂ニ成ニ耕田平原ト一耳。比大海崎ハ者楯縫郡古津浦ト与ニ川下浦一堺ナリ。川下古ハ為ニ出雲郡。今属ニ楯縫郡ニ。意保美浜ハ則川下浦有ニ同処海中氣多島一。井吞浜・宇太保浜ハ者共ニ古ハ出雲郡ナリ。井吞、今ハ楯縫郡ニシテ与ニ神門郡一堺ナリ。宇太保、今ハ神門郡ニシテ与ニ楯縫郡一堺ナリ也。今井吞ヲ作リニ猪目ニ、宇太保ヲ作リニ宇峠ニ。蓋シ本朝俗字随レテ心ナ

書ス矣。正ニ無シ一定ノ式。不レ可ニ拘リ泥一也。大前島・腦島ハ者在リ下宇峠ト与ニ鷺浦一之間ニ。鷺浦・宇札保浦・御前浜等共ニ又古ハ者出雲郡、今ハ属スニ神門郡。俗宇札保ヲ作リニ宇龍ニ、御前ヲ作ルニ御崎ニ。黒島・米結尔比崎ハ者在ニ鷺ト与ニ宇龍一之間ニ。子負・大椅ノ両島在下宇龍ト与ニ御崎一之間ニ。御殿島・御厨家島・等々島・怪聞崎・意能保浜・栗島・黒島・這田浜・二俣浜・門石島等ハ自ニ日御崎一到ルマテニ杵築伊奈佐浜ニ之或海島、或ハ海浜ノ名也。此中等々島ハ蓋シ今ノ蝮島ト而在リニ日御崎ヨリ廿町許ノ海中ニ。此島ノ辺ニシテ杵築御宇不見。擲ニ蝮魚ヲ。勝レリ其ノ佳味諸浦所ノ出之物ニ。故ニ充レ實賜フニ穀米ヲ。応ニシテ其魚ノ大小ニ各レ有レ差。伊那佐ヨリ以南経ニ赤塚湊浜ト一直ニ到ルニ藪ノ松山ノ辺ニ也。藪、長二里一百步、今十九町四十間、広一里二百步、今ノ九町二十間ナリ。藪村古ハ出雲郡、今ハ入ニ神門郡中ニ。猶至テ末ニ詳ニスレ之ヲ。

通道。通意宇郡堺佐雜村、一十三里六十四步。鈔云、古ハ者曰フ下出雲郡ト与ニ意宇郡一之堺ト佐雜崎ト堺谷有ト之。今伊自美利入テニ意宇郡一。則以テ下伊自美ト与ニ学頭一之中路軍原ト上為ニ二郡ノ堺ト一矣。

神門郡堺出雲大河辺、二里六十步。鈔云、神門・出雲二郡、今猶ヲ出雲大川以テ為レ境ト也。通大原郡堺多義村、一十五里卅八步。鈔云、多義村ハ者今ノ上阿宮村也。一十五里卅八步、今ノ二里十八町卅八間ナリ。通楯縫郡堺宇加川、一十四里二百廿步。鈔云、古ハ者以ニ宇賀川ヲ為ニ出雲・楯縫二郡ノ堺ト一。今ハ以ニ出雲大河ヲ為レ堺ト也。

神門郡

合郷捌、〔里廿二。〕余戸、〔巷。〕馭家、〔式。〕神戸。〔巷。〕

鈔云、按スルニ此記ハ郷八、余戸一、馭二、神戸一、和名鈔ニハ、アララキマテ革ニ

余戸ヲ一以ニ伊秩一為レ郷ト也。又古ハ者杵築郷入ニ出雲郡ニ一而、今属スニ

神門郡ニ。都テ為ニ郷一。又到マテニ于宇峠・佐伎・宇龍・御崎浦及ヒ

湊ノ浜・蘆ノ松山ニ一共以杵築ノ郷ニシテ古ハ入ニ出雲郡ニ。今ハ則為ニ

神門ノ郡中ト一也。

朝山郷。今依前用。〔里二。〕

置郷。今依前用。〔里參。〕

塩冶郷。本字止屋。〔里參。〕

八野郷。今依前用。〔里參。〕

高岸郷。今字高峯。〔里參。〕

古志郷。今依前用。〔里參。〕

滑挾郷。今依前用。〔里二。〕

多伎郷。本字多吉。〔里參。〕

余戸里。本字最邑。

挾結駅。本字多吉。

多伎駅。本字多吉。

神戸里。

所_三以号_二神門ト一者、神門ノ臣伊加曾然之時、神門貢之。故、云神門。即、

郡司主帳無位若倭部臣

大領外正位下置部臣

少領外從八位下大臣

主政外大初位下部臣

神門臣等自レ古至今、常居此処。故、云神門。

鈔云、古志川ノ東側_ニ有レ墓。俗呼号ス神門塚ト。蓋シ神門臣等葬埋ノ之地カ乎。而今_イ往_ニ往_ニ有ニ神門氏者一。蓋シ又_イ往_ニ古神門ノ裔孫カ乎。或ハ土民、或ハ巧匠等也。

朝山郷、郡家東南五里五十六步。神魂命御子、真玉著王之邑日女命、坐之。尔時、所造天下大神大穴持命、娶給而每朝通坐。故、云朝山。

鈔云、古ノ之五里五十六步、者今ノ之卅町五十六間。則当_スレリ二路尺神朝山村一。相_ヒ併_セテ西ハ馬木東ハ宇奈手南ハ野尻・種原等ノ地一以テ

為ニ朝山郷ト一也。又書スニ此ノ記ニ朝山郷里二ト一。其一ハ以ニ野尻・種原・宇那手ヲ一為ニ一里ト一。其二ハ以ニ馬木村ヲ一為ニ一里ト一者也。今俗呼_テニ

朝山廿五箇村ト一稱スルノ三下朝山ト一諸村ハ者、蓋シ中古有ニ朝山氏某カ私領廿五箇村ト一故、曰フニ朝山廿五箇村ト者也。然_モ実ニ古ヘノ朝山ノ郷ハ

先_ニ所_レ書スル之五箇村耳。置郷ハ者、郡家正東四里。志紀島宮御宇天皇之御世、置伴部等、所遺来リ、宿_ト停_ト而為_レ政ヲ之所。故、云置郷ト一。

鈔云、此郷ハ以テ塩冶村ノ内伴部・大井谷・馬場・神原等ノ地ヲ一併_セテ為ニ置郷ト一也。蓋シ中世執ニ塩冶氏国柄ヲ一之時、其ノ氏族等分ニ散_シテ於

高岸・塩冶・置郷ノ三処ニ一、以結_テ構_ス手第家ノ故、忘_ニ却_シテ置・高岸旧号ヲ一、都テ稱スルニ塩冶郷ト一而已。

塩冶郷、郡家東北六里。阿遲須積高日子命御子、塩冶毘古能命、坐之。故、云止屋ト一。〔神龜三年、改字塩冶。〕

鈔云、東北六里ハ者今ノ卅六町ナリ。蓋井_テニ塩冶村ノ内只谷・今市・大津等ヲ一以為ニ塩冶ノ郷ト一。又来原・石塚ノ中ノ村、此等ノ地モ亦大津ノ

属村也。此郷ヨリ以北、可_シレ為ニ武志・大塚・渡橋辺モ亦此郷ノ中一。且_ツ萩原・朽嶋・稻岡・高岡等諸村今_ニ皆在_ニ于此郷ノ北ニ一。蓋シ古ハ

出雲ノ大河西ニ流ル、之日ハ者、此辺ノ村里或ハ中流、或ハ洲渚、此川東落而後、素波交シテ揚テ紅塵ヲ一耳。又此中有ニ高岡村ニ于多福密寺一聞ク、昔ノ日、院宇榮昌シテ修テ授スルノ於秘密灌頂ノ一之道場也ナルハ、自来衰替シテ無シ此ノ事。而モ遺ニ余當旧時密灌ノ之器物一ニヲ而已。有リニ寺庭千石。広サ不レ満ニ二尺ニ、高七尺許。伝ハ曰、西塔弁慶カ之袖中ノ研池ト。然モ以ニ常情ヲ一言トキハ、則実ニ奇怪ノ談ナリ也。其レ從ニ神通辺一言フトキハ、則納ニ巨海ヲ於毫端ニ、入ニ須弥ヲ乎芥子ニ。又非レ無キ焉。這コレ、箇何ヲ足ニ以テ為レ怪ト哉。而モ置ニ此石ヲ於異域ニ、則彼潘即呼テ友ト平。將未老拜為レ兄ト耳。吁復有ニ今市ノ村中ニ城柳ノ之旧墟。俗伝テ云、塩冶高貞カ之城ナリ。而モ高貞ハ宜シク居ニ富田ノ城一歟。意フニ富田ノ本營ニシテ而、此レ等亦タ彼カ之枝ノ城一耳。有ニ來原村ニ于阿世利ノ池、書スニ記ニハ夜牟夜淵ト。昔シ出雲宿称誘ニ引弟飯伊利根ヲ遊ニ邀此ノ淵ノ澗、澗ニ、而シテ殘ニ害スト之。其時、入ニ血濺流テ而池中ニ。故曰フ阿世利ノ池ト。蓋シ以レ血ヲ曰フハ汗者、齋宮ノ忌ノ詞ニ血ヲ称レ汗見。然ラ者書シテ血入ト可レ訓ニ阿世利ト者ノガ乎。又古事記曰、大國主之命、葦原ノ中国ハ者天神御子ノ命ニ獻。百八十ノ御子者御尾前ニ坐ス八重事代主命ニ、奉レ仕、而後百不足八十均乎隱レ賜フ時、出雲國之於ニ多氣志ノ小浜ニ造ニ天之御舍一、而水戸神ノ之孫、櫛八玉神、為ニ膳夫一獻ニ天ノ御饗一云。今在リニ武志村ニ于膳夫大明神一、是也。

八野郷、郡家正北三里二百二十步。須佐能表命御子、八野若日女命坐。尔、時所造天下大神大穴持ノ命、將娶給為而、令造レ屋。故、云ニ八野一。鈔云、自郡家今ノ廿二町卅間ハ者相ニ応キ矢野・白枝・小山此ノ三村ノ境内ニ。合テ之ヲ以為八野ノ郷ト也。白枝村ノ西、今ノ松ノ下村ノ古ハ、

出雲大河ノ会水神門ノ水海ノ中心也。後ニ埋テ今ハ成ルニ編戸ト一耳。高岸郷、郡家東北二里。所造天下大神御子、阿遲須積高日子命、甚昼夜哭坐マヌ。仍其ノ、処ニ高屋造リ可レ坐マヌ之。即建ニ高椅ヲ一可ニ登降養、奉一。故ニ、云ニ高岸ト。(神龜三年、改字高岸。)

鈔云、從郡家今ノ十二町ハ者相ニ當ルコト塩冶村俗ニ曰フ高西ノ地辺ニ、并テ西ハ天神村東北、渡橋村ノ中阿利原ヲ一以為ニ高岸ノ郷ト也。先ニ所謂塩冶カ之諸士成ニ家宅ヲ。後忘テニ高岸旧号ヲ一皆入ルトイフニ塩冶村中ニ、是也。

古志郷、即屬郡家。伊弉弥命之時、以ニ日淵川ヲ一築ニ造池ヲ一之。尔時、古志國等到來而為堤。即、宿居之處。故、云古志。

鈔云、古志郷ノ郡家ハ者從ニ今ノ弘法寺ノ六町西北ノ田疇、俗呼言フ郷ト所、蓋シ是也。并セテ古志ノ芦渡・知井宮等ヲ一以為ニ古志ノ郷ト也。日淵川ハ者蓋シ芦渡ト与ニ知井宮ノ之境ニ俗呼テ曰ニ保知石川ト、是也。中世、有ニ古志因幡ノ守トイフ者一管ニ領此ノ辺ヲ。故ニ古志ヨリ二十四町西北迄ニ松枝村一悉屬ニ此郷内ニ。以ニ古志村保知石大明神ト一同ク為ニ氏ノ神ト。此ノ社、古ノ名在ニ保知石谷ニ。寛永年中ニ遷ニ祀古志村中栗皮塚田隴ノ之園山ト。是則伊佐那美命也。

滑挾郷、郡家南西八里。須佐能表命御子、和加須世理比売命坐之。尔時、所造天下大神命娶而通坐時、彼社之前有磐石。其上甚滑之。即詔、滑磐石哉詔。故、云南佐。(神龜三年、改字滑挾。)

鈔云、自郡家古ノ八里ニシテ今ノ二里十二町ハ者、相ニ応神西ノ市場ト。且又合ニ二部・三部ノ為ニ一里ト、并ニ常樂寺村・畑村ヲ一為ニ一里ト、加ニ之ニ神西ヲ一都テ為ニ滑挾ノ郷ト也。今ノ神西ノ澳村ハ者、古ハ出雲ノ神門ノ(古志川也)兩川會フニ此水海ニ之時ハ、蓋シ湖水水心ナリ也。其後成ルニ民居ニ耳。所謂滑磐石者則在ニ神西村岩坪山ト一岩坪

大明神ニシテ高倉権現ノ之所レ座スル、是レ則祭ルニ須世理比売命ト与ニ大穴持命一之処、乃シ此記ハ合社ニ所レ載ル之式内奈売佐社、那売佐社ノ兩社、是也。且ツ有下神西ニ曰ニ神待ト一之所上。聞、大穴持命来ニ通須世理比売ノ命一之時、相ニ待比売于此処ニ一之処也ト、信ニ然シヤ也乎不。書スルハ此ノ記ノ式内ニ波加佐社式外ニ波加佐社ト共ニ是神待ノ社也。又有ニ此村ニ于田中ノ社一。有リニ此村ニ羽加佐山ニ旧城ノ之陳迹一。聞ク、近来自下曰フニ関東古庄ト一処口上。来テニ神西氏ノ之人于此一掘レリコソ、弘治年中、毛利元就追ニ伐シテ之ヲ一遂ニ滅亡スト矣。書スルトニ神西ノ字、或ハ神妻、或神在ト云。

多使郷、郡家南西二十七里。所造天下大神之御子、阿陀加夜努志多伎吉比売命坐之。故、云多吉。〔神龜三年、改字多伎。〕

鈔云、此郷自ニ郡家ニ古ノ廿七里今ノ四里十八町ハ則当レリニ于口田儀市ノ郷ニ。又書スニ田儀川ヲ於多岐ノ小川水上ハ多岐ト。然レハ則併テニ奥田儀・口田儀・小田・多岐・久村等ヲ一以爲ニ多岐郷ト一也。又里參トハ者指シテニ田儀・小田・久村之三処ヲ一曰フニ里參ト一者也。多岐ハ本郷ニシテ而又兼ニ馭家ヲ一。一十九里ハ今ノ三里六町、則多岐村加夜堂当レリ矣。此処ニ有ニ阿太加夜努志多伎比売命神社一。故名クレ地ニ也。神戶里、郡家東南一十里。

鈔云、一十里ハ今ノ一里廿四町ナリ。乃シ所原村ノ中今ニ曰フニ神所ト一、蓋シ此ノ地也。從リニ所原東南云二十八町一有ニ見々勾村一。西南去テニ七十町一有リニ乙立村一矣。

余戸里、郡家南西三十六里。〔説名、如意宇郡。〕鈔云、卅六里ハ者今ノ之六里也。蓋シ方路共ニ当ニ今ノ橋波村ニ。然レハ則并ニ橋波・吉野・高津・屋東村・八幡原・一窪田・佐津目・山口等ヲ一以爲ニ神戶里ト一也。按スルニ和名鈔ニハ并テ上ノ諸村ヲ一以爲ニ伊秩郷ト一

也。狹結駅、郡家同処。古志国佐与市ト云人來居之。故、云最邑。〔神龜三年、改字狹結也。所以來居者、説古志郷也。〕

鈔云、狹結駅ハ則古志郷、今ノ古志市、是也。多岐駅、郡家西南一十九里。〔説名、即、如多岐郷。〕

鈔云、詳ナリニ于多岐郷ニ一矣。新造院一所。朝山郷中。郡家正東二里六十步。建立嚴堂。神門臣等之所造也。

鈔云、二里六十步ハ者今ノ之十三町。神門臣之所造ハ者蓋シ今ノ神門寺也。俗伝曰、昔日空海大師来、ニ嘗テ此国ニ一寓ニ止于神門寺ニ、作ニ和字四十七字ヲ一遺ニ乎此ノ寺ニ。不レ知矣、是、尔、矣。聞テ此ノ寺中古ハ、爲ニ密寺一、近世ハ者爲ニ專修ノ徒ノ之私有ト一耳。以ニ方路ヲ一細カニ考レハレ之置郷内ノ非ニ朝山ノ郷ニ一不、審。然モ上世ノ事難シレ量。強テ不レ弁レ之。

新造院一所。有古志郷中。郡家東南一里。刑部臣等之所造也。〔本立嚴堂。〕

鈔云、古ノ之一里ハ者今ハ六町也。刑部等カ之所造者蓋シ今ノ弘法寺カ乎。自ニ郡家ニ方路正当レリ矣。天平日ハ者不レ知此寺。何、宗ナルコトヲ。其後作ニ密寺ト一置ケリニ空海師ノ之影像ヲ一。因曰ニ弘法寺一者也。

- | | | |
|-------|------|------|
| 美久我社 | 阿浜理社 | 比布知社 |
| 又比布知社 | 多吉社 | 夜牟夜社 |
| 矢野社 | 波加佐社 | 奈売佐社 |
| 知乃社 | 浅山社 | 久秦為社 |
| 佐志牟社 | 多伎枳社 | 阿利社 |
| 阿如社 | 国村社 | 那売佐社 |

阿利社 大山社 保乃加社

多吉社 夜半夜社 同夜半夜社

比奈社〔以上廿五所、並在神祇官。〕

塩夜社 火守社 同塩夜社

久奈子社 同久奈子社 加夜社

小田社 波加佐社 同波加佐社

多支社 多支々社 波須波社

〔以上十二所、並不在神祇官。〕

鈔云、美久我社、者多岐郷則口田儀村津島大明神、是也。延喜式ニハ

書スニ弥久加神社ト。○阿浜理ノ社者来原村ノ權現ニシテ而在リニ阿世利ノ

池ノ側ニ。式ニハ作ニ阿須利神社ト、是也ナリ。○比布知社ハ者古志ノ郷

保知石大明神ナリ。見タリニ事ハ于先ニ。又○比布知社ハ式ニハ書スニ同社

坐神魂子角魂神社ト。是レ亦同郷知井ノ宮村ノ内保知石谷神社也。

○久奈為社、式亦同シ。式外久奈子社・同久奈子社以上三社ハ者是レ同

郷久類須ノ三社、是也。○知乃社ハ者式ニハ作ニ知伊神社ニ。在スニ同郷

知井宮村ニ六社大明神也。○多吉社・多吉社此ノ両社ハ者式ニハ書スニ

多伎神社ト同社坐大穴持神社ト。是レ則多岐郷多岐多岐大明神ナリ。

并テ二兩社ヲ一為ニ一社ニ也。亦○式外加夜社ハ先ニ云フ多岐村加夜堂

社、是也。同○多岐社ハ同村須奈谷大明神也。○多支積社、式ニハ書スニ

神彦魂命子于日命神社ト。在ニ多岐郷則田儀村ニ田儀大明神是也。

○又式外多支伎社是、亦田儀村大須大明神也。○国村社ハ者式亦同シ在ニ

多岐郷久村ニ比津毛利大明神、是也。○夜半夜社・同社・同社・保

乃加社此四社、式ニハ載スニ塩冶神社・富能加神社・塩冶比古麻由弥

能神社・塩冶比古神社ト。又○式外塩冶社・火守・同塩冶社、此等ノ

諸社ハ蓋シ皆可レ為ニ塩冶郷中只谷・大津・来原・石塚中ノ村・朝倉・

今市等ノ神社ト也。予詰ニ社家者ヲ一曰フ、只谷大明神・今市山王朝

倉大明神・石塚大明神・大津龍王同所弁才天ト、而モ不レ詳故ニ闕レ

之ヲ。○比奈社ハ者式亦同シ。塩冶郷大塚村比奈原大明神也。○矢野社

者式ニハ作ニ八野ニ。是レ矢野郷矢野大明神、是也。○大山社ハ者式同シレ

之ニ。亦矢野郷今ノ小山村樹木森然ノ中大山祇ノ神社、是也。故ニ名ヲ

村ヲ大山ト。而俗作ルハニ小山ニ謬レリ矣。波加佐社ハ者在ニ滑狭郷神西

村羽加佐山ニ神社也。奈壳佐社・那壳佐社此兩社式ニハ載ニ那壳伎神

社・同社坐和加須西利比壳神社ト。是レ合ニ祭神西村ニ大穴持ト与ニ

須世理比壳ニ俗呼曰ニ岩坪大明神ト、是也。○式外加夜佐社・同社者

神西村田中明神・同村神待社也。○阿如社ハ者式ニ書スニ塩冶日子命御

子燒大刀穗日子命神社ト。是レ清狭郷ニ部村姉谷大明神也。○浅山

社ハ式同シニ于是ニ。神朝山宇比滝大明神、是也。○阿利社又阿利社

式ニハ記スニ阿利神社・同社坐加利比壳神社ト。是レ則高岸郷天神ト与ニ

渡橋之中路阿利原森ノ神社、是也。○波須波社ハ者在ニ伊秩郷余戸ノ里

下橋浪村ニ田中大明神也。

田俣山。郡家正南一十九里。〔有梶・枌。〕

此山ハ者在リニ于乙立ニ。俗呼テ曰ニ田代山ト一是也。

長柄山。郡家東南一十九里。〔有梶・枌。〕

此レ亦乙立村ノ山名也。一十九里ハ今三里六町ナリ。上又同也。

吉栗山。郡家西南二十八里。〔有梶・枌也。所謂所造天下大神宮狹造

山也。〕

鈔云、此山ハ者伊秩郷一窪田村ノ中久利原山是也。有リニ此ノ山ノ足

所造天下大神ノ御子阿太加夜努志命ノ廟社ト也。廿八里者今四里廿四

町也。

宇比多伎山。郡家東南五里五十六步。〔大神之郷屋也。〕

鈔云、在^リ此山^ハ神朝山郷^ニ。合^シ祭^ル所^ヲ謂^フ真玉着玉之邑日女命、
与^リ大穴持^ノ命^ノ之社、俗呼^テ曰^ク比滝大明神、是也。

稻積山。郡家東南五里七十六步。〔大神之稻積也〕

陰山。郡家東南五里八十六步。〔大神之御陰。〕

稻山。郡家正東五里一百一十六步。〔東、有樹木。三方並磯也。伏神御稻。〕

杵山。郡家東南五里二百五十六步。〔南西並有樹木。東北並磯也。御稻杵。〕

冠山。郡家東南五里二百五十六步。〔大神之御冠〕

鈔云、此五山^ハ者皆^ナ在^ル比滝^ノ左右前後^ニ一山名也。

諸山野所在草木、白般・桔梗・藍・漆・龍膽・商陸・統斷・独活・白芷・秦椒・百部根・百合・卷伯・石薺・升麻・当歸・石葦・麥門冬・杜仲・細辛・茯苓・葛根・薇蕨・藤・李・蜀椒・檜・杉・赤桐・白桐・榧・椿・楓・柘・楡・藥・楮。禽獸、則有鷓・鷹・晨風・鳩・山雞・鶻・猪・狼・鹿・兔・狐獼猴・飛鼯也。

神門川。源出飯石郡琴引山。北流、即經來島・波多・須ノ佐郷、出神門郡余戸里間立村。即神戸・朝山・古志等郷西流、入水海。則有年魚・蛙・麻須・伊具比。

鈔云、神門川^ノ水源^ハ出^レ自^レ飯石郡來島郷赤穴里^ノ中由來村琴神山^ニ。記^ニ作^テ琴引^ニ。又有^リ飯石郡須佐・波多^ノ兩川^ニ。入^ル于^レ此^ノ川^ニ。合流^{シテ}歴^テ神門郡余戸等^ノ數処^ニ、西^ニ折^テ入^リ于^レ神門^ノ水海^ニ也。所謂^ル間立村^ハ者橋浪村^{ナリ}。神戸里^ハ者所原村^{ナリ}。水海^ハ則^ス神門郡神西^ノ湖水海也。

多岐小川。源出郡家西南卅三里多岐々山。北西流入大海。〔有年魚。〕

鈔云、多岐小川^ハ即田儀川也。古^ノ卅三里^ハ今^ノ五里十八町^{ナリ}。多岐々山^ハ即又田儀^ノ之深山也。

宇加池。周三里六十步。來食池。周一里一百卅步。笠柄池。周一里六十步。刺屋池。周一里。神門水海。郡家正西四里五十步。周卅五里七十四步。裏則有鱒魚・鎮仁・須受積・鮎・玄砺也。水海与大海之間有山。長廿二里二百卅四步、広四里。此者意美豆努命之國引坐時之綱矣。今俗人号^テ云^ク園松山^ニ。地之形休、壤石並無也。白沙耳積上、即松林茂繁。四風吹時、沙飛流掩埋松林。今年埋半^ヲ遺。恐^{クハ}遂^ニ被^レ埋^ニ已^テ与^ス。起^ニ松山南端美久我林^{ヨリ}、尽^レ石見^ト与^リ出^ル雲^ニ二國界中島崎^ノ之間^ヲ。或^ハ乎須、或陵磯。凡北海所在雜物、如楯縫郡說。但無紫菜。

鈔云、宇加池、周三里六十步今^ノ十九町^{ナリ}。古志郷宇加池、是也。笠柄池、周一里六十步^ハ今^ノ七町^{ナリ}。言^テ古志^ノ郷知井宮俗^ニ阿佐加羅池^ト、盖^シ是^レレガ耶。來食池、周一里一百四十步^ハ今^ノ八町廿間^{ナリ}。未^{スレ}知^リ其^ノ处^ヲ也。刺屋池、周一里^ハ則^レ今^ノ六町^{ナリ}。在^リ今^ノ塩冶郷只谷^ニ防堤也。神門水海、郡家正西四里五十步^ハ今^ノ廿四町五十間^{ナリ}。周三十五里七十四步^ハ又^レ今^ノ五里卅一町十四間。盖^シ夫^レ邊^ニ今^ノ之村里^ニ一量^ニ古^ノ之碧湖水際^ニ、則^レ郡家^ノ正西今^ノ二十四町五十間^ハ者知井、澳村^ニ當^テ焉。首^レ自^レ此^ノ邊^ニ神西三部^ニ・二部^ニ・大池^ニ・板津^ニ・佐須^ニ・弥西^ニ・園湊^ニ・荒木^ニ・浜村^ニ・入南^ニ・修理免^ニ・菱根^ニ・遙堪^ニ・常松^ニ・江田^ニ・松^ニ下^ニ・横引^ニ・下庄^ニ・復^ニ尾^ニ・知井^ニ・澳村^ニ、周圍^ノ路程^{今^ノ六里有余^{ナリ}。然^{レハ}則^レ浜村[・]矢島[・]江田[・]入南[・]菱根[・]都^テ五ヶ村[・]松^{ヨリ}下[・]園村[・]横引[・]下庄[・]大島[・]知井[・]沖村[・]神西[・]沖村^等又都七ヶ村、此等^ノ諸村悉^ク以^テ為^ス水海中^ニ一矣。然出雲大河東落^テ既^ニ雖^レ絶^レ流^ヲ、此辺^ノ猶波沢^ニ洑^シ。水患^レ不^レ去。庶民憂^レ之。如^レ所^レ言^フ、于^レ先^ニ、及^テ寬永年中^ニ、小山村^ニ三木氏^ノ兵衛尉^{有^テ心匠^一察^{シテ}水性路脉^ヲ告^ケ二國左^ニ、役^{シテ}民庶^ヲ堀^レ川漏^ス水^ヲ。今^ノ杵築^ノ堀川、是也。從^レ是^レ而^テ還^テ為^ス二耕田^ト、為^リ二民村^ニ、吁彼}}

之功可シ以嘉一焉。西園村モ亦下庄村秦氏喜兵衛尉落シレ水ヲ埋メレ
 沢ヲ、以為ニ苗除一。凡ソ二千斛許リ。知井ノ沖・大島村・神西沖村モ
 亦遂ニ成ルニ耕治民村一耳。水海与大海之間有山、長廿二里二百卅四
 歩今ノ三里廿八町ナリ。又広ニ三里ハ今ノ十八町。蘭松山ノ社者蓋シ可キカ
 為ニ意美豆努命一歟。而モ俗呼言フニ妙見ノ社ト。蓋シニシテ。聞クニ
 内典ノ之説ヲ、妙見菩薩主ナルト星ヲ矣。按ニ日本紀ヲ、経津主命・
 武甕槌命到テ出雲ノ国伊耶佐之小ノ汀向ニ大己貴ノ神ニ云。纂疏説ニ
 以ニ経津主ノ命ヲ一謂フニ鎮星ノ之精ト云。然ラハ以ニ此ノ社ヲ一作シテ
 主ノ神ト一言ニ妙見菩薩ト一者也。出雲与石見ニ国堺中島崎ハ者、口田儀ト
 与ニ石州島津屋一之堺源蔵松ヨリ以北ノ海儀不シテ言、而シテ知ヌ矣。
 通道出雲郡堺出雲川辺、七里廿五歩。通飯石郡堺堀坂山、一十九里。
 通同郡堺与曾紀村、廿五里一百七十四歩。通石見国安農郡堺多岐々山、
 卅三里。(路、賞有別。)通同安農郡川相郷、卅六里。住常引不有。但
 当有政時、權置耳。

鈔云、出雲川辺、七里廿五歩、今ノ一里六町廿五間、則今ノ大津之堰
 築ノ側一也。飯石郡堺堀坂山、郡家十九里今ノ三里六町ナリ。神門
 郡神戸ノ里所原村ト、与ニ飯石郡一之堺、須佐ノ郷朝原村穗佐加明神所
 座山也。石見国安農郡堺多岐々山、卅三里、今ノ五里十八町則奥田
 儀村ノ山也。同州川相堺、卅六里、今ノ六里。山口ト与ニ石州多根一
 之界歟。

前件ノ伍郡、並大海之南也。

郡司主帳無位刑部臣
 大領外從七位上勲業神門臣
 擬小領外大初位下勲業刑部臣
 主政外從八位下勲業吉備部臣

【第四冊】

(表題)

出雲風土記抄 四止

飯石郡

鈔曰、此ノ郡家ハ多根ノ郷掛谷村ノ中今マ呼テ曰郡ト之処ナリ。從シテ此
 諸方ノ路程相ニ応セリ矣。因テ知メ古ノ郡家ナリ也。

合郷漆。里一十九。

鈔云、此ノ記ハ七郷、和名鈔ニ置ニ田井・草原ノ二郷ヲ。共ニ合テ以テ
 為ニ九郷ト一也。

熊谷郷。今依前用。

三屋郷。今字三刀矢。

飯石郷。本字伊鼻志。

多祢郷。本字種。

須佐郷。今依前用。(以上伍、郷別里參。)

波多郷。今依前用。

来島郷。今字支自真。(以上貳、郷別里貳。)

所ニ以号ニ飯石ト一者、飯石郷伊毘志都幣命坐。故、飯石。

熊谷郷、郡家東北二十六里。古老伝云、久志伊奈太美等与麻奴良比売
 命、任ノ身及ニ將ニ産シト時ニ、求レ所レ生之。尔時、到ニ来テ此ノ処ニ
 詔マ、甚ハタク久麻久麻志枳谷ノ在リト。故、云ニ熊谷一也。

鈔云、古ノ廿六里ハ今曰フニ四里十二町ト。方路共ニ下熊谷村ニ應セリ焉。
 合ニ之ニ上熊谷ヲ一以為ニ此郷ト一也。

三屋郷、郡家東北二十四里。所造天下太神之御門、即在此ノ処ニ。故、
 云ニ三刀矢ト。(神龜三年、改字三屋。)即有正倉。

鈔云、二十四里、今ノ四里ナリ也。合テ三刀屋ノ市・給下村・伊董・安田・尾崎・粟谷・殿川内・大谷・屋内・法師田・里坊等ノ十二所ヲ以テ一郷ト也。按スルニ、和名鈔ニハ加草原郷ト。今三刀屋市ノ東ニ俗呼有リ云フ。萱原ト一処上。然ラハ則分テ此郷中萱原・三刀屋市・粟谷ノ三処ヲ以テ置草原郷ト、以テ余外ノ九処ヲ為三刀屋郷ト耳。飯石郷、郡家正東一十二里。伊毘志都幣命、天降坐処。故、云伊鼻志。〔神龜三年、改字飯石。〕

鈔云、此郷ハ并テ多久和村・中ノ村・六重・神代・川手村等ノ五箇ヲ以テ飯石郷ト。有リ多久和村往還ノ川辺ニ磐石ト。蓋シ聞ク伊毘志都幣降産ノ所ト云フ。

多祢郷、属郡家。所造天下大神大穴持命与須久奈比古ノ命、巡行天下ノ時ニ稻種隨ニ此処ニ。故、云レ種ト。〔神龜三年、改字多祢。〕

鈔云此郡家ハ先ニ若ク所レ言フ多祢郷懸谷村ノ中今曰レ郡ト之処ナリ。然レハ則併ニ掛合・多根・松笠・坂本・乙多田・加食曰・掛合ノ宮内村・吉田村ヲ以テ多祢郷ト也。和名鈔ニハ合ニ此郷ノ中吉田村・曾木・上山及ヒ仁多郡上阿井ノ内田井ノ須山辺ヲ以テ別ニ載テ田井郷ト一矣。聞ク、掛谷ノ中日倉城有ニ多加与四郎及ヒ高野山光定ト者ノ一拠ニ守ト于此ニ。有ニ彼等カ之領地十四箇村ト。故ニ俗ニ曰フニ掛谷千貫ノ地ト。又以ニ此ノ十四箇村ヲ私ニ呼言フニ掛谷ノ郷ト一矣。復郡家ヨリ以テ西行クト三十町許、曰ニ松笠村ト。有ニ此ニ于瀑布一號シテ云ニ竜澄滝ト。予嘗テ公務ノ暇、往テ造テニ乎其ノ澗ニ仰キ眺、則截然トシテ高コト三十三尋、測ノ深コト亦然ナリ。懸崖巨石ノ間、飛シ白雷ヲ一翻スニ竜納ト。水声聒々、乱ルニ人ノ双耳ト。東ニ有ニ三石門ト。行テ視レハ之、窟穴ノ中空洞トシテ広サ十四五歩許リ。其ノ半入ニ淵潭ト一、其半ハ白沙皓々ナリ。有ニ翠壁一磊柯処ニ飛滝権現乃シ觀世音ナリ。寔ニ是可レ謂ニ

補陀海岸ト耶。頓ニ洗ニ塵軀ヲ一無垢清淨ナリ。且遙拜シテ退ク矣。須佐郷、郡家正西一十九里。神須佐能表命詔マ、此ノ国ハ者雖ニ小国ト、々処在リ。故、我カ御名ハ者、非レ着ニ木石ト、詔フ而、即己レ命ノ之御魂鎮置キ給フ之。然シテ即大須佐田定メ給フ。故、云ニ須佐ト。即有ニ正倉ト。

鈔云、一十九里、今三三三六町ナリ。以ニ此ノ処ニ宮内ヲ為スニ郷ノ標ト。即有ニ大宮大明神ノ社ト。是レ須佐ノ鳥乃命ノ神社也。併テ之ニ朝原・反部・大路・原田・入ノ間・竹尾・穴見等ヲ以テ為ニ須佐ノ郷ト也。反部ニ有ニ余戸市ト。又有ニ穴見村ノ中ニ鬼ガ之城トイフ。又有ニ此ノ山中ニ于岩屋ト。意フニ、昔、日居止シ逃亡ノ之惡少年于此ノ故ニ、時々往テ来乎人ノ之村里ニ、啓レ鑰ヲ探ニ金帛ト、或ハ奪レ懷ヲ取リニ殊美ト、且、殺ニ越人ヲ于貨ト一閱、不レ畏レ死ヲ之者、阻ニ邑里ト一殘ニ害シテ人民ト、常ニ以テ此ノ岩窟ヲ為ニ己カ之巢穴ト一者ノナラン也。人戰曰ニ之ヲ妖鬼ト一亦宜ヘナリ也。故曰フニ世伝テ鬼ガ之城ト一者ノカ耶。

波多郷、郡家西南一十九里。波多都美命、天降坐家有。故、云波多。鈔云、西南一十九里者、今ノ之三里六町。以ニ畑村・四津見・八神・角井・刀根・志師村ヲ併テ而為ニ波多ノ郷ト一也。畑村都類伎大明神ト者蓋シ波多都美命ナリ。故名クルニ于郷ト一也。角井村ハ雲石岡ノ之境

佐比売山ノ趾也。来鳥郷、郡家正南卅六里。伎自麻都美命坐。故、云支自真。〔神龜三年、改字来鳥。〕

鈔云、此郷ハ併ニ上中下ノ来鳥及ヒ赤穴・佐見・油来・花栗・長谷・都加賀等ノ村ヲ以テ為ニ一郷ト一也。記ニ書スルハ来鳥、別里式ト一者、蓋シニ来鳥上・中・下ヲ為ニ一郷ト一、合ニ由来・佐見・長谷・花栗ノ四村ヲ為ニ一郷ト一、別ニ以ニ赤穴ト与ニ都加賀ト為ニ二里ト而已。

須佐社 河辺社 御門屋社

多倍社 飯石社〔以上五所、并在神祇官。〕

狹長社 飯石社 田中社

多加社 毛利社 兔比社

日倉社 井草社 深野社

託和社 上社 葦鹿社

粟谷社 穴見社 神代社

志志乃村社〔以上十六所、並不在神祇官。〕

鈔云、須佐社、者延喜式与レ之同シ。則須佐ノ宮内村ノ神社也。川辺社ハ

同所ニシテ而蓋シ伊津久志麻大明神也。御門屋社ハ者式ニハ書スニ三屋神

社ト。則三屋郷ノ給下村一宮大明神ニシテ而奉ニ祭大穴持一社也。多

倍社者式亦同シ之。是レ則須佐郷反部村神社也。飯石社ハ者式亦同スレ

名ヲ在飯石郷多久和村往還ノ之川辺ニ伊弉志都幣命降産ノ大磐石社、

是也。以上ハ式内ナリ。以下十六社ハ共ニ式外ナリ。社名方処如シ左ノ。

狹長ノ社ハ者多称郷掛谷村佐長里加都乎大明神也。飯石社ハ者飯石

郷六重村伊弉津大明神、是也。田中社ハ者在三刀屋郷安田村一田

中大明神也。多加社ハ者三刀屋ノ川上田井郷吉田村杉戸大明神、是也。

兔比社未レ考。毛利社ハ者三刀屋郷伊加夜村一森大明神、是也。日

倉社ハ者在二多称郷掛谷村日倉山ニ一神社也。井草社ハ者三刀屋郷伊

加夜村貴那瀬大明神事也。深野社ハ者田井郷深野村大神也。託和社ハ

者飯石郷多久和村貴比津大明神、是也。上社ハ者在二田井郷上山村ニ一

夜久見ノ神祠、是也。葦鹿社ハ者同郷吉田村須我谷大明神也。粟谷社ハ

者三刀屋郷 津大明神也。穴見社ハ者須佐郷穴見村權現ノ宮也。神

代社ハ者飯石郷神代村久仁加汨加大明神、是也。志志乃社ハ者波多

郷志師村劍大明神ノ事也。

燒村山。郡家正東一里。

鈔云、燒村山郡家正東一里ハ者今ノ之六町。蓋シ多称郷掛谷村、曰フレ

郡ト処ノ東方ノ山カ歟。今見ニ、自ニ郡家ニ南西去ルコト十二三町ニ俗曰フニ

燒山ト有レ之。而モ記ノ与レ方路頗ル犬牙ナリ耳。

穴厚山。郡家正南一里。

鈔云、去テニ郡家ニ今六町正南ニ有レ山。其名也。

笑村山。郡家正西一里。

鈔云、此亦去コト六町以西ノ山号也。

広瀬山。郡家北一里。

鈔云、六町以北ニ見ニ有リ此山一矣。

琴引山。郡家正南卅五里二百步。高三百丈、周一十一里。古老伝曰、

此山峯有窟裏所造天下太神ノ御琴、長七尺、広三尺、厚一尺五寸。又

有ニ石神一。高式丈、周四丈。故、云琴引山。〔有塩。〕

鈔云、琴引山ハ俗呼テ言フニ琴神山ト、是也。在ニ来鳥郷由来村ニ。山頂ニ

有ニ權現ノ祠一。所謂所造天下大神也。三十五里二百步ハ者今ノ五里

卅三町廿間也。

石穴山。郡家正南五十八里。高五十丈。

鈔云、石穴山ハ在ニ来鳥郷赤穴村ニ。此ノ山足 跨 二備 一石 雲ノ之城ニ

乃シ鼎ニ分三国ノ之封境ヲ一山也。五十八里ハ今ノ九里廿四町。

幡咋山。郡家正南五十二里。〔有知欲。〕

鈔云、幡咋山ハ蓋シ上来鳥郷小田深山也。五十二里ハ今ノ九里也。

野見木。見石以三野、並郡家南西四十里。〔有紫菜。〕

鈔云、此等ノ山ハ来鳥郷下来鳥村ノ山名也。四十里ハ者今ノ六里廿四

町ナリ。

佐比壳山。郡家正西五十一里一百卅步。〔石見与出雲ニケ国堺。〕

鈔云、佐比壳山ハ雲州飯石郡波多郷角井村ト与ニ石州安農郡四加久村ト

之堺、今ノ三瓶山、是也。五十一里一百四十歩、今ノ八里廿町廿間ナリ。
堀坂山。郡家正西卅一里。〔有杉松。〕

鈔云、堀坂山ハ須佐郷朝原村宝坂大明神所座ノ山名。乃シ通スルノ二神
門郡神戸ノ里所原村ニ之徑路也。卅一里ハ今ノ五里六町ナリ。
城恒野。郡家正西一十二里。〔有紫草。〕

鈔云、是レ今ノ之民谷村ナリ。俗呼テ曰ニ宇山一。一十二里ハ者今ノ十二
町也。

伊我山。郡家正北二十九里二百歩。

鈔云、此山ハ三刀屋郷中今ノ之伊加夜山、是也。廿九里ハ者今ノ四里卅三
町廿間也。

奈倍山。郡家東北二十里二百歩。

鈔云、此山ハ蓋シ須佐郷朝原村名梅谷ノ山ナラシ也。如為ニ此山ト一者非ニ
郡家東北ニ、乃シ西北ナリ。東字恐クハ西字ノ三写歟。廿里二百歩ハ者
今ノ三里十五町廿間也。

凡諸山野所在草木、旱解・升麻・当飯・独活・大薊・黄精・前胡・薯
預・白朮・女萎・細辛・白頭公・白恐・赤箭・桔梗・葛根・秦皮・杜仲・
石斛・藤・李・榴・赤桐・椎・楠・楊梅・楓・柘・榆・松・榧・藥・楮・
禽獸、則有鷹・隼・山雞・鳩・雉・熊・狼・猪・鹿・兔・獼猴・飛麕。

三刀屋川。源出郡家正東一十五里多加山、北流入斐伊川。〔有年魚。〕

鈔云、三刀屋川ノ水源多加山ハ備・雲二國之堺吉田村杉戸谷ナリ。俗
呼テ曰ニ伊都礼山ト一、是レ也。此水ノ下、稍入ニ于斐伊川ニ一。一十五里ハ
者今ノ二里有半也。

須佐川。源於郡家正南六十八里琴引山、北流シテ經來島波多須佐等三
郷、入神門郡門立村。此所謂神門川上也。〔有年魚。〕

鈔云、須佐川水源琴引山ハ見ヘタリニ于前ニ一。此川來テニ來島郷小田村、

深山、備後ノ國惠所郡ノ堺ナリ、經ニ由來村琴引山ノ辺ヲ一北ニ流テ過テ
來島・波多・須佐ノ三郷ヲ一、下流、入ルニ于斐伊川ニ一也。六十八里ハ者
今ノ十二里十二町也。

磐鉏川。源於郡家西南七十里箭山、北ニ流入ニ須佐川一。〔有年魚。〕

鈔云、磐鉏川ハ來テ下來島郷赤穴村ト与ノニ備後國三吉郡横谷ニ之堺ヨリ上、
箭山ノ辺ヨリ北ニ落テ過テ下來島・八神・四津見ヲ一、經ニ神門郡余戸里
上橋浪・一窪田・八幡原ヲ一流テ乙立村ニ一、合ヒニ須佐川ニ一、赴ムヒテ
神戸里所原・神朝山・馬木村・古志郷ニ一、入ルニ于神門ノ湖水ニ一也。
然ニ出雲大河東流テ後、神門水海水枯テ今ハ僅ニ如シニ波池ノ一。曰フニ之ヲ
神西ノ湖水ト一。以レ故ヲ此川ニ亦自ニ古志郷一流テ經テニ園村・湊原ヲ一、
直ニ西方入ニ于大海ニ一也。

波多小川。源於郡家西南二十四里志許斐山、北方流入須佐川。有鉄。

鈔云、波多小川ハ則波多村ノ川也。志許斐ハ畑村ノ山ノ名也。廿四里ハ
者今ノ四里也。

飯石小川。源於郡家正東一十二里佐久礼山、北流入三刀屋川。

鈔云、此川ハ飯石郷多久和川ナリ。水源佐久礼山ハ在リニ于六重村ニ一。
俗呼テ曰ニ多伎坂山ト一、是也。經テ神代・多久和・粟谷ヲ合テ三刀屋川ニ
也。正東一十二里ハ者今ノ之二里ナリ。

通道ハ、通フニ大原郡堺斐伊川辺ニ一、廿九里一百八十歩。通シテニ仁多郡
堺温泉川辺ニ一、廿二里。通シテニ神門郡ノ堺与曾紀村ニ一、卅八里六十歩。通ニ
同郡堀坂山ニ一、卅一里。通シテニ備後國惠所郡堺荒鹿坂ニ一、卅九里二百
歩。〔經常有割。〕通道、通シテニ三以郡三坂ニ一、八十一里。〔經常有割。〕
波多経・須佐経・割但志都美経以上三経、常無割。但、当有政時、權
置耳。並通備後國之。

鈔云、大原郡堺斐伊川辺廿九里一百八十歩トハ者今ノ四里卅三町ナリ。

從_二下熊谷村_ニ大原郡斐伊川之渡口也。又仁多郡堺温泉川辺廿二里_ハ者今_ノ三里廿四町_{ナリ}。從_二飯石郷川手村_一川_ノ東面仁多郡三沢郷内漆_ニ仁_ノ里湯村等_ノ辺_{ナリ}也。神門郡与曾紀村卅八里六十步者今_ノ六里十三町_{ナリ}。自_二郡家_一考_レレ之、蓋_シ四津見村_ニ当_レレ矣。同堀坂山卅一里今_ノ五里六町_{ナリ}。当_レ須佐郷朝原村_ト与_二神門郡所原村_一之堺_ニ也。備後国惠宗郡荒鹿坂卅九里二百步_ハ者今_ノ六里廿一町廿間_ニ多称郷吉田村_ト与_二備後国篠原_一之堺也。和名鈔_ニ以_二吉田村_一曰_二田井郷_ト。三以_二郡三坂八十一里_ト者今_ノ十三里十八町_{ナリ}。赤穴_ト与_二備後_一之堺_カ歟。

郡司主帳無位置首

大領外正八位下勲業大弘造

少領外八位下出雲臣

仁多郡

合郷肆。里。(十二。)

三処郷。今依前用。

布勢郷。今依前用。

三沢郷。今依前用。

横田郷。今依前用。

所_三以号_ル仁多_ト一者、所_レ造_二天下大神大穴持命詔_一、此国_ハ者、非_レ大非_レ小。川上_ハ者木穗刺加布。川下_ハ者阿志波布這度之。是_ハ者尔多志积小_一国有詔。故_ニ、云_二仁多_ト。

鈔云、所謂_ル所_三以号_{スル}仁多_ト一者、由_テナリ詔_ニ有_リト、ニ尔多志积小国_一也。今_マ見_ニ有_リ、横田郷竹崎村_ノ田疇之中_ニ言_フ、小国_一之処_上。於_レ

余_ニ神代玄古_ノ旧名_ヲ一誠_ニ異_{ナル}カ_ナ哉。

三処郷、即属郡家。大穴持命詔、此地田好。故、吾御地古経。故、云三処。鈔此、郷_ハ合_テ于上下_ノ三処村・富田・簾村・琴枕・高芝・久比須・中湯野・西湯野・梅木・大内原・加食・乙多田・塩原・角木・石原・黒田・馬馳・矢谷・広瀬・湯野原・神畑・郡村等_ノ廿三所_ヲ以_レ為_二三処郷_ト也。顧_マ古_ノ之郡家_ハ蓋_シ乃_シ当_レニ郡村_{ナル}歟。又於_テ久比須村_ノ北比太村_ニ有_二比太社_一。記_ニ以_レ此_ノ之社_ヲ入_二此_ノ郡_ニ。而今_ハ属_ニ能儀郡_ニ矣。且_ツ又有_二中湯村_ニ古城_ノ之跡_一。其山_ハ今_ノ之龜嵩山_{ナリ}也。

布勢郷、郡家正西一十里。古老伝云、大神大己貴命之宿坐処。故、云布勢。(神龜三年、改字布勢。)

鈔云、此郷_ハ上布勢・下布勢・前布勢・佐白・八代・中村共_ニ併_セテ以_レ為_二布勢郷_ト也。按_{スル}ニ、号_{スル}ニ大己貴命_ヲ於葦原色許男_ト之時、自_二木国_一大屋彦_ノ神_ノ之処_ロ八十神_ニ所_レ追_レ而來_ル、于_二此_ノ国_一之時、相_ニ婚_シ乎須世理比売_ノ命_ニ而、使_シテ大己貴_ニ寢_中臥_サ其_ノ蛇室_ニ上。乃_シ其_ノ処_ハ蓋_シ可_レ今_ノ之布勢郷_{ナル}歟。下布勢村_ニ亦有_二八重垣_ノ之神祠_一矣。昔_シ素戔嗚尊_ヲ謫_ニ雲州_ニ一到_二于簸_ノ川上_一。有_二其_ノ処_ニ老翁_一。中_ニ坐_二少女_一而泣_ク。女甚_シ美_シ、尊問_ク、何_レ為_レ哭_{スル}。对_テ曰、我_ニ有_二三兒_一其_ノ七已_ニ為_レ蛇_ノ吞_ル。今_此一_ノ女又無_レ由_レ脱_ル、故_ニ哭_ス。尊_ノ曰、与_ニ女_一於我_ニ可_レ解_ク此_ノ愁_一。父母喜_テ諾_ス。尊問_ク曰、其_ノ大蛇_ハ何_レ為_レ形_ツ。对_テ云、八首八尾可_レ甚_シ怖_ル也。尊_ノ乃_レ設_レ為_二八槽_一一盛_ル以_レ釀_ル酒_ヲ。裝_ニ稻田女_一置_ク山_ノ頂_ニ。其影沈_ム二八槽_ノ中_一。大蛇喜_ヒ見_レ之_ヲ以_レ為_レ真_ニ女_一ナリト。便_ニ矯_二八ノ頭_一飲_二八槽_ノ醞_酒一。醞_テ醉_レ不_レ寤_ル。尊拔_ニ十握_ノ劍_一、斬_レ彼_ノ大蛇_ヲ。其_ノ地_ハ乃_レ布勢_{ヨリ}三四十町_ヲ以_レ東_ニ佐_白ヨリ二十町_ヲ以_レ北_ニ大原郡_下久野村_ノ堺_ノ八頭坂_ニ蓋_シ是_レ也。故_ニ有_二此_ノ比_ニ于_二其_ノ社_一。宜_ニ矣。雖_レ如_レ

這箇事説ニ於旧記ヲ。今マ詳シテ其ノ之方路ヲ一以テ呈下似乎不レ
出テ二戸庭ヲ一之人ニ上耳。

三沢郷ハ、郡家西南廿五里。大神大穴持命ノ御子、阿遲須伎高日子命、
御髮八握于生、昼、夜、哭、生、之、辭、不、通。尔時、祖母、御
子乘テ船ニ而、率ニ巡八十島・宇良加志給ハ、靴、猶不レ止マ、哭之。十八
神、夢ニ願給マ、告御子之哭田、夢ル一願坐ス、則夜ル夢坐之。御子、
辭通、則寤間給。尔時、御津申ス。尔時、何レノ処然云、問給。
即、御祖前ヲ立去坐テ而、石川度、坂ノ上ニ至リ、留リ申シタマフ是ノ処ニ
也。尔時、其津ノ水治、於御身沐浴坐マ。故、国ノ造、神ノ
吉事奏參ニ向朝廷ニ時、其水活土而用レ初也。依此ニ今、産婦、彼
村ノ稻ヲ不レ食。若シ有レハニ食フ者、所レ生ム千已不レ云也。故、云ニ三
津ト一。(神龜三年、改字三沢。)即有ニ正倉一。

鈔ニ云、此郷ハ併ニ湯村・槻屋・北原・尾原・石村・比羅田・下鴨倉・
上鴨倉・四日市・原田・鞍掛・乙社・大吉・川内・三成・堅田・大
谷・高尾・大馬木・小馬木・下阿井・上阿井等ノ廿三所ヲ一以テ為ニ三沢
郷ト一。和名鈔ニハ分ニ上阿井・下阿井・大馬木・小馬木・大谷・高尾ノ六
箇ヲ一以テ別ニ割ニ出阿佐郷ヲ一也。

横田郷、郡家東南廿一里。古老伝云、郷中ニ有レ田四段許。形聊長シ。
遂ニ依レ田ニ而。故、云ニ横田ト一。即有ニ正倉一。(以上諸郷所、於レ鉄堅シ。
尤モ堪レ造ルニ雜具ヲ一)

鈔云、此郷ハ、翁ニ乎竹崎・代山・中帳・五反田・馬場・角村・
横田布・大曲・下横田・原田・樋ノ口・稲田・久羅屋・福頼・八
川等ノ十五処ヲ一以テ為ニ横田郷ト一也。廿一里ハ、者今ノ三里十八町。所
謂ル四段許ノ田ハ者、蓋シ可レ為ニ今ノ五反田一畝。此山中ニ有リニ岩屋密
寺一。聞ク、行基創之。不レ知尔否哉。

三沢社 伊我多氣社(以上二所、並在神祇官。)

玉作社 須我乃非社 湯野社

比太社 漆仁社 大原社

仰支斯里社 石壺社(以上八所、不在神祇官。)

鈔云、三沢社ハ者祀テニ阿遲須伎高日子命ヲ一曰ニ大森大明神ト一。在ニ
是レ三沢ノ郷原田村ニ一也。伊我多氣ハ社ハ者按ルニ素戔嗚命師ニ其ノ
子五十猛神ヲ一乘ニ埴舟ニ一到レリニ于鏡川上鳥上ノ之峯一。其ノ鳥上
峯ハ則横田郷竹崎村ノ山ノ名、俗ニ曰ニ船通山ト一也。從ニ此山一去コト二
里十二町 葬 下竹崎ト中帳間ニ五十猛ノ命ヲ上曰ニ鬼神大明神ト一。
去テ此ノ処ヨリ西北四十町許ニ徙ニ角村ニ一見今マ曰ニ伊我多氣大明
神ト一、是也。玉作社ハ者在ニ于三処ノ郷中湯野村今ノ龜嵩山ニ。曰ニ
此記ニ于玉峯山ト一、是也。此社又ハ曰ニ玉上ノ神社ト一矣。須我乃非社ハ
者可レ在ニ同郷菅火野山ニ。俗呼ニ此山ヲ於日光ト一古城ノ之陣跡也。
今廢替シテ無シニ此社一矣。湯野社ハ者同郷中湯野村大森大明神、是也。
比太社ハ者比太村一宮大明神。而モ今ハ入ニ能儀ノ郡中ニ一也。漆仁社ハ
者三沢ノ郷湯布弥大明神ナリ。書スルハニ漆仁里或ハ出湯ノ川辺ト一者共ニ湯
村ノ事也。大原ノ社ハ者三沢ノ郷尾原村岩坪大明神、是也。仰支斯里社ハ
者布勢ノ郷八代村加美伎里大明神也。石壺社ハ者三沢ノ郷御崎大明神
是也。

鳥上山。郡家東南卅五里。(伯耆与出雲之堺。有塩味葛。)

鈔云、此山詳ナリニ于先一。卅五里ハ者今ノ五里三十町ナリ。

室原山。郡家東南卅六里。(備後与出雲二国之堺。有塩味葛。)

鈔云、室原ハ者備後国油来村与ニ横田郷八川村一堺ノ山名也。卅六
里者今ノ六里也。

灰火山。郡家東南三十里。

鈔云、灰火、者大谷村ハ与小馬木一中路ノ山名也。三十里者今ノ五里ナリ也。

遊託山。郡家正南卅七里。〔有塩味葛。〕

鈔云、遊託ハ者何位郷大馬木村ノ山名也。自レ是備後国乙原村隣焉。

此山俗呼曰「仙山」。盖シ往昔、王喬赤松カ之徒テ遊テ乎此峯ニ一食ニ松葉一服スルカニ「薛荔」一乎。如不レハ、然、輒レ光ヲ匿レ名之士、託ニスルニ迹ヲ於林密ニ乎。遊託之号信ニシテ以乎。嗟、千載無シテ人山阿寂寥ナリ。御坂山。郡家西南五十三里。即此山有神御門。故、云御坂。〔備後与出雲之堺。有塩味葛。〕

鈔云、御坂山ハ上阿位ノ郷谷谷山也。是則雲州ト与ニ備後国高野山一之封境ナリ。近来此辺ニ椀孟ノ之木工居焉。故俗呼云ニ木地山ト一矣。五十三里ハ者今ノ八里卅町也。

志努坂野。郡家西南卅一里。〔有紫草少々。〕

鈔云、志努ハ阿位郷高尾村ノ崖坂ノ名也。卅一里ハ者今ノ五里六町也。

玉峯山。郡家東南一十里。古老伝云、山嶺在玉上神。故、云玉峯。

鈔云、此山見ニ于上ニ。一十里ハ者今ノ一里廿四町也。

城絶野。郡家正南一十里。〔有紫草少々。〕

鈔云、此野ハ者在リ于三処ノ郷加食村ト与ニ横田郷大、曲リ一之中路ニ上也。一十里ハ者同ニ于上ニ。

大内野。郡家正南二里。〔有紫草少々。〕

抄云、此野ハ者三処ノ郷、俗ニ曰大内原村ト、是也。

菅火野。郡家正西四里。高一百二十五丈、周一十里。〔峯有神社。〕

鈔云、此野ハ者在ニ郡村・高芝村・上下ノ三所・角木・石原・乙多田七箇ノ間ニ一曠野丘隴名ナリ。俗ニ呼曰日光山ト、是也。峯ノ社ハ記ニ之ヲ上ニ。

正西四里ハ者今ノ卅四町周十里ハ者今ノ一里廿四町也。

恋山。郡家正南廿三里。古老伝云、和尔恋ニ阿位ノ村ニ坐マヌ神玉日女命ヲ一而、上ノ尔時、玉日女命、以レ石ヲ塞ヒテ川ヲ、不レ得レ會所ナリヲル。故、云ニ恋山ト一。

鈔云、恋山ハ者阿位郷高尾村俗呼テ曰志多布留山ト、是也。此ノ処川口、岩屋堆ク、重リ崎嶇險阻ナリ。有ニ其ノ処ニ于淵、所ニ謂玉日女命以レ石ヲ塞テ河口ヲ一鰐魚不レ得レ登コトヲ之処ナリ。到ニ于此、攸ニ、鰐怖レテ而震ニ舌端ヲ一退矣。故俗ニ曰ニ舌振山ト一也。彼ノ龍門ノ魚、得レ登コトヲ者ハ化シテ、為レ竜ト矣。奮レ鱗ヲ鼓シテ、鬣レ鰐魚如登ニ此ノ処ヲ一者、点シテ額暴レ腮乎。抑將変シテ、為ニ交竜ト一。將、為ニ比目魚ト一、亦未タ可レ知ル也。鰐曷、為レ退ラヤ乎。信、是レ奇怪不、經之甚シキ也。

凡諸山野所在草木、白頭公・藍・漆・藁本・玄參・百合・王不留行・苜蓿・百部根・瞿麥・升麻・枚蕪・黄精・地榆・附子・狼牙・離留・石斛・貫衆・統斷・女萎・藤・李・檜・楳・松・栢・栗・柘・槻・藥・楮。禽獸、則有鷹・晨風・鳩・山雞・鴝・熊・狼・鹿・狐・兔・獼猴・飛麴。

室原川。源出郡家東南卅五里鳥上山。北流、所謂斐伊川上ナリ。〔有年魚。〕

鈔云、室原川ハ来テ横田郷竹崎村ヨリ、於ニ横田ノ市ノ側ニ一与ニ八川ト一合シテ北ニ流ル也。水源鳥上山ハ見ヘタリ上ニ矣。卅五里ハ者今ノ五里卅町也。

横田川。源出郡家東南卅六里室原山ヨリ、北流。此則所謂斐伊大川上。〔有年魚・麻須・魴・鯉等類。〕

鈔云、横田川ハ来テ横田郷八川村ノ九折下ヨリ、北ニ流テ、於ニ横田市次一合ニ流スル室原川ト一也。卅六里ハ者今ノ六里ナリ。斐伊川ハ見ヘタリ于下ニ一矣。

灰火小川。源出灰火山、入斐伊川上。〔有年魚。〕

鈔云、灰火小川ハ來テ阿位郷大谷村ヨリ一其下梢合スニ横田川ニ一也。

阿伊川。源出郡家正南卅七里遊託山ヨリ、北流入斐伊川上。〔有年魚。〕

鈔云、阿位川水源遊託山ハ見タリレ上ニ。此川亦北流シテ下梢合ニ横田川ニ一。卅七里ハ今ノ六里六町也。

阿位川。源出郡家西南五十里御坂山、入斐伊川上。〔有年魚・麻須。〕

鈔云、阿位川水源御坂山ハ是亦見タリニ于先ニ一。北ニ流テ合スルニ横田川ニ一也。五十里ハ今ノ八里十二町也。

比太川。源出郡家東南一十里玉峯山、北流。意字郡野城川上、是也。〔有年魚。〕

鈔、比太川水源玉峯山見タリニ于右ニ一。比太村ノ事亦詳スニ于上ニ一。此川経テ飯梨郷布部・富田・古川・矢田等ヲ一來ルニ松井村野城大明神、祠前ニ一。飯梨川源ハ三。此レ其一也。

湯野小川。源出玉峯山、西流入斐伊川上。

鈔、此水源玉峯山ハ如シレ上。此川経ニ中湯野・梅木・大内原・湯野・神島・三成等ノ所ヲ一入ニ横田川ニ一也。

通飯石郡堺漆仁川辺、廿八里。即川ノ辺有「薬湯浴」。々則身穆平、再濯則万病消除。男女老少、昼夜不息、駱駝往来。无不得驗。故、俗人号云薬湯也。即有正倉。

通大原郡堺辛谷村、一十六里二百卅六步。

通伯耆国日野郡界阿志毘縁山、卅五里一百五十步。〔常有窺。〕

通備後国惠宗郡界遊託山、卅七。〔常有窺。〕

通同惠宗郡界比市山、五十三里。〔常无窺。但常有政時。權置多。〕

鈔云、飯石郡界漆仁川辺廿八里ハ今ノ四里廿四町。大原郡界辛谷一十六里三百卅六步ハ今ニ里廿町五十六間。今ノ槻屋村、是也。

山陰研究（第七号）二〇一五年三月

伯耆国日野郡阿志毘縁山卅五里二百五十步ハ今五里卅二町。盖シ横田郷代山村ノ東辺ト与ノニ伯州大管村一堺也。

備後国惠宗郡界遊託山ハ見タリニ于前ニ一。此山跨ニ備後国乙原村ニ一也。卅七里ハ者今ノ六里六町也。

同惠宗郡比市山五十三里ト者今ノ八里卅町。上阿位村吞谷山ニシテ跨ルニ備後高野山ニ一也。

郡司主帳外大初位下品治部
大領外位八位下叡部臣
少領外従八位下出雲臣

大原郡

合郷捌。里廿四。

神原郷。今依前用。

屋代郷。今依前用。

屋裏郷。本字矢内。

佐世郷。今依前用。

阿用郷。本字阿欲。

海潮郷。本字得塩。

来次郷。今依前用。

斐伊郷。本字樋。〔以上捌郷、里參。〕

所以号ニ大原一者、郡家正西一十里一百一十六步、田一十町許。平原、号曰大原。往古之時、此処有郡家。今猶追旧号大原。〔今有郡家処、号云斐伊村。〕

鈔云、大原郡家ハ者所ノ謂ル斐伊村也。一十里一百一十六步ハ今ノ一里廿五町五十六間。今マ考ルニ自ニ斐伊郡家ニ正西、今ノ一里廿五町

山陰研究（第七号）二〇一五年三月

四九

有余ハ者、飯石郡三刀屋郷殿河内村当レリ矣。今此ハ処無クニ平原ト一、且ツ又他郡ナリ。所謂ル大原ハ者意ヲ不シテ可ニ郡家正西ナル、却テ一里廿六町正東ニシテ而、当ニ下仁和寺村ト与ノ前原一之間ナル上歟。此ノ処者平野曠然トシテ樹林森鬱ニ。盖シ是可レ為ニ古ノ大原者ノ西字東字魯魚ナルコト必セリ矣。在ニ或ノ側ニ、聞テ予カ之言ヲ一語テ曰、夫レ高山ハ成レ淵ト、復深キ淵ハ成ルコトレ陵ト、是レ古今ノ之通義也。尔ヲハ則子ノ言不ニ必シモ、尔一也。予曰、吾子カ之言似レ理ニ而迂土地ノ變ハ則宜クニ其然ル一也。地理ノ分域、則古今無クニ以テ異ナルコト。予カ所ハ、レ言フ之正ニ地理ノ分域ニシテ而非ストニ土地ノ之變ニハ、云。於テ是ニ乎言フ者ノ唯又此原震者大東下分村、免者大西村、離者前原村、坎者仁和寺村也。此村ノ側ニ有ニ遠所村一有リ、二幡屋村一。

神原郷、郡家正北九里。古老伝曰、所造ニ天下一大神ノ之神御財積、置給所、則可レ謂ニ神、財、郷ト。而今ノ之人猶、誤、云フニ神原郷一耳。

鈔云、是レ今ノ神原村ニシテ而シテ有ニ神宝大明神ノ社ニ正北九里今ノ十八町ナリ。旧事記ニ曰ク、經向珠城宮、御宇天皇勅ニテ物部ノ十市根大連ニ曰、屢遣ニ使者ヲ於出雲ノ国ニ雖レ檢ニ校其ノ国ノ神、財ヲ一而無クニ分明ニ奏シ言フ者。汝テ親行ニ于出雲國ニ宜クニ檢、校定ム。則十市根校ヘニ定メ神、財ヲ一分明ニ奏シ言フ矣。仍令レ掌ニ神宝ヲ一云フ。所謂神財、郷トハ者、盖シ委ニ積玄古以レ降神、財ヲ於此ノ地ニ。故ニ名ケルレ郷ニ而已矣。

屋代郷。郡家正北一十里二百一十六步。所造天下大神之塚、立射処。故、云ニ矢代一。〔神龜三年、改字屋代。〕即有正倉。

鈔云、此郷ハ并テ二東・西ノ三代一以為ニ屋代郷ト。西三代ハ者出雲大河ノ側、神門郡上ノ郷ノ中和久和村、東辺ノ洲渚ノ之地也。正北一十

里一百一十六步ハ者今ノ之一里廿五町五十間也。屋裏郷、郡家東北一十里一百一十六步。古老伝曰、所造天下大神、令殖矢給所。故、云ニ矢代内。〔神龜三年、改字屋裏。〕

鈔云、此郷ハ翁セテニ乎宇治・南加茂・加茂・中村・延野・大竹・猪尾・岩倉・新宮・砂子原・近松・立原・大崎等ノ一十二所ヲ一以為ニ屋裏郷ト也。宇治三社者祀レリニ所造天下大神ヲ一。記ニ宇乃知社トハ是也。東北一十里一百一十六步ハ今ノ之一里廿五町五十六間ナリ也。

佐世郷、郡家正東九里二百步。古老伝曰、須佐能表命、佐世乃木葉頭、刺而、踊、躍為ニ時、所レ刺佐世ノ木葉墮レ地ニ。故、云フニ佐世ト。

鈔云、郡家正東古ノ之九里二百步ハ者今ノ之一里廿一町廿間ナリ。則下佐世村当レリ矣。然レハ者併テニ上佐世・下佐世・大ケ谷・飯田・狼加等五所ヲ一以為ニ此郷ト也。

阿用郷、郡家東南一十三里八十步。古老伝曰、昔或人此ノ所ニ山、田、畑、而守之、尔、時、目、一ノ鬼来而食フニ個、人之男ト。尔、時、男之父母竹、原、中ニ隠レテ而居之、時、竹ノ葉動之。尔、時、所レ食男云ニ動々ト。故、云ニ阿欲一。〔神龜三年、改字阿用。〕

鈔云、此郷ハ者併テニ於西阿用・東阿用・岡村・川合・上久野・下久野・下阿用・清田・大木原・金坂此等一十一所ヲ一以為ニ阿用郷ト也。東南一十三里八十步ハ者今ノ之ニ里七町廿間也。

海潮郷、郡家正東一十六里三十三步。古老伝曰、宇能活比古命、恨ニ御、祖須美弥命一而、北方出雲ノ海潮ヲ押、止、漂、ニ御祖之神ト。此海ノ潮、至。故、云ニ得塩一。〔神龜三年、改字海潮。〕即東北須我小川之湯淵村川中温泉アリ。〔不用号。〕同川上毛間川中ニ温泉出。〔不用。〕

鈔云、此郷ハ者須我村・引坂村・薦沢・山王寺・南村・北村・小川内村・

加利畑村・塩田・箱淵・笹谷・湯村・飛石村以上十三所^ヲ加之^ニ於^テ新庄・田中・成木・織部・稻村・大東市・山田村等ノ八ヶケ村^ヲ一都^ト并^シセテ以^テ為^ス三海潮郷^ト一也。此郷ノ中以^テ須我里^ヲ一俗^ニ云^フニ諏訪^一者^ハ訛^リ矣。須我大明神ノ所^レ座^マス之故^ニ名^クレ地^ト也。先^ニ雖^レ言^レ之^モ又^モ贅^ニ于^テ爰^ニ。從^テ須我里^一坤^ヲ去^テニ四里余^ヲ、於^テ仁多郡佐白村^ト与^テ大原郡久野村^ト之界^ニ八頭坂^上、素尊^ヲ為^メニ稻田姫^一、既^ニ殺^ス八岐ノ大蛇^ヲ。已^ハハテ還^ルニ來^リ于此^ノ里^ニ、素尊^ヲ詔^シ我^ガ心^ヲ清^クタ^ラシ^ム。遂^ニ作^テ宮^ヲ于此^ニ娶^テニ稻田姫^一生^レム子^ヲ。号^ケテ曰^クニ須我湯山主命^ト。其ノ湯山主命^ハ者^ハ与^テ大己貴命^ト一異名^ニ同体^{ナリ}。故^ニ合^シ祭^ス彼^ノ三神^ヲ於^テ此^ノ里^ニ曰^クニ須我大明神^ト、是也。纂疏^ニ曰^ク下^ニ清^ノ之湯山主^ト者^ハ出^ル雲^ノ清^ノ地^ニ有^リニ温泉^一故^ニ為^ス名^ト。益^ク信^ス。右^ハ者^ハ此^ノ三社^ニ在^リテ^ニ于此^ノ地^ニ、後^去テ^ニ良^ノ四里許^一從^テ祭意^ノ字^ノ郡^ノ佐草^ノ村^ト。今^ハ八重垣大明神、是也。所謂^ニ押^止ル^ノ海潮^ノ之神^ノ社^ハ者^ハ在^テ今^ノ南^ノ村^ト一也。

來次郷、郡家正南八里。所造天下大神命詔、八十神者、不^シト^レ置^ク青垣山裏^ニ詔而、追^テ廢^ス時^ニ、此義^ヲ追^テ以^テ生^ス。故^ニ云^フニ來次^ト。

鈔云、此郷^ハ者^ハ合^テ西^ノ日^ノ登[・]東^ノ日^ノ登[・]寺^ノ領[・]宇^ノ谷[・]來^ノ次^市等^ノ五^ノ所^ヲ以^テ為^ス來次郷^ト一也。按^スル^ニ、郡家正南八里^ハ者^ハ今^ノ一里十二町^{ナリ}。從^テ斐伊^ノ郡家^一到^リマテ^ハ、于^テ今^ノ來次^ノ市^ニ才^カニ十二町許^{ナリ}。然^ラハ者^ハ今^ノ一里十二町^ハ者^ハ、或^ハ西^ノ日^ノ登[、]或^ハ寺^ノ領[・]宇^ノ谷^ノ之^ノ辺^ニ當^リレリ^ト矣。

斐伊郷、属郡家。極速日子命坐^ニ此^ノ處^ニ。故^ニ云^フニ極。〔神龜三年、改^シ斐伊^ト。〕

鈔云、此郷^ハ者^ハ則^シ古^ノ之^ノ属^ニ郡家^ト一也。夫^レ自^レ仁多郡島上峯^ニ流^シ出^シテ、水^又諸^ノ処^ノ小^ノ川^等入^リ合^シテ^テ于此^ノ水^ニ到^リ斐伊郷^ト、遂^ニ為^ス大^ノ河^ト。無^ク大^ノ州^ニ於^テ此^ノ川^一也。旧^ノ記^ニ往^々ニ言^フニ或^ハ簸^ノ川^或肥^ノ川^又或^ハ斐伊川[、]出^ル雲^ノ大^ノ川^ト者^ハ共^ニ以^テ此^ノ川^也。又^モ此^ノ郷^ニ在^リ昔^ノ素^尊有^リ下

殺^シテ大^ノ蛇^ヲ一埋^ムル^ニ其^ノ骨^ノ角^ヲ一之^ノ地^ニ八^ノ株^ノ標^シ杉^ト。不^レ知^ル風^ノ霜^ヲ。柯^ハ者^ハ如^シ青^ノ銅^一、根^ハ者^ハ如^シ黑^ノ鉄^一。崔^ノ嵬^{タル}碧^ノ幹[、]永^ニ掩^ニ郊^原ヲ、遮^リニ微^ノ雨^ヲ、扶^ル疎^{タル}翠^ノ葉[、]長^ハニ拂^テ雲^ノ衢^ヲ、來^ニ好^ノ風^ヲ、如^シシ^クハ雖^レ大^ノ廈^要スト^ニ棟^ノ梁^ノ材^ヲ、慎^ニ怖^テ其^ノ神^木ナル^{コト}ヲ、更^ニ無^シ斧^斤ノ^ノ患^ヒ。故^ニ万^ノ牛^モ不^レ挽^ク之[、]五^ノ丁^モ不^レ動^ク之^{。雖}被^テ常^ニ神^ノ明^ノ之^ノ威^護ヲ、嗟^フ復^有リ^ニ化^工ノ^ノ在^ル期[、]寬^永永^ノ歲[、]鴻^ノ水^動ニ洗^テ其^ノ根^ヲ、次^テ以^テ枯^ノ稿^シス^ク矣。其^ノ後^ハ山^田氏^源次^郎追^テレ^レ旧^ヲ以^テ手^自植^ニ新^ノ杉^八株^ヲ云^フ。即^ニ在^テ斐伊^ノ田^ノ隣^ニ。俗^ノ呼^フ云^フニ骨^ノ杉[、]是^也。或^曰、此^ノ事^ハ太^ニ近^シニ于^テ妖^妄。而^モ意^フニ、鴻^ノ荒^草味^ノ代^ノ之^ノ蛇^骨者^ハ無^何ソ^ノ必^ト事^ハ予^カ曰^ク、吾^ノ子^ノ之^ノ疑[、]似^シ其^レ不^レ然^ラ害^{コト}ハ^ニ乎^素尊^ノ大^ノ蛇^ヲ一者^ハ則^レ非^ス乎^{。簸}川^上ニ^ニ耶^{。簸}川^既、已^ハ有^リ在^也。何^ノ特^ニ疑^ニヤ^蛇骨^ノ之^ノ有^無乎^乎哉。且^ツ彼^ノ巴^陵ノ^ノ蛇^骨、防^風之^ノ骸^骨、如^レ斯^ノ之^ノ類[、]異^域亦^非乎^乎云^フ。疑^者於^テ是^ニ乎^乎默^然然^{ナリ}。

新造院一所。在斐伊郷中。郡家正南一里。建立嚴堂也。〔有僧五軀。〕大領勝部君虫麻呂^ガ之所造也。

鈔云、正南一里^ハ者^ハ今^ノ六町^{ナリ}。斐伊^ト与^テ木^次一之間^ニ有^テ路^傍ノ^ノ茅^堂一。盖^シ勝^部虫^麻呂^ガ之所造^ノ之^ノ地^カ乎。又^モ有^テ此^ノ辺^ニ于^テ貴^竜山^洞光^寺禪^宇一。此^等ハ^ハ後^世ノ^ノ所造^ニヤ。盖^シ往^古ハ^ハ者^ハ雖^レ建^立一寺^ヲ、大^ノ概^皆ナ^リ有^テ官^令一有^テ定^額一。後^世ハ^ハ有^テ力^ノ者^ハ雖^レ建^立一創^之之^ノ故[、]諸^郷諸^村往^々ニ有^テ茅^堂院^宇一不^レ違^{アラ}ニ^ニ枚^拳ニ^而已^ス。

新造院一所。屋裏郷中。郡家正北一十里一百二十步。建立層塔也。〔有僧一軀。〕前少領田部臣押島之所造。〔今少領伊去美之從父兄也。〕鈔云、正北一十里一百廿步者^ハ今^ノ一里卅二町。押島^ガ之所造^院ハ^ハ者^ハ蓋^シ屋^裏郷^大竹^村ノ^ノ光^明寺^歟。今^ハ者^ハ廢^圮シ^テ無^ク層^塔一。院^宇僅^カニ不^レ絶^レ如^キ綫^耳。

新造院一所。在斐伊郷中。郡家東北一里建立嚴堂。〔有尼二軀。〕斐伊郷人樋仰支知麻呂カ之所造也。

鈔云、郡家東北一里、者今ノ六町ナリ。樋仰支知麻呂カ之所、造招提、者、從リ斐伊一徑、反于東北佐世村ニ一之徑路、茆堂、是彼旧蹤カ乎。

矢口社 宇乃遲社 支須支社

布須社 御代社 宇乃遲社

神原社 樋社 樋社

佐世社 西裡陀社 得塩社

加多社〔以上二十三所、並在神祇官〕 赤秦社

等々呂吉社 矢代社 比和社

日原社 幡屋社 春殖社

船林社 宮津日社 阿用社

置谷社 伊佐山社 須我社

川原社 除川社 屋代社

〔以上十六所、並不在神祇官。〕

鈔云、矢口社、者延喜式作二八口ニ一。是レ則神原郷草枕山八口大明神ノ社也。俗伝云、埋ムトニ八岐大蛇ノ之首頭於此ノ処ニ一矣。宇乃遲社、

同社、者式ニ書ニ字能遲神社。同社坐須美祢神社ト。是レ則合ニ祭大己貴ニ于須美祢神須佐能表命ヲ一俗ニ曰、宇治ノ村三社大明神、是也。

支須支社、者式ニ書ニ來次ト一。來次郷宇治村室大明神也。布須社、者屋裏郷延野村布須宮大明神也。御代社、者屋代郷東三代村尾留大明神、是也。神原社、者即神原郷神室大明神也。樋社、同樋社此二社ハ

式ニハ、斐伊社・同社坐斐伊波夜比古神社ト。今以ニ斐伊郷宮崎大明神ヲ一曰斐伊波夜比古神社ト。以ニ八岐ノ大蛇ノ八箇角杉ノ社ヲ一曰ニ

樋ノ社ト一也。佐世社、者佐世郷加利山大明神ニシテ而祭ニ須佐能表命ヲ一

也。西裡陀社ハ式ニハ記スニ西利太神社ト。是レ阿用ノ郷清田村十二所権現ノ事也。得塩ノ社ハ式ニハ載スニ海潮ト。是レ即祭テニ字能治比古命ヲ一

曰ニ海潮郷南村大森大明神ト。加多社ハ者同郷大東村加多大明神、是也。以上十三社式内也。赤秦社、者屋裏郷大竹村阿加波多大明神

也。等々呂吉社、者來次郷西日登村座ニ登戸呂伎ニ一神社也。矢代社、

者坐ニ屋代郷三代村高麻山ニ一青幡佐草日古命ノ神社也。俗曰ニ高塚大

明神ト、是也。比和社、者蓋シ屋代郷三代村日吉神社カ歟。日原社、

者來次郷日登村大森大明神也。幡屋社、者幡屋村大明神也。春殖社、

者未ク考ス。船林社、者在ニ海潮郷川中ニ船岡山大明神ニシテ、而シテ祭ニ

阿波積間委佐比古命ノ一之社也。宮津日社、者斐伊郷日吉ノ社也。阿

用社、者阿用郷都類伎大明神是也。須我社、者海潮郷須我里、今俗曰ニ

諏訪大明神ト。此事詳ナリニ于前ニ。置谷社、者佐世郷大ケ谷伊垣大

明神、是也。除川社、者小川内村ノ大神也。屋代社、者屋代郷三代村

貴船大明神、是也。伊佐山社川原社、者未レ知ニ其ノ処ヲ一也。

菟原野。郡家正東、即属郡家。

鈔云、菟原野、者斐伊川ノ一町許、以東俗曰ニ曾羅山ト、八幡宮所座ノ山、是也。

城名樋山。郡家正北一里一百步。所造天下大神大穴持命、為レ伐ニ八十神ヲ造レ城ヲ。故、云ニ城名樋ト一也。

鈔云、城名樋山、者斐伊郷ノ古城山也。東北ハ成山ナリ。以南ハ小川、以西ハ大河ナリ。此山ノ辺ヲ俗呼テ云ニ劍崎ト、是也。

佐草氏自清語リ予云、本文ノ代字如伐ノ字、訛乎。記ノ意、為レ伐ニ八十神ヲ造レ城ヲ。如クニ是見テ可カラシカレ然。

高麻山。郡家正北一十里二百步。高一百丈、周五里。北方有樞・椿等類。東南西三方並野也。古老伝云、神須佐能表命御子、青幡佐草昭命、

此山上麻蒔祖。故、云高麻。即此上峯坐其御魂也。

鈔云、高麻山ハ在屋代郷三代村。俗曰高塚山、是也。所謂青幡佐草彦ノ社ハ者在此山上頭。一十里二百歩ハ者今、一里廿七町二十間也。

須我山。郡家東北二十九里一百八十歩。〔有橋・粉。〕

鈔云、須我山ハ海潮郷神明ノ座山ニシテ俗呼云保宇奈塚山ト、是也。東北二十九里一百八十歩ハ者今ノ三里九町也。

船岡山。郡家東北一十六里。阿波杵間奈佐比古命、曳来リ居船、則此山是ナリ矣。故云船岡ト。

鈔云、船岡山ハ在リ海潮郷北村ト与ニ南村ト之間ニ。今ノ船山、是也。一十六里ハ者今二里廿四町也。

御室山。郡家東北二十九里一百八十歩。神須佐乃乎命、御室令レ造ラ給テ所ナリ宿。故、云御室。

鈔云、御室ハ在海潮郷飛石村ニ山ノ名也。一十九里一百八十歩ハ者今ノ三里九町也。

凡ソ諸山野所在草木、苦辛・桔梗・菅茄・白芷・前胡・独活・草薺・葛根・細辛・茵芋・白芍・説月・白薇・女萎・署預・交門冬・藤・李・檜・杉・栢・檉・櫟・椿・楮・楊梅・梅・楓・藥。禽獸、則有鷹・晨風・鳩・山雞・鳩・熊・狼・猪・鹿・兔・獺・飛狐。

斐伊川。郡家正西五十七歩。西流入出雲郡多義村。〔有年魚・麻須。〕

鈔云、此川詳ニ上來諸所ニ。故省ス矣。

海潮ハ川。源出意宇与大原二郡界入矣村山北、自海潮西流。〔有年魚少々。〕

鈔云、海潮川ノ水上ハ者来ニ意宇郡ノ堺小川内村・刈畑村、於ニ北村・南村ノ之間ニ合シテ于須我川ニ西ニ流也。

須我小川。源出須我山西流。〔有年魚少々。〕

鈔云、此川ノ水源者出ニ意宇郡熊野村ノ界ト高鏑山、忌部村ノ界ト佐井谷所ヨリ、合流シテ来ニ須我村、於ニ南村ノ側ニ又合ニ潮川ニ、西ニ赴ムク矣。

佐世小川。出阿用山北流、入海潮川。〔無魚。〕

鈔云、佐世小川、出ニ西阿用久野谷龜谷ヨリ、經ニ大ケ谷・佐世養加・立原ノ數所ヲ一合ニ須我川ニ也。

幡屋小川。源出郡家東北幡箭山南流。〔无魚。〕水曰、氷合西流、入出雲大河。

鈔、此川ノ小水源三ツ、一ハ者出テ遠所村ヨリ、一ハ者出テ山田村畑谷ヨリ、一ハ者出ニ幡屋村丸倉山ヨリ。此三水合ニ仁和寺村松ノ谷側ニ、至ニ大原ノ下分米原山ノ辺ニ一合スニ須我川ニ。為ニ加茂川ト西ニ流テ、經テ屋裏・神原等ノ郷ヲ一入ニ出雲大河ト也。

屋代小川。出郡家正東正除田野西流。入斐伊大河。〔無魚。〕

鈔云、此川ハ過キニ三代村高塚山ノ之辺ヲ、自ニ志ケ谷ニ北ニ流、西ニ折シテ入ニ斐伊大河ト也。

通道。通意宇郡林垣坂、廿三里八十五歩。

通仁多郡辛谷村、廿三里一百八十二歩。

通飯石堺斐伊川辺、五十七歩。

通出雲郡多義村、一十一里二百廿歩。

前件參郡、并山野之中也。

鈔云、意宇郡林垣坂廿三里八十五歩ハ者今ノ三里卅一町廿間。林垣坂者大原郡山田村ト与ニ意宇郡和奈佐村ト之堺鴨坂、是也。仁多

郡辛谷村廿三里一百八十二步、者今ノ三里卅三町。辛谷、者大原郡西日登村、与仁多郡槻屋村之堺也。飯石郡堺斐伊川辺五十七步、者今五十七間也。出雲郡多義村一十一里二百廿步、者今、一里卅三町。大原郡三代、与出雲郡上河宮之堺也。

郡司主帳無位勝部臣

大領正六位上勲業勝臣

少領外從八位上額部臣

主政無位置臣

自下本字分明不待於鈔。且方路綿接、而雖不可分、離之、然鈔スハ一処、則路尺紛々、而太難シレ弁ハ焉。且絶於白。截於読、以令見ル、人易カラ、曉レ之ヲ耳。

〔道度〕自三國、東堺去、西二十里一百八十步、至野城橋。長三十丈七尺、広二丈六尺。〔飯梨川。〕

鈔云、去西二十里一百八十步、者今ノ三里五十町。則從三國、東ノ界、

関村西、至野城橋之路程也。野城橋、者能儀郡野城駅家、今ノ之松井村能儀明神社前ノ川、曰之飯梨川、又富田川、是也。

詳カナリ。

又西二十一里、至三國庁意宇郡家北十家衝、即分為二道。〔一、正西道、一、枉北道。〕枉北道、去北四里二百六十步、至郡ノ北、堺朝酌渡。〔渡八十步、渡松一。〕

鈔云、西二十一里、者今ノ三里十八町也。国庁、即意宇郡出雲村十字街也。本文家衝字、恐ハ字街カ歟。自レ此二道別ス矣。去北四里二百六十步者、今二十八町廿六間、則自間瀉、福富村、渡頭也。

又北一十里一百卅步、至三島根郡家。自郡家去北一十七里一百八十步、至三隱岐ノ渡、千酌駅家浜。〔渡松。〕

鈔云、北一十里一百卅步、者今ノ一里廿六町十間。島根ノ郡家者、今ノ本庄、新庄二村之間也。去北一十七里二百八十步、者今、二里卅三町。隱岐ノ渡頭、即千酌浦也。

又自郡家西一十五里八十步、至三郡ノ西ノ堺佐太橋。長三丈、広一丈。〔佐太川。〕

鈔云、西一十五里八十步、者今ノ二里十九町廿間。佐太橋、今ノ船來橋、是也。

又西八里三百步、至三秋鹿郡家。又自郡家西方一十五里一百步、至三郡ノ西ノ堺。

鈔云、西方八里三百步者、今ノ一里十七町。秋鹿郡家、者秋鹿村姫二社大明神鎮座也。西一十五里一百步、者今ノ二里十九町四十間。郡ノ

西堺、者秋鹿ノ伊野、与三榑縫小佐香江之堺也。

又西方八里二百六十四步、至三榑縫ノ郡家。又自郡家西七里一百六十步、至三郡ノ西ノ堺。

鈔云、西八里二百六十四步、者今ノ一里十六町廿四間。是則榑縫ノ郡家、今呼フ多久和村、是也。西七里一百六十步者、今ノ一里八町卅間。郡ノ西堺者、榑縫、与三出雲之堺。意フニ以三字賀川、為三昔日二郡ノ堺也。

又西一十里二百二十步、出雲郡東辺即入三正西道也。惣テ枉北道程九十里一百一十步之中、隱岐ノ道一十七里一百八十步。正西道、

自十字街西一十二里、至三野代橋、長六丈、広一丈五尺、西七里至三玉作街。即分為二道。〔一、正西道、一、正南道。〕正南道十四里二百一十步、至三都ノ南西ノ堺。

鈔云西一十里二百二十步、者今ノ一里二十七町廿間。是レ、則出雲郡家ノ東邊ニシテ、而入ニ正西道ニ也。惣枉レ北ニ道程九十里一百一十歩、者今ノ十六里十九町五十間。則出雲郡出雲郷出西村ニシテ、而古ノ郡家也。隱岐道一十七里一百八十歩、者今ノ二里卅三町。自十字街西十二里、者今ノ二里ナリ。野代橋ハ、者意宇郡乃本ト与ニ福富ニ之川也。往古是亦有レ橋而今ハ、則無シ矣。西七里、者今ノ一里六町。至ルハ、ニ玉作街一者意宇郡今ノ湯市ノ邊也。正南道十四里二百一十歩、者今ノ二里十五町卅間ナリ。郡南西堺トハ、者意宇郡大谷ト与ニ大原郡山田村ニ之堺也。

又南廿三里八十五歩、至ニ大原ノ郡家ニ。即分テ為ニ二道ニ。〔一南西道、一東南道。〕南西道五十七歩、至ニ斐伊川ニ。〔度廿五歩、渡船一。〕鈔云、南廿三里八十五歩、者今ノ三里卅一町廿五間。則大原郡斐伊村、郡家ニシテ、即分テ為ニ南西東南二道ト一也。南西道五十七歩、者今ノ五十七間、則達スルナリ、ニ斐伊ノ河邊ニ也。又南西二十九里一百八十歩、至ルニ飯石郡家ニ。又自ニ郡家一南八十里、至ニ國南西ノ堺ニ。〔通スニ備後三次郡一。〕惣者國程、一百六十六里二百五十七歩也。

鈔云、南西廿九里一百八十歩、者今ノ四里卅三町廿間ナリ。飯石郡家、者掛谷村也。南八十里、者今ノ十三里十二町即飯石郡赤穴村ト与ニ備後三次郡ニ之堺也。惣者國程一百六十六里二百五十七歩者今ノ廿七里廿八町十七間ナリ。此南西一道ノ國程ノ畢也。

東南道、自ニ郡家一去コト二十三里一百八十二歩、至ニ郡東南ノ堺ニ。又東南一十六里二百卅六歩、至ニ仁多郡比理村ニ、分テ為ニ二道ト一。其ノ一道ハ、東方卅八里一百廿一歩、至ニ仁多郡家。一道ハ、南方卅八里一百二十一歩、備後國堺至ニ遊託山ニ。

鈔云、東南道廿三里一百八十二歩、者今ノ三里卅三町二間ナリ。郡

東南堺者仁多郡上阿位ト与ニ飯石郡吉田村ニ之堺也。又東南一十六里二百卅六歩、者今ノ二里廿七町五十六間。仁多郡比々理村ト者同郡今上阿位村也。是、即東南道畢ニシテ、亦分テ為ニ二道ト一也。其ノ一道東方卅八里一百廿一歩、者今ノ六里十四町許リ。即仁多ノ郡家三処郷郡村也。其ノ二道南方卅八里一百廿一歩、者今ノ六里十四町。即備後堺遊託山也。此山見テリ、ニ于先ニ。

正西道、自玉作街西方九里、至來行橋。長八丈、広一丈三尺。

鈔云、西方九里、者今ノ一里十八町。來待橋今ハ、則無シ矣。

又西三十三里三十四歩、至出雲郡家。自郡家西二里六歩、至郡西堺出雲川。〔渡五十歩、渡船一。〕又西七里廿五歩、至神門郡家。即有川〔渡二十五歩、渡船一。〕自郡家西四十三里、至國西堺。〔通石見國安農郡。〕惣者國程、一百五十四里二百十四歩。

鈔云、西卅三里卅四歩者今ノ五里十八町卅四間ナリ。出雲ノ郡家ハ、者出西ト与ニ求院ニ之間也。西二里六歩、者今ノ十二町六間。又西七里廿五歩、者今ノ一里一町廿五間。即有リトハ、レ川者今ノ古志川ナリ。廿五歩、者今ノ廿五間。西四十三里者今ノ七里六町。即到ニ國ノ西堺ヒ山口村ニ也。惣者國程百五十四里二百十四歩、者今ノ十七里廿七町五十四間ナリ。

自ニ東ノ堺一去レ西二十里一百八十歩、至野城駅。又西二十一里、至黑田駅。即分テ為ニ二道。〔一正西道、度隱岐國道也。〕隱岐道、去北三十四里一百十歩、至隱岐渡千酌駅。

鈔云、東堺者関村也。去西廿里一百八十歩、者今ノ三里十五町ナリ。

野城駅如上。又西三十一里、者今ノ三里十八町。黒田駅記スレ先ニ。隱岐道、北卅四里一百卅歩、者今ノ五里二十六町廿間。千酌駅詳ナリ前ニ。然、昔、日ハ、千酌、是隱州ノ渡頭ナリ。今ハ、者笠浦、北浦、加賀、三保、関、雲津此レ等処々皆渡口也。

又正西道、三十八里、至客道駅。又西方十六里二百二十九步、至挾結駅。又西一十九里、至多岐駅。又西一十四里、至国西堺。

鈔云、正西道三十八里、者今ノ六里十二町ナリ。客道駅ハ者有ニ意字郡完道郷佐々布ノ辺所^レ。レ^レフ^レ今客道ト、則是也。又西二十六里二百二十歩、者今ノ四里十五町有余也。挾結駅ハ者見^レ上^ニ。

又西一十九里、者今ノ三里六町、国ノ西堺ハ者多岐村也。

早宇軍團ハ、即屬郡家。熊谷軍團、飯石ノ郡家東北廿九里一百八十歩。神門ノ軍團、郡家正東七里。馬見烽、出雲郡家西北卅二里二百三十歩。土掠燠、神門郡家東南一十四里。烽或東南四里。多夫志ノ烽ハ、出雲郡家北一十三里卅歩。布目美ノ烽ハ、嶋根郡家正南七里二百一十歩。暑恒ノ烽、意字ノ郡家正東二十八里十歩。宅波或、神門郡家西南三十一里。瀬崎或、島根郡家東北一十九里一百八十歩。

鈔云、此処ハ有^ルカ^ニ多ク闕文・誤字一歟。文理甚^ク不^スニ接^シ統^セ。故^ニ強^テ難^レ解^レ之。然^モ記^ニ大抵路程^一。以俟^ニ後人之是正^一而^レ已^ス。意字ノ軍團ハ者、即出雲村^ニシテ而屬^ニ郡家^一也。熊谷軍團、飯石郡家東北廿九里一百八十歩者今ノ四里卅三町、下熊谷村^カ歟。神門軍團、郡家北西七里、者今ノ一里六町、神門郡馬見ノ浜村^カ歟。出雲郡家西北卅二里二百卅歩ハ者今ノ五里十六町。土掠烽ハ、今^マ按^ルニ非^ニ西北^ニハ、却^テ西南神門郡稗原村ノ今ノ戸倉山^カ歟。神門郡家烽、東南十四里、者今ノ二里十二町。多支志烽ハ者武志村^カ歟。然^者自^ニ郡家^一非^{シテ}東南^ニ而東北也。出雲郡家正南一十三里卅歩ハ者今ノ二里一町四十間^{ナリ}。布目美者神門郡今ノ比目津村^カ歟。島根郡家正南七里二百一十歩ハ者今ノ一里九町卅間^{ナリ}。暑恒山ハ者蓋^シ今ノ西尾村ノ山^カ歟。或^ハノ曰、星神ノ誤字歟。而不^レ知^ニ是非^一。意字郡家正東二十里八十歩ハ者今ノ三里十三町廿間^{ナリ}。宅波式ハ不^レ知。神門郡家西南卅一里ハ者今ノ五里六町。瀬

崎式是亦不^レ知。島根郡家東北一十九里一百八十歩ハ者今ノ三里九町也。且^ツ記^{スル}レ之^ヲ耳。

天平五年二月卅日 勘造

秋鹿郡人 神宅臣全太理

国造帯意字郡大領外正六位上勲業出雲臣広島

(宏雄跋)

此鈔者、神門郡監岸崎氏、公務之暇潤^{シテ}ニ於筆^ヲ、以呈^ニ示^{シテ}于予^ニ、求^ムニ之^カ是正^一。予不^レ得^ニ禦^キ返^スコト。而^{シテ}修色以還^スレ之^ヲ。時^ニ予^カ家兄嫡男北島氏伝之丞、頻^ニ請^テニ此^ノ書^{コトヲ}、而不^レ措^カ矣。不^レ能^レ峻^ニ拒^スルコト之^ヲ。且^ツ為^レ貽^ニ厥^{ソノ}之手沢^ヲ、遂^ニ書^{シテ}以与^レ之^ヲ、塞^クト^ニ於其^ノ覺^ヲ一云。

法印宏雄閣筆於松林南窓下

天和三年^{癸亥}歲臘月初日

- 注
- 1 右傍書「上ケテ書ヘシ」。
 - 2 右傍書「參」。
 - 3 卷の下、「里」抹消。
 - 4 「イナシ」、「リ」を抹消、訂正。
 - 5 「ハヤシ」、「イ」を抹消、訂正。
 - 6 「稚」、「雄」を抹消、傍書訂正。
 - 7 「耶」、「耶」を抹消、傍書訂正。
 - 8 右傍書「自」。

- 9 「桂而」、「桂与」を抹消して訂正。
 10 「打」、「折」を抹消して訂正。
 11 「也」、「以」を抹消して訂正。
 12 右傍書挿入「国」
 13 「而」、「与」を訂正。
 14 「自」、「身」を傍書して訂正。
 15 右傍書「打」
 16 「自」、「身」を傍書して訂正。
 17 右傍書「打」。
 18 右傍書「自」。
 19 右傍書「大」。
 20 「国」の下、「者」を丸囲みで抹消。
 21 右傍書挿入「訖」。
 22 右傍書「杜」。
 23 右傍書「杜」。
 24 右傍書「豆カ」。
 25 右傍書挿入「杜イ」。
 26 右傍書「静カ」。
 27 右傍書「釈日本紀二天石楯トアリ」。
 28 右傍書「買イ」。
 29 右傍書「言イ」。
 30 以下「所ナリト也」までの傍点部分、出雲歴博本は抹消。
 31 右傍書「置敷」。
 32 行頭付箋「能利刀神社」
 33 右傍書「詞ナリ」
 34 右傍書「泳敷」。
 35 「意字」、「仁多」を抹消して訂正。
 36 「南」、「東」を抹消して訂正。
 37 右傍書「湿敷」。
 38 欠字部分の右に傍書「洪水滂沱アリ」。
 39 頭書「酈敷」。
 40 右傍書「鬚敷」。
 41 右傍書「衍字」。

- 42 左傍書「露也」。
 43 右傍書「津也」。
 44 左傍書「敢非无其所摠」。
 45 左傍書「豊イ」。
 46 右傍書「之字脱字下可也」
 47 右傍書「山也」。
 48 右傍書「生敷」。
 49 頭書「厶題字可ニ甄輒字ナル」敷。
 50 左傍書「イニナシ」。
 51 右傍書「楯ナリ」。
 52 「免」、原「兔」。
 53 右傍書「社敷」。
 54 「子」、傍書挿入。
 55 右傍書「生敷」。
 56 右傍書「菜イ」。
 57 右傍書「里敷又幾敷」。
 58 「并テ三」、挿入。
 59 「命」、傍書挿入。
 60 右挿入「同社」。
 61 右傍書「異本作西北」。
 62 右傍書「槽」。
 63 右傍書「御」。
 64 右傍書「朱敷」。
 65 右傍書「怪聞埼長三十歩高卅二歩有松」。
 66 右傍書「潮」。
 67 「皆」、傍書挿入。
 68 「日」、田カ(翻刻者)。
 69 右傍書「山イ」。
 70 右傍書「南イ」。
 71 右傍書「大敷」。
 72 右傍書「由敷」。
 73 右傍書「問敷」。
 74 右傍書「治カ」。

- 75 右傍書「出力」。
76 右傍書「日子敷」。
77 右傍書「日」。
78 「小」、「川」を抹消して訂正。
79 右傍書「嘉敷」。
80 右傍書「西北イ」。
81 右傍書「四イ」。